

# 知立市の総合計画のための市民アンケート調査 報告書

## 目次

### I 市民アンケート

0. 調査概要 .....	1
1. 回答者のプロフィール .....	2
(1) 性別 .....	2
(2) 年齢 .....	3
(3) 居住小学校区 .....	4
(4) 職業 .....	5
(5) 通勤・通学先 .....	7
(6) 居住年数 .....	9
2. 知立市への定住意向と知立市の印象 .....	11
(1) 定住意向 .....	11
(2) 定住意向の回答理由 .....	14
(3) 知立市の印象 .....	15
(4) 知立市の強み・弱み .....	28
3. 知立市の取組みに対する満足度・重要度 .....	30
(1) 知立市の取組みに対する満足度 .....	30
(2) 今後の取組みの重要度 .....	30
(3) 満足度と重要度（評点による分析） .....	33
(4) 満足度と重要度の関係（評点による分析） .....	42
4. 知立市民の生活の様子 .....	44
(1) 災害時の避難路・避難場所の認知状況 .....	44
(2) 家具・家電の固定の実施状況 .....	46
(3) 食べ物・飲み水等の備蓄状況 .....	48
(4) 知立市の防災に対する取組みの認知度 .....	50
(5) 「広報ちりゅう」の閲読度 .....	56
(6) 市内の交通安全環境に関する満足度 .....	58
(7) 環境に配慮した生活の状況 .....	60
(8) 生涯学習活動の状況 .....	62
(9) 芸術・文化活動への参加状況 .....	64
(10) 人権教育・啓発活動への参加状況 .....	66
(11) 人権を侵害された経験の有無 .....	68
(12) コミュニティ活動への参加状況 .....	71
(13) 市役所の市民サービスに対する評価 .....	74

<b>5. 協働のまちづくり</b> .....	<b>76</b>
(1) 協働のまちづくりへの参画の意向.....	76
(2) 参画したい協働のまちづくりの分野.....	78
(3) 協働のまちづくりに参画したくない理由.....	80
<b>6. 知立市総合計画</b> .....	<b>82</b>
(1) 知立市総合計画の認知度.....	82
(2) 知立市総合計画の内容の理解度.....	83
(3) 現在の知立市の将来像の評価.....	84
<b>7. 自由意見</b> .....	<b>85</b>
<b>■ 調査票</b> .....	<b>86</b>

## 0. 調査概要

### (1) 調査の目的

本調査は、平成26年度に策定した「第6次知立市総合計画」の進捗状況を把握するとともに、現在、本市が抱える課題を洗い出し、今後の取組みを検討するための基礎資料とするため、実施しました。

### (2) 調査の概要

本調査は、平成30年6月1日現在の住民基本台帳から、20歳以上の市民2,000人を無作為に抽出し、調査対象としました。調査概要は、下図表に示すとおりです。

図表0 調査の配布・回収結果

調査対象	平成30年6月1日現在の住民基本台帳から20歳以上の市民2,000人		
抽出方法	無作為抽出	調査方法	郵送による配布・回収
調査時期	平成30年6～7月		
配布数	2,000票（うち12票は宛先不明）		
回収数	868票	回収率	43.7%
有効回収数	863票	有効回収率	43.4%

### (3) 報告書の見方

- グラフは、帯グラフ、横棒グラフ、ダンゴグラフの3種類を必要に応じて使い分けています。
- 図中の構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は100.0%になりません。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表しています。
- 表、グラフ等の見出しおよび文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。

### (4) 標本誤差

- 母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果から母集団全体の値を推定するのが標本調査です。この際に生じる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差となります。

#### 標本誤差の算定式

$$\sigma = k \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

M : 母集団  
n : 有効回収数  
p : 結果の比率  
k : 信頼度による定数  
σ : 標本誤差

※信頼度を95%とすると、k=1.96となる。

#### 標本誤差

	母集団 M	有効回収数 n	50%	40%	30%	20%	10%
全体	72,035	863	3.32	3.25	3.04	2.65	1.99

## 1. 回答者のプロフィール

### (1) 性別

問1 あなたについて教えてください。

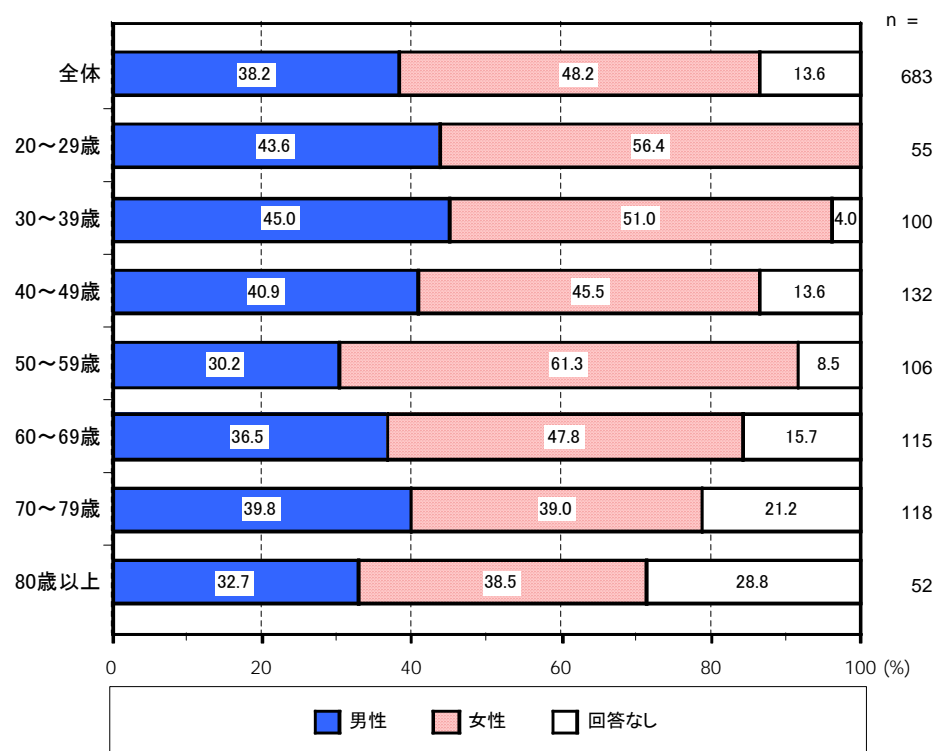
### (1) 性別

回答者の性別は、「女性」が48.2%、「男性」が38.2%となっている。

○回答者の性別は、「女性」が48.2%、「男性」が38.2%、「回答なし」が13.6%の順になっています(図1-1-1)。

○年齢別では、「女性」の割合が50～59歳(61.3%)や20～29歳(56.4%)で高くなっています。

図表1-1-1 性別(年齢別)



(2) 年齢

問1 あなたについて教えてください。

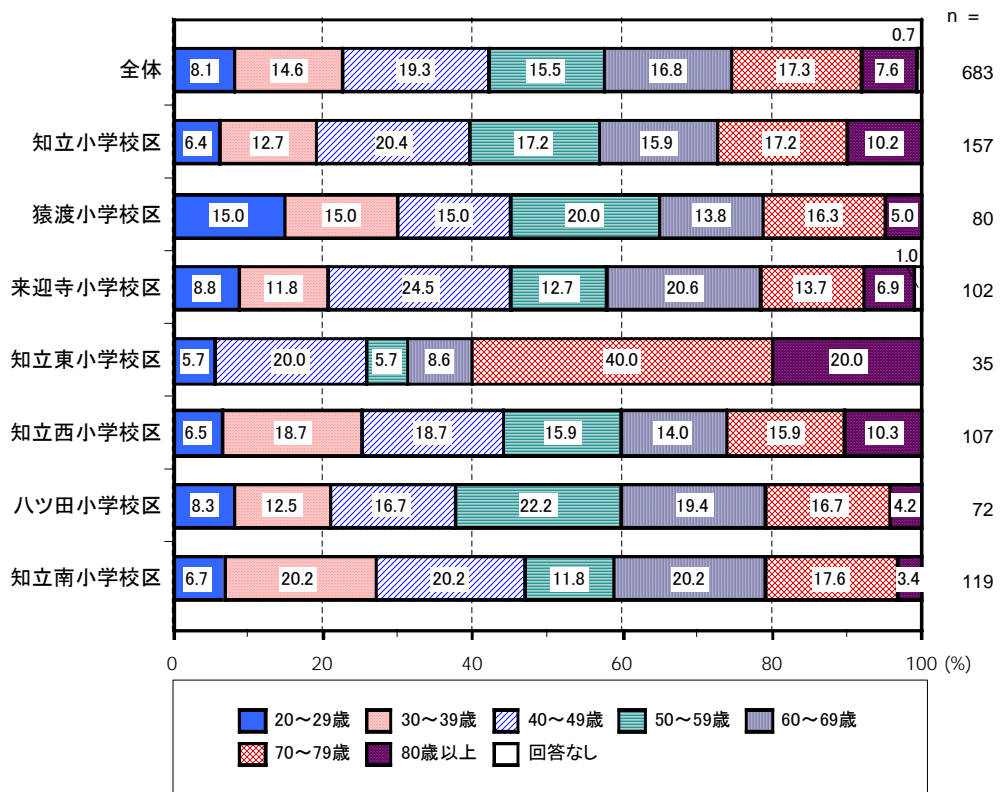
(2) 年齢

回答者の年齢は、「40～49歳」が19.3%で最も多く、「20～29歳」及び「80歳以上」を除いてはバランスのいい年齢構成となっている。

○回答者の年齢は、「40～49歳」(19.3%)が最も多く、「70～79歳」(17.3%)、「60～69歳」(16.8%)の順になっています(図表1-2-1)。

○小学校区別にみると、知立東小学校区で「70～79歳」(40.0%)並びに「80歳以上」(20.0%)で全体と比べて多くなっています(図表1-2-1)。

図表1-2-1 年齢(小学校区別)



(1) 居住小学校区

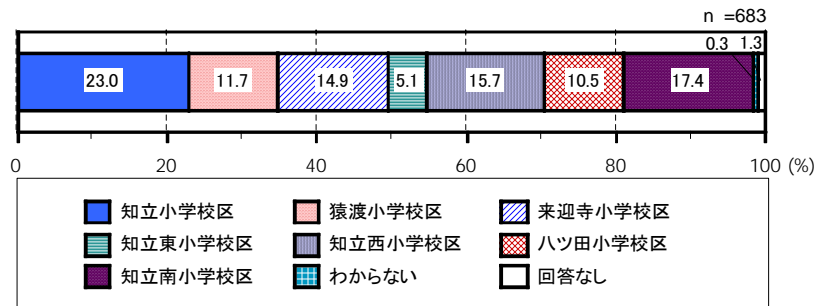
問1 あなたについて教えてください。

(3) お住まいの小学校区

回答者の居住小学校区は、「知立小学校区」が23.0%と最も多い。

○回答者の居住小学校区は、「知立小学校区」が23.0%と最も多く、次いで「知立南小学校区」が17.4%、「知立西小学校区」が15.7%と続いています（図表1-3-1）。

図表1-3-1 居住小学校区



(4) 職業

問1 あなたについて教えてください。

(4) 職業

回答者の職業は、「会社員・団体の職員」(27.8%)が最も多く、「無職」(21.5%)、「パート・アルバイト」(19.2%)の順で多くなっている。

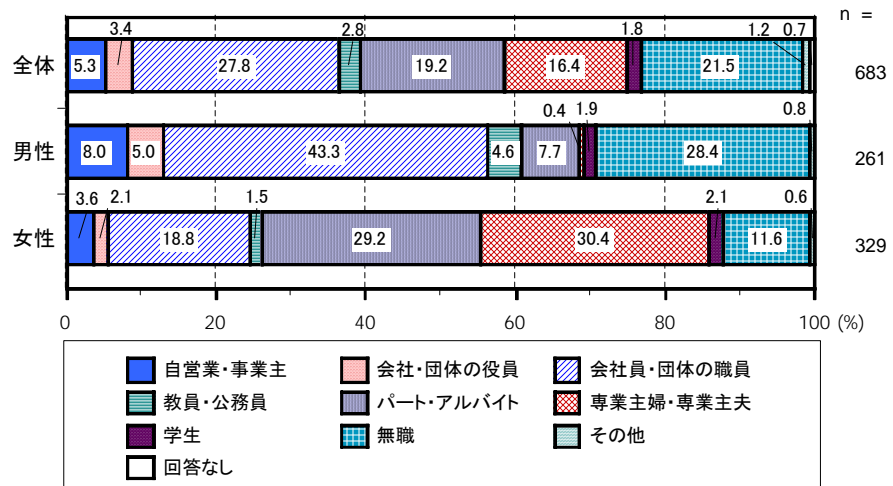
○回答者の職業は、働いている人(パート・アルバイト含む)が全体で計58.5%となっており、「無職」が21.5%、「専業主婦・主夫」が16.4%となっています(図表1-4-1)。

○性別にみると、男性は、職業は「会社員・団体の職員」(43.3%)が全体と比べて15ポイント以上多くなっている半面、「無職」(28.4%)もやや多くなっています。一方、女性は「専業主婦・専業主夫」(30.4%)が最も多く、次いで「パート・アルバイト」(29.2%)、「会社員・団体の職員」(18.8%)と続いています。

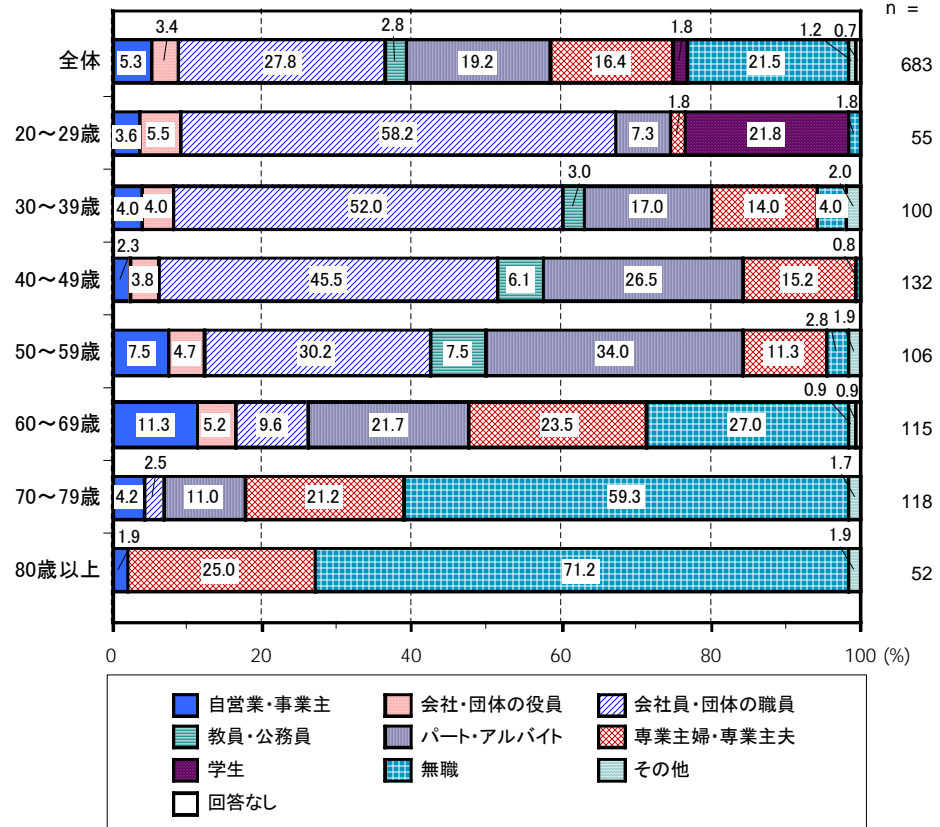
○年齢別にみると、50歳未満において「会社員・団体の職員」が全体と比べて20~30ポイント程度多くなっています。一方、「パート・アルバイト」も50~59歳(34.0%)や40~49歳(26.5%)で全体より多くなっています。また、年齢が高くなるにしたがって「無職」が全体より多く、80歳以上(71.2%)や70~79歳(59.3%)で特に多くなっています(図表1-4-2)。

○小学校区別にみると、全体と比べて知立東小学校区は「会社員・団体の職員」(17.1%)が少なく、「無職」(45.7%)が多くなっています(図表1-4-3)。また、八ツ田小学校区では「会社員・団体の職員」(36.1%)がやや多く、「パート・アルバイト」(13.9%)がやや少なくなっているほか、来迎寺小学校区では「パート・アルバイト」(24.5%)がやや多くなっています。

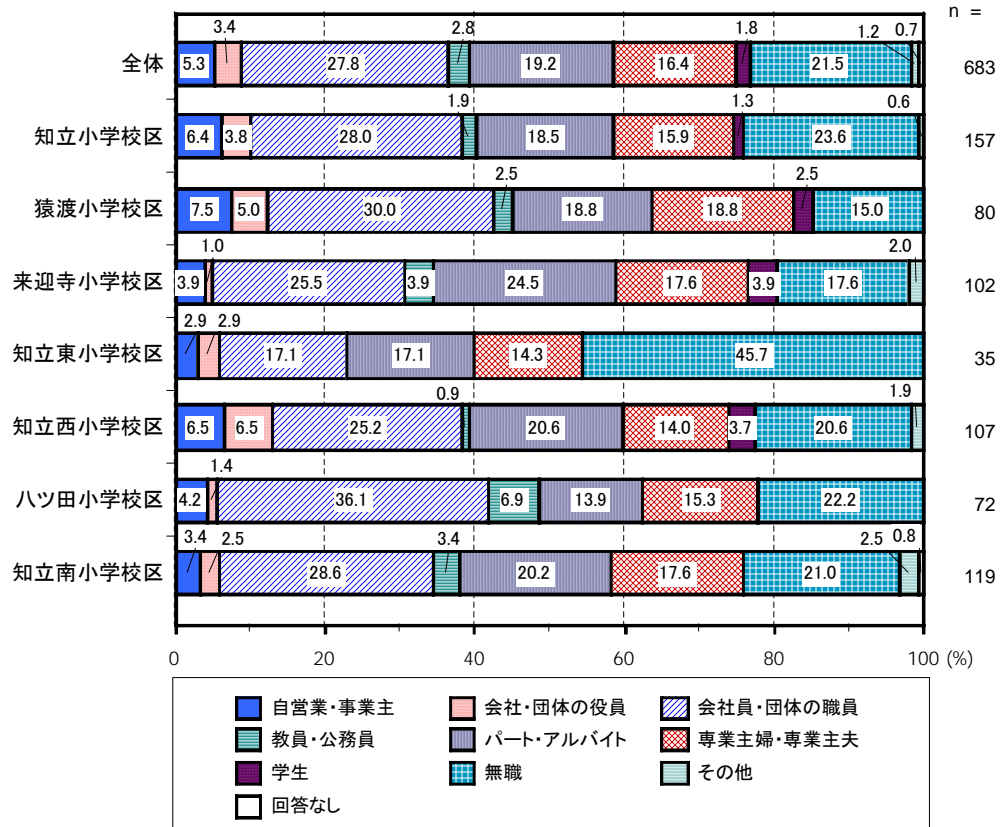
図表1-4-1 職業(性別)



図表1-4-2 職業(年齢別)



図表1-4-3 職業(小学校区別)





(5) 通勤・通学先

問1 あなたについて教えてください。

(5) 主な通勤・通学先

主な通勤・通学先としては、「市内に通勤・通学している」が16.4%、「市外に通勤・通学している」が41.0%となっている。一方、「通勤・通学していない（自宅を含む）」が41.7%と最も多くなっている。

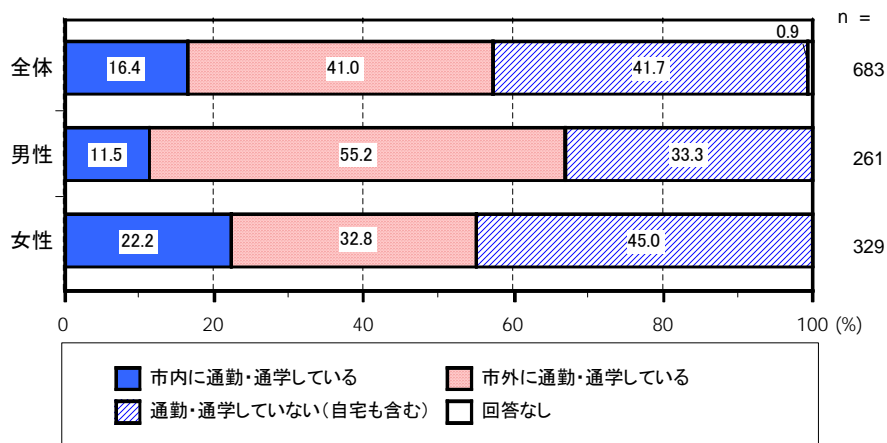
○主な通勤・通学先については、「市内に通勤・通学している」が16.4%で、「市外に通勤・通学している」が41.0%を占めています（図表1-5-1）。

○性別の回答を全体と比べてみると、男性は「市外に通勤・通学している」（55.2%）が多くなっている一方、女性は「市内に通勤・通学している」（22.2%）がやや多くなっています。

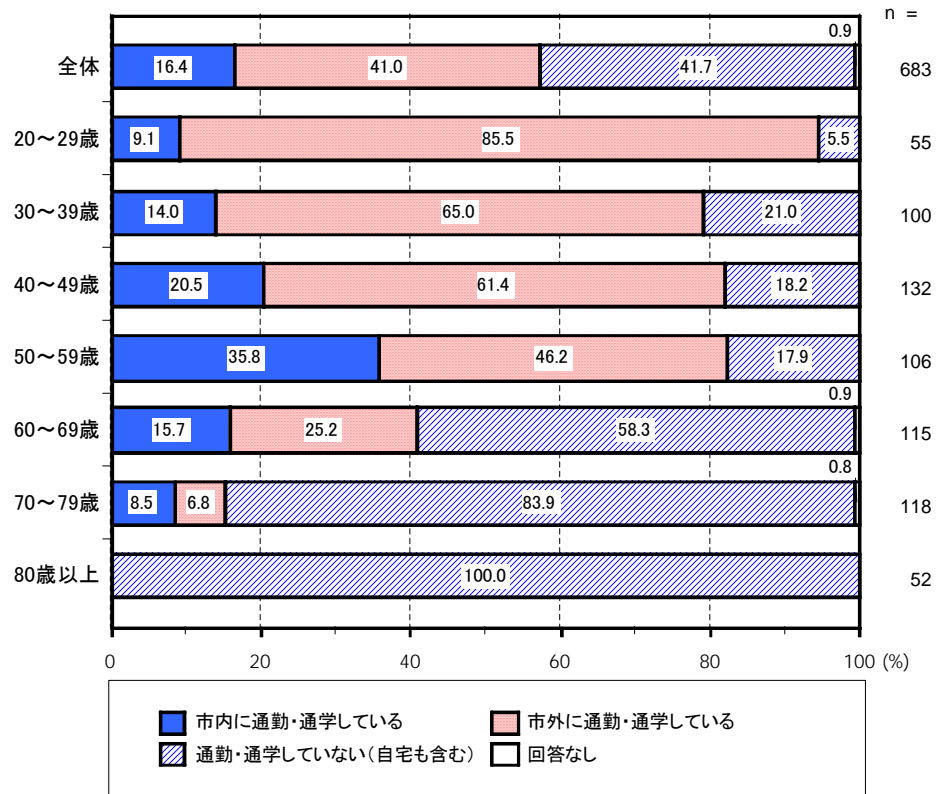
○年齢別にみると、50歳未満では「市外に通勤・通学している」が6割以上を占め、特に、20～29歳では「市外に通勤・通学している」が85.5%を占めています。また、50～59歳では「市内に通勤・通学している」（35.8%）が全体より20ポイント近く多くなっており、「市外に通勤・通学している」（46.2%）もやや多くなっています。また、年齢が高くなるほど「通勤・通学していない（自宅を含む）」の割合も高くなります（図表1-5-2）。

○小学校区別にみると、知立東小学校校区では「通勤・通学していない（自宅を含む）」（62.9%）が全体より20ポイント以上高く、「市外に通勤・通学している」（28.6%）は10ポイント以上少なくなっています（図表1-5-3）。

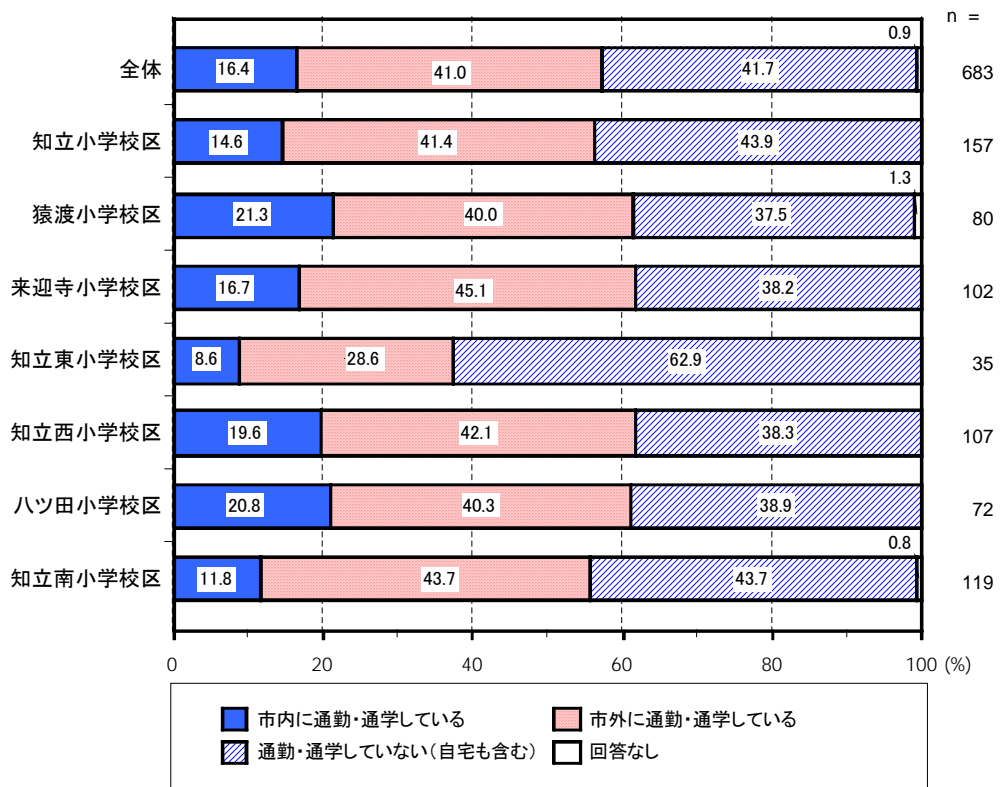
図表1-5-1 通勤・通学先(性別)



図表1-5-2 通勤・通学先(年齢別)



図表1-5-3 通勤・通学先(小学校区別)



(6) 居住年数

問1 あなたについて教えてください。

(6) 知立市での居住年数(6月1日現在の通算年数)

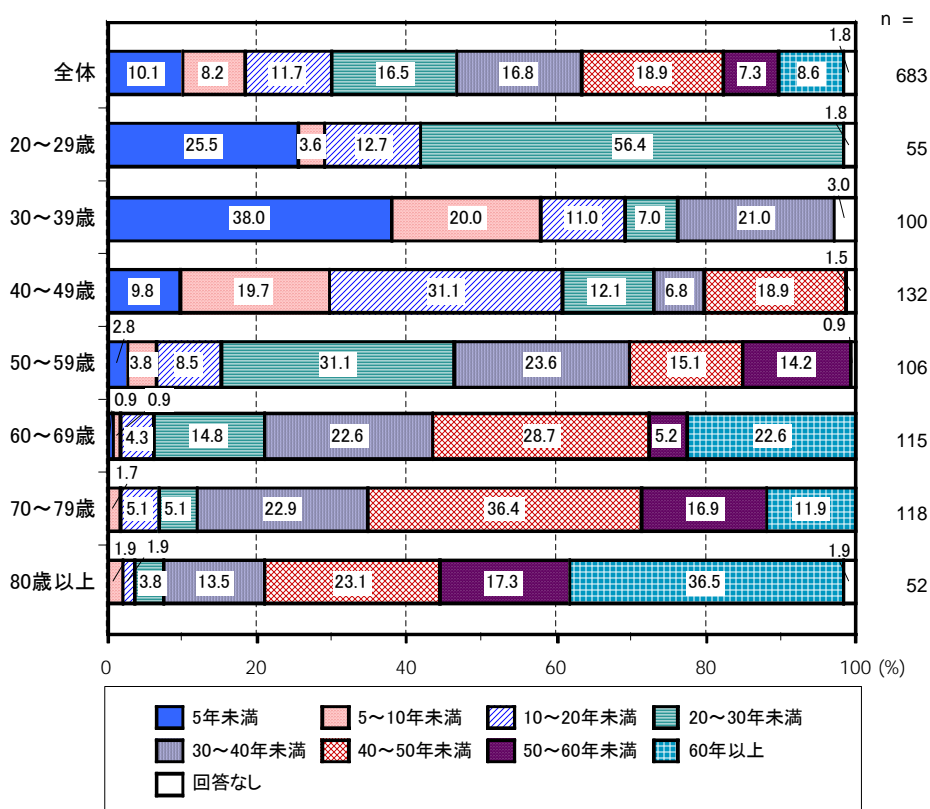
知立市での居住年数は、30年未満の人と30年以上の人がほぼ半々となっている。また、「5年未満」は10.1%である。

○居住年数は、「40～50年未満」が18.9%と最も多く、次いで「30～40年未満」が16.8%となっています(図表1-6-1)。

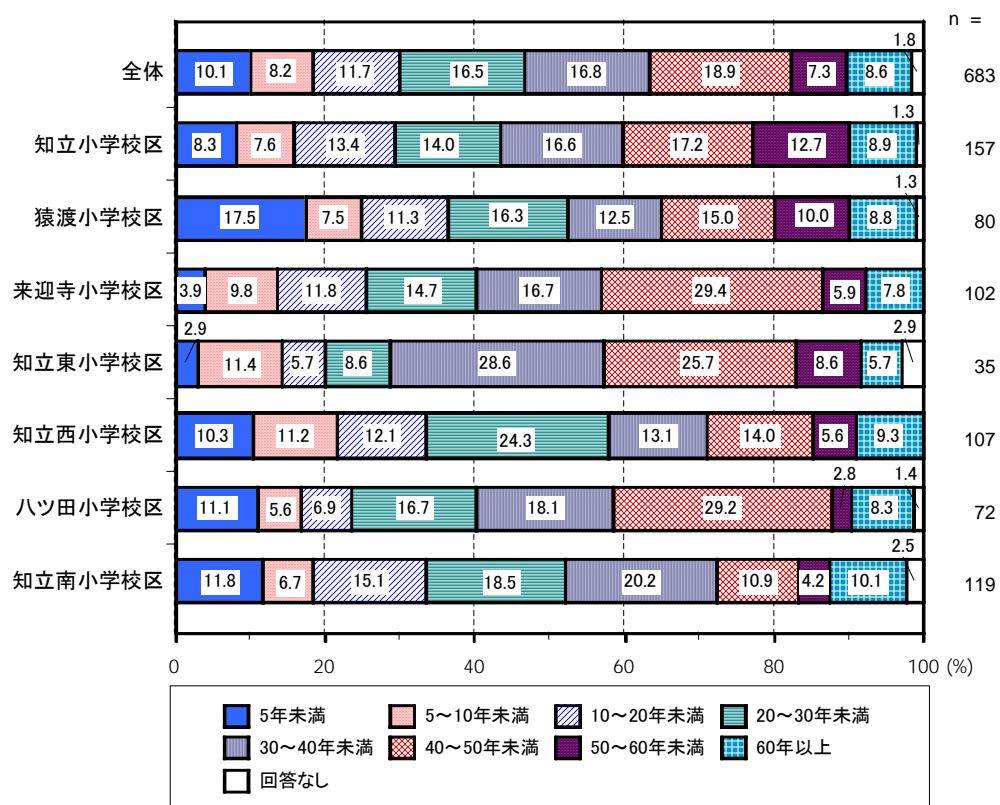
○年齢別にみると、20～29歳では、「5年未満」(25.5%)が全体より約15ポイント多い半面、「20～30年未満」(56.4%)が過半数を占めています。また、30～39歳においては「5年未満」(38.0%)、「5～10年未満」(20.0%)を合わせると6割近くを占めます。一方、年齢が高くなるほど居住年数は増加し、70～79歳で6割以上、80歳以上では8割近くが居住年数40年以上となっています。

○小学校区別にみると、全体と比べて「40～50年未満」の割合が来迎寺小学校区(29.4%)、八ツ田小学校区(29.2%)で10ポイント以上多く、知立東小学校区では約7割が居住年数30年以上となっています(図表1-6-2)。

図表1-6-1 居住年数(年齢別)



図表1-6-2 居住年数(小学校区別)



## 2. 知立市への定住意向と知立市の印象

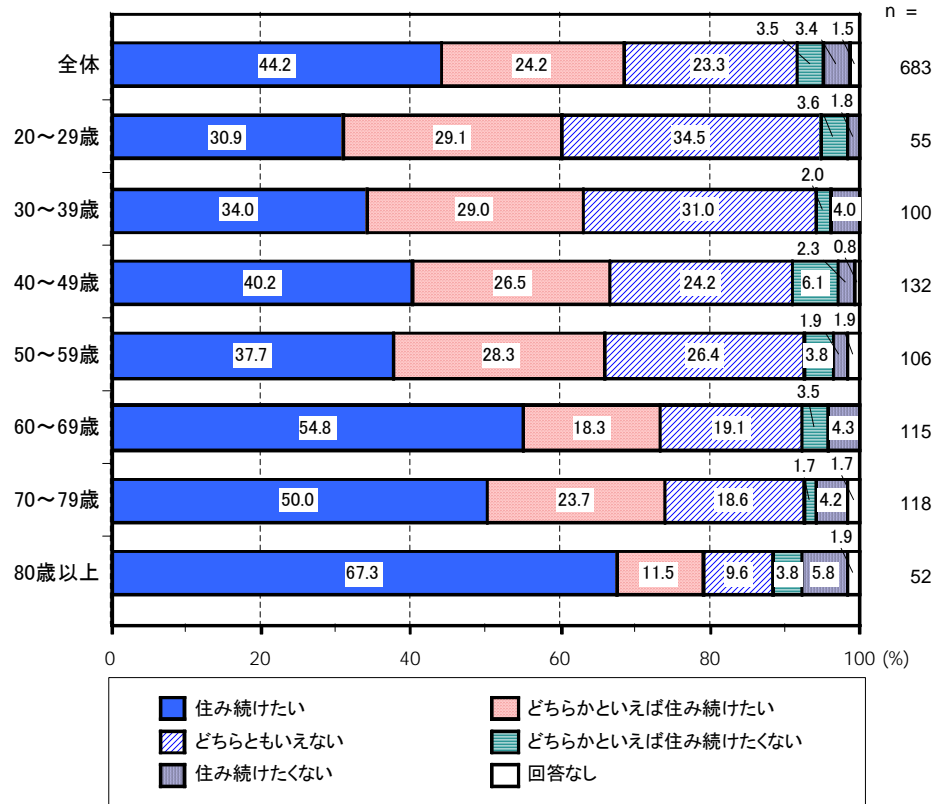
### (1) 定住意向

問2 引越しの必要性等に関わらず、あなたは知立市にできれば「住み続けたい」と思っていますか。

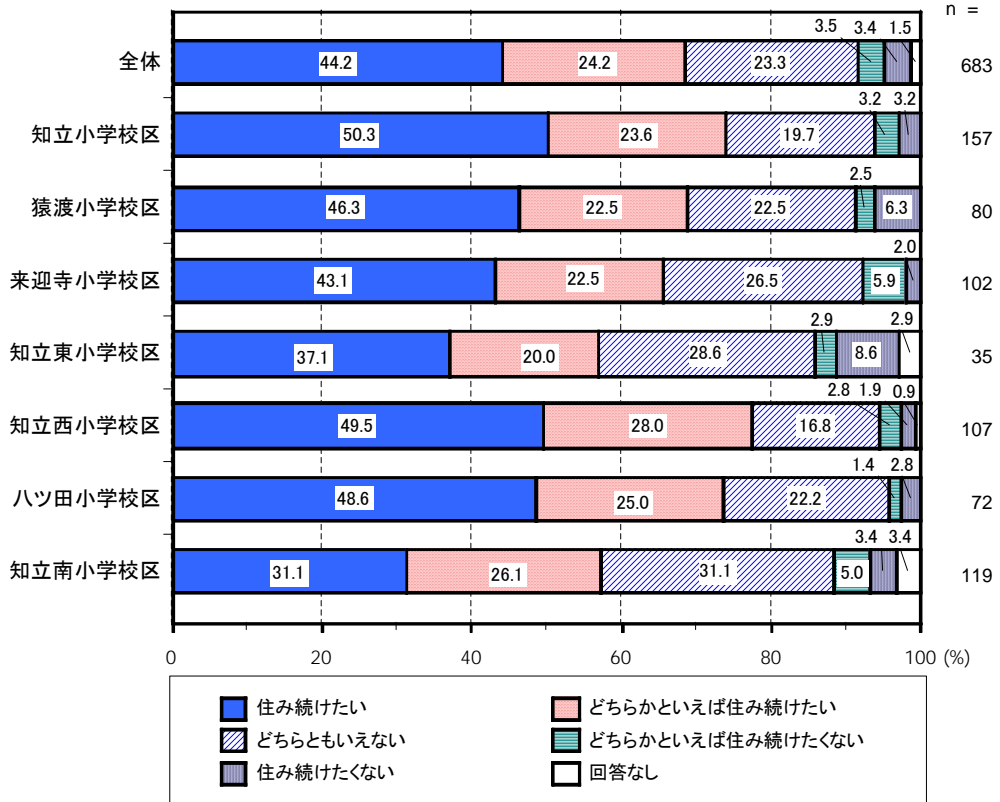
知立市に「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると7割近くが定住意向を示している。

- 知立市に「住み続けたい」が44.2%、「どちらかといえば住み続けたい」が24.2%で、合わせて68.4%が“住み続けたい”と考えています。一方、「どちらかといえば住み続けたくない」(3.5%)、「住み続けたくない」(3.4%)を合わせると、6.9%が“住み続けたくない”と考えています(図表2-1-1)。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて定住意向が強くなる傾向にあります。具体的には、「住み続けたい」が80歳以上(67.3%)や60～69歳(54.8%)で全体より10ポイント以上多くなっています。一方、「どちらかともいえない」は20～29歳(34.5%)や30～39歳(31.0%)で全体より10ポイント前後多くなっています。
- 小学校区別にみると、定住意向(「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」の合計)が強いのは知立西小学校区(計77.5%)、知立小学校、八ツ田小学校区(いずれも計73.6%)の順で、相対的に弱いのは知立東小学校区(計57.1%)、知立南小学校(計57.2%)となっています(図表2-1-2)。
- 居住年数別にみると、「住み続けたい」は5～10年未満(23.2%)で少なく、居住年数が長くなるにつれて、概して「住み続けたい」が多くなり、60年以上では74.6%となっています(図表2-1-3)。
- 前回調査との比較をすると、「住み続けたい」や「どちらかといえば住み続けたい」はほとんど変化がみられませんが、「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」の合計(計10.7%⇒計6.9%)は、わずかながら減少しています(図表2-1-4)。

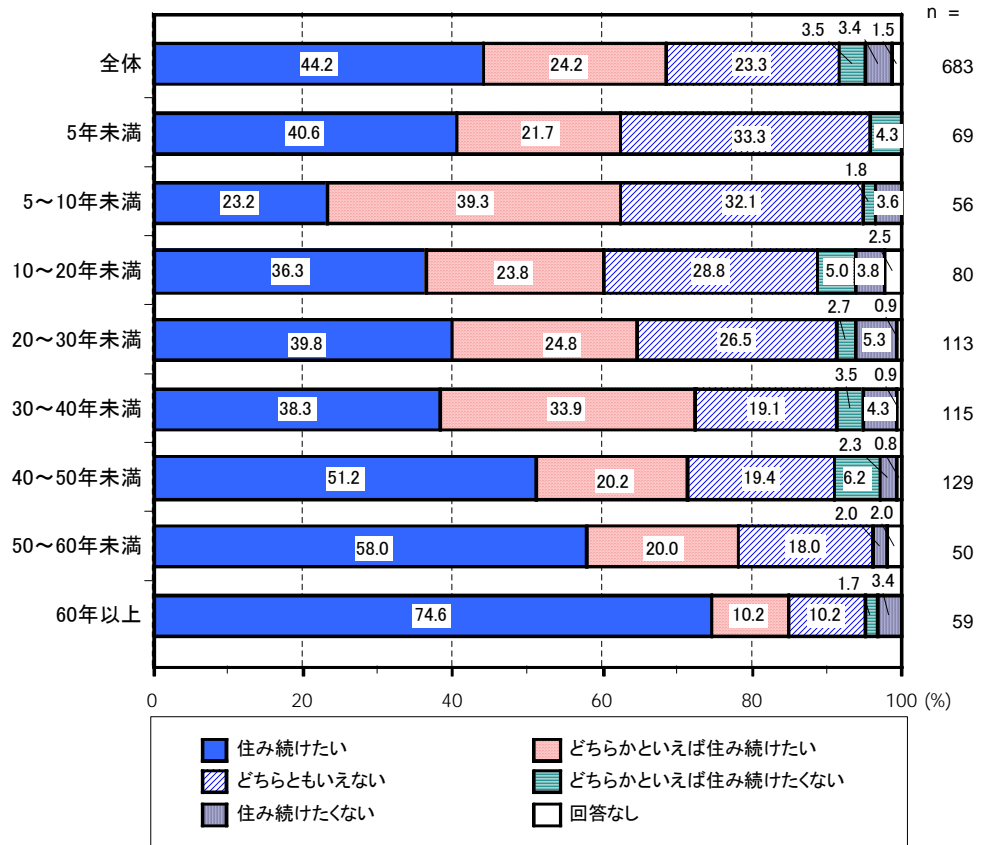
図表2-1-1 定住意向(年齢別)



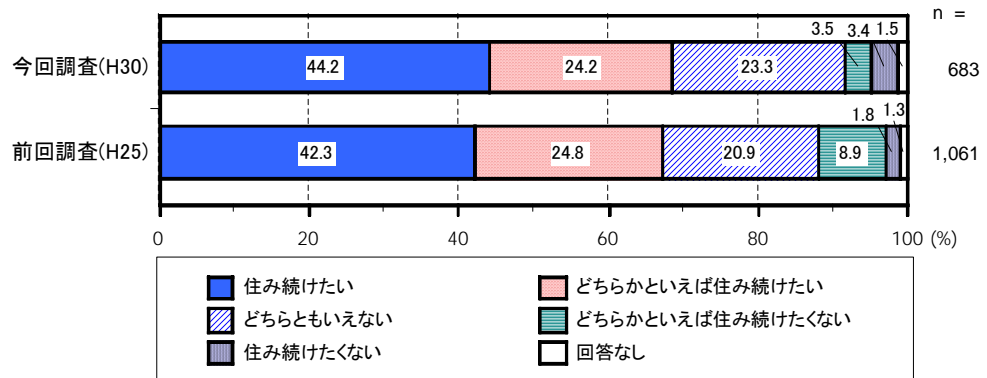
図表2-1-2 定住意向(小学校区別)



図表2-1-3 定住意向(居住年数別)



図表2-1-4 定住意向(前回調査との比較)



(2) 定住意向の回答理由

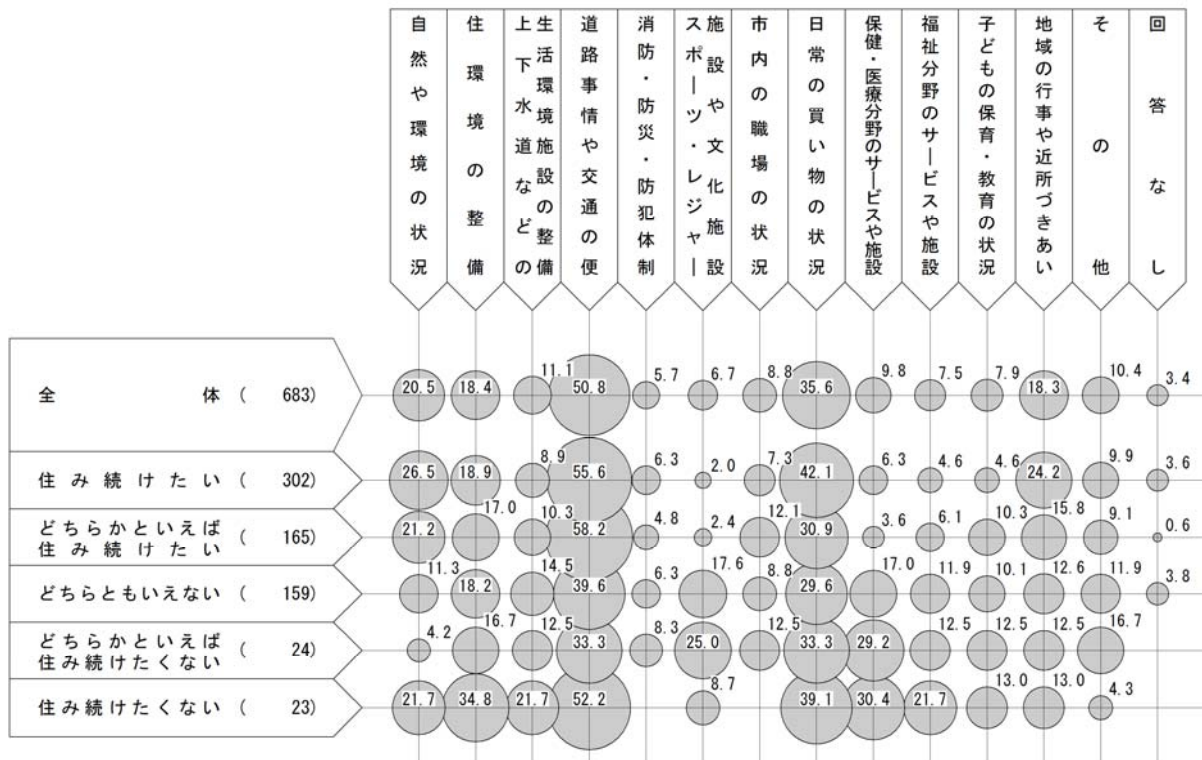
問3 問2のように答えられた理由は以下のどれですか。

定住意向の回答理由としては、“住み続けたい”回答者の理由としては、「道路事情や交通の便」、「日常の買い物の状況」などに対し、“住み続けたくない”回答者の理由は、「住環境の整備」、「保健・医療分野のサービスや施設」、「福祉分野のサービスや施設」などとなっている。

○知立市への定住意向を回答した理由は、「住み続けたい」、「どちらかといえば住み続けたい」とした回答者は、「道路事情や交通の便」、「日常の買い物の状況」で全体より高くなっています(図表2-2-1)。

○一方、「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」とした回答者は、「道路事情や交通の便」、「日常の買い物の状況」、「住環境の整備」、「保健・医療分野のサービスや施設」などが多くなっています。

図表2-2-1 定住意向の回答理由(定住意向別)





(3) 知立市の印象

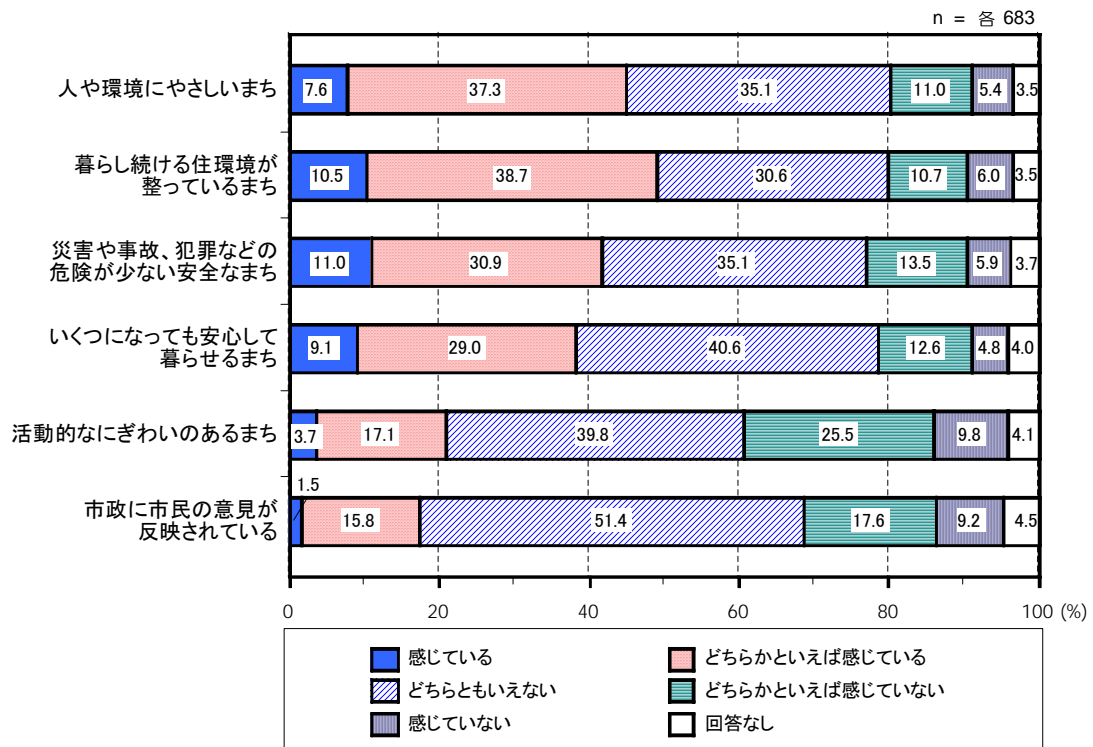
問4 現在の知立市の「印象」について、どのように感じますか。

- (1) 人や環境にやさしいまち
- (2) 暮らし続ける住環境が整っているまち
- (3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち
- (4) いくつになっても安心して暮らせるまち
- (5) 活動的にぎわいのあるまち
- (6) 市政に市民の意見が反映されている

現在の知立市のそれぞれの印象について、「感じている」、「どちらかといえば感じている」の合計は、『暮らし続ける住環境が整っているまち』が最も多く、『人や環境にやさしいまち』、『災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち』が続いている。

- 現在の知立市の印象について、「感じている」と「どちらかといえば感じている」を合わせると、『暮らし続ける住環境が整っているまち』（計49.2%）で最も多く、次いで『人や環境にやさしいまち』（計44.9%）、『災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち』（計41.9%）、『いくつになっても安心して暮らせるまち』（計38.1%）という順番になっています（図表2-3-1）。
- 一方、『活動的にぎわいのあるまち』については、“感じている”回答者（計20.8%）に対して、「どちらかといえば感じていない」と「感じていない」を合わせた回答者（計35.3%）が上回っています。また、『市政に市民の意見が反映されている』についても“感じている”回答者（計17.3%）より“感じていない”回答者（計26.8%）の方が多くなっています。

図表2-3-1 知立市の印象



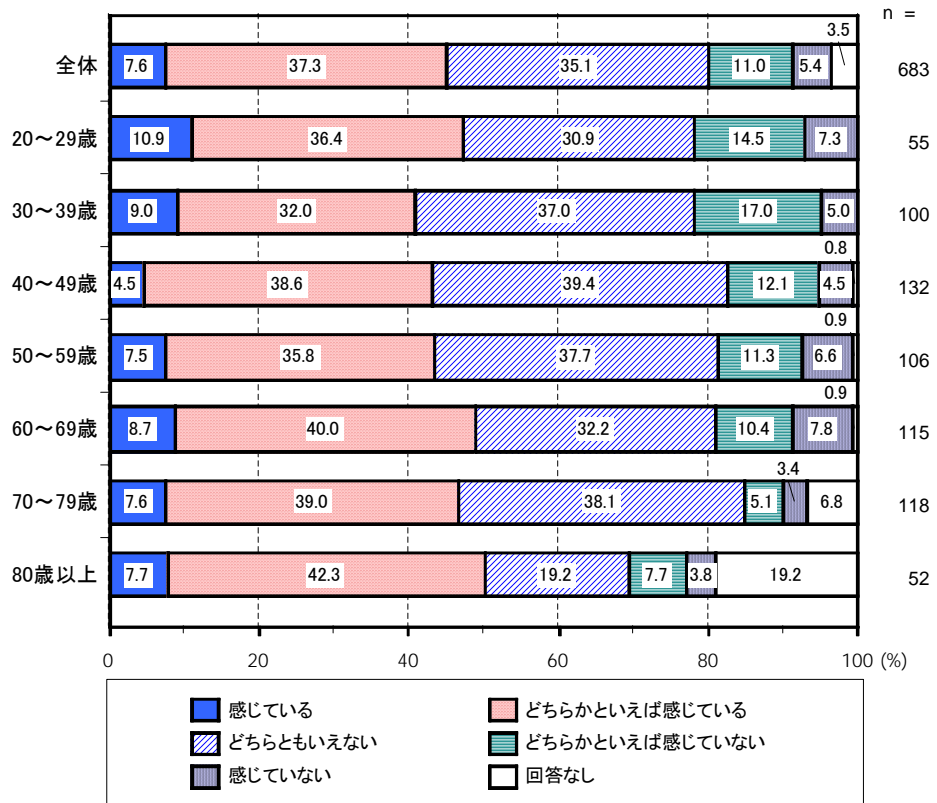
## (1) 人や環境にやさしいまち

人や環境にやさしいまちだと“感じている”回答者は44.9%。

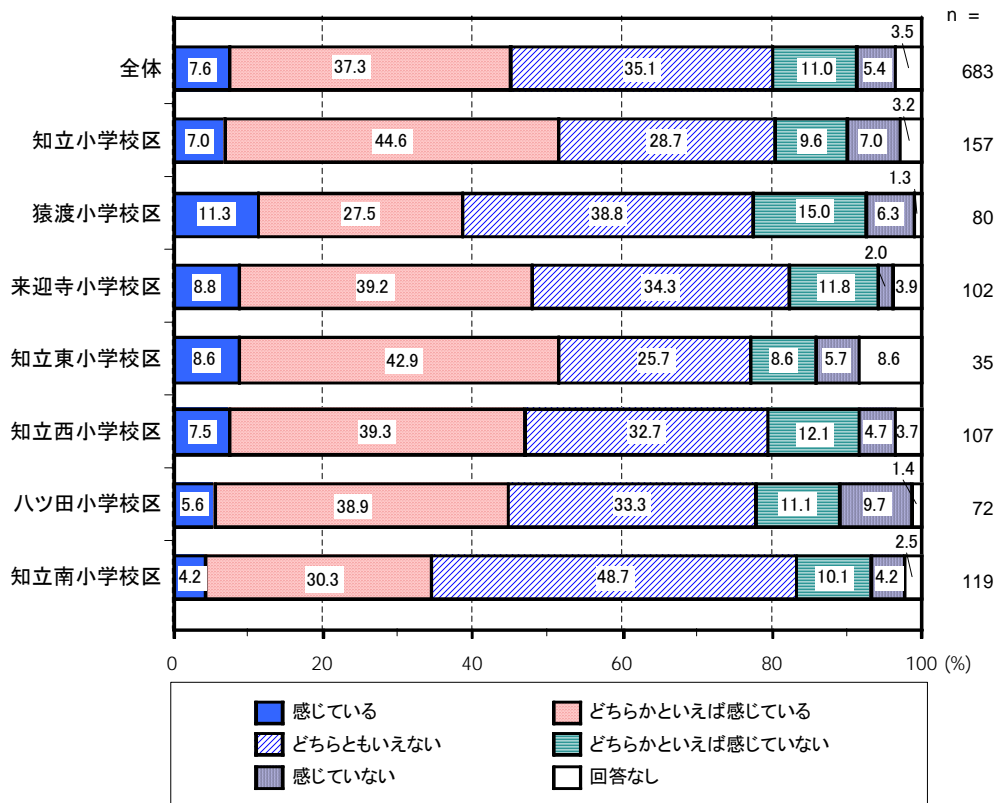
知立小学校区や知立東小学校区では“感じている”が半数を超えている。

- 人や環境にやさしいまちであるという印象について、「感じている」は7.6%、「どちらかといえば感じている」が37.3%で、“感じている”は計44.9%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が11.0%、「感じていない」が5.4%で、“感じていない”は計16.4%となっています（図表2-3-2）。
- 年齢別にみると、「どちらかといえば感じている」が80歳以上（42.3%）で全体と比べてやや多くなっています。一方、「どちらかといえば感じていない」は30～39歳（17.0%）で全体よりやや多く、70～79歳（5.1%）でやや少なくなっています。
- 小学校区別にみると、「どちらかといえば感じている」が知立小学校区（44.6%）や知立東小学校区（42.9%）でやや多く、猿渡小学校区（27.5%）や知立南小学校区（30.3%）でやや少なくなっています。なお知立南小学校区では「どちらともいえない」（48.7%）が全体より10ポイント以上多くなっています（図表2-3-3）。
- 前回調査と比較すると、「どちらかといえば感じている」（29.9%⇒37.3%）がやや増えています（図表2-3-4）。

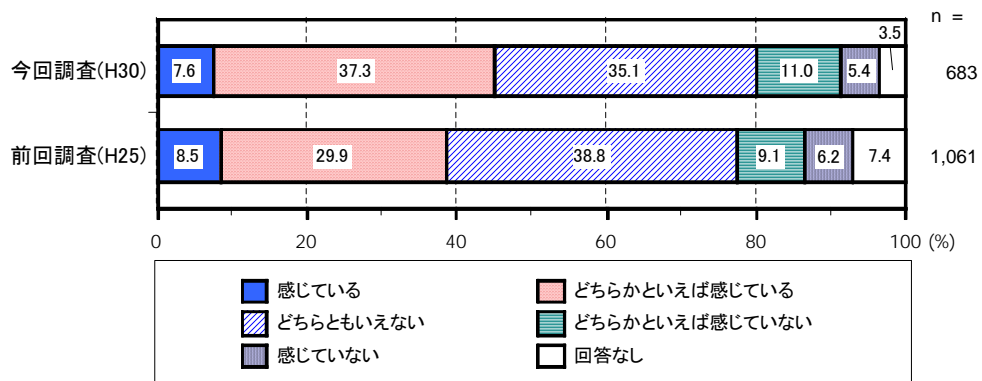
図表 2-3-2 知立市の印象「人や環境にやさしいまち」(年齢別)



図表 2-3-3 知立市の印象「人や環境にやさしいまち」(小学校区別)



図表 2-3-4 知立市の印象「人や環境にやさしいまち」(前回調査との比較)



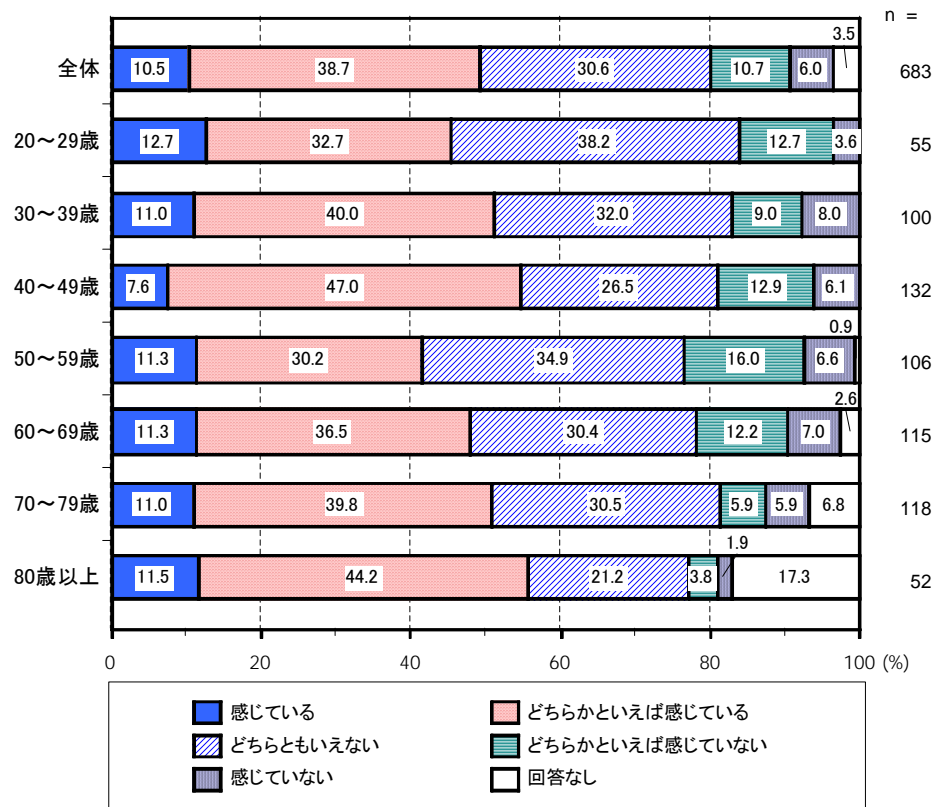
## (2) 暮らし続ける住環境が整っているまち

暮らし続ける住環境が整っているまちだと“感じている”回答者は49.2%。

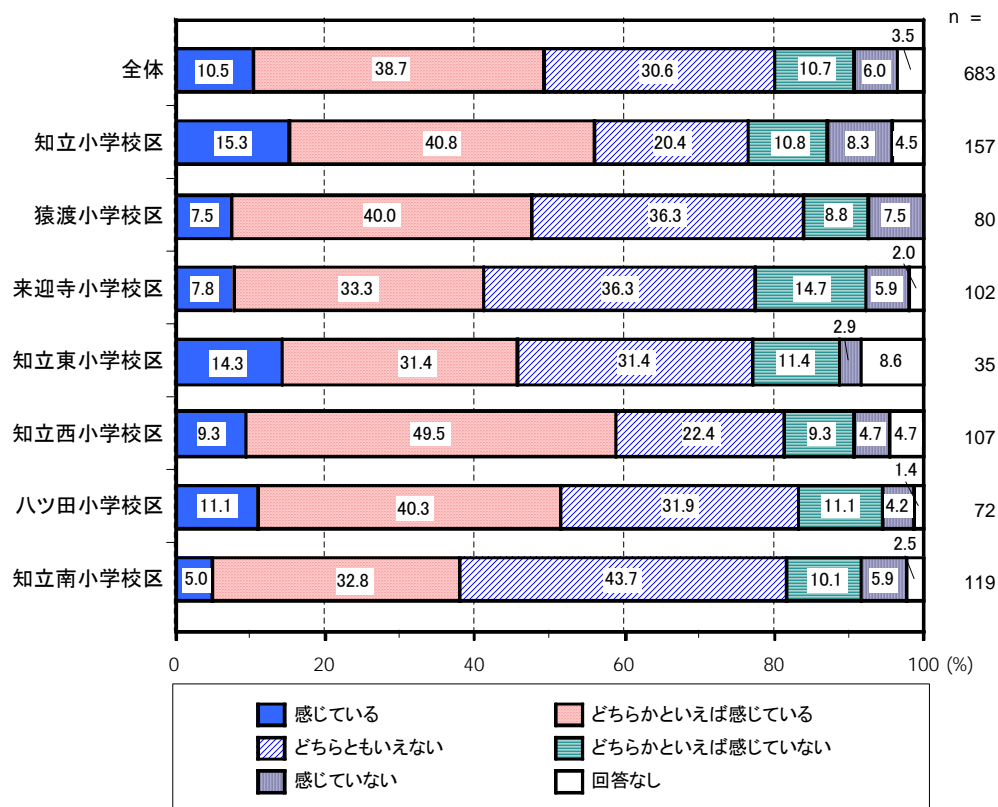
知立西小学校区では6割近くが“感じている”半面、知立南小学校区や来迎寺小学校区では4割前後にとどまっている。

- 暮らし続ける住環境が整っているまちである印象について、「感じている」は10.5%、「どちらかといえば感じている」が38.7%で、“感じている”は計49.2%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が10.7%、「感じていない」が6.0%で、“感じていない”は計16.7%となっています（図表2-3-5）。
- 年齢別にみると、「どちらかといえば感じている」は40～49歳（47.0%）、80歳以上（44.2%）でやや多くなっている一方、50～59歳（30.2%）や20～29歳（32.7%）でやや少なくなっています。特に、50～59歳では「どちらかといえば感じていない」（16.0%）が全体よりやや多くなっています。
- 小学校区別にみると、知立西小学校区では“感じている”（計58.8%）が全体と比べて多くなっています。一方、知立南小学校区では“感じている”（計37.8%）が相対的に少なく、その分、「どちらともいえない」（43.7%）が全体より10ポイント以上多くなっています。また来迎寺小学校区も同じく、「どちらかといえば感じている」（33.3%）より「どちらともいえない」（36.6%）が多くなっています（図表2-3-6）。
- 前回調査と比較すると、「どちらかといえば感じている」（30.8%⇒38.7%）がやや増えています（図表2-3-7）。

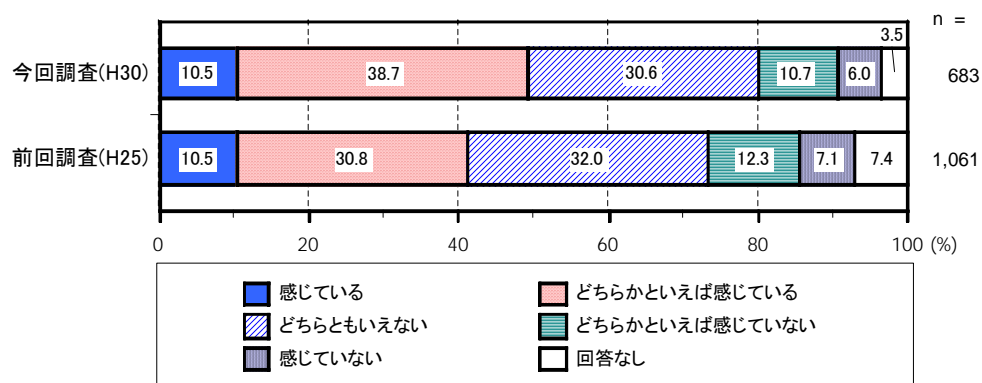
図表 2-3-5 知立市の印象「暮らし続ける住環境が整っているまち」（年齢別）



図表 2-3-6 知立市の印象「暮らし続ける住環境が整っているまち」(小学校区別)



図表 2-3-7 知立市の印象「暮らし続ける住環境が整っているまち」(前回調査との比較)



### (3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち

災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちだと“感じている”回答者は41.9%。

知立東小学校区では“感じている”が6割近くある半面、知立南小学校区や八ツ田小学校区では4割弱となっている。

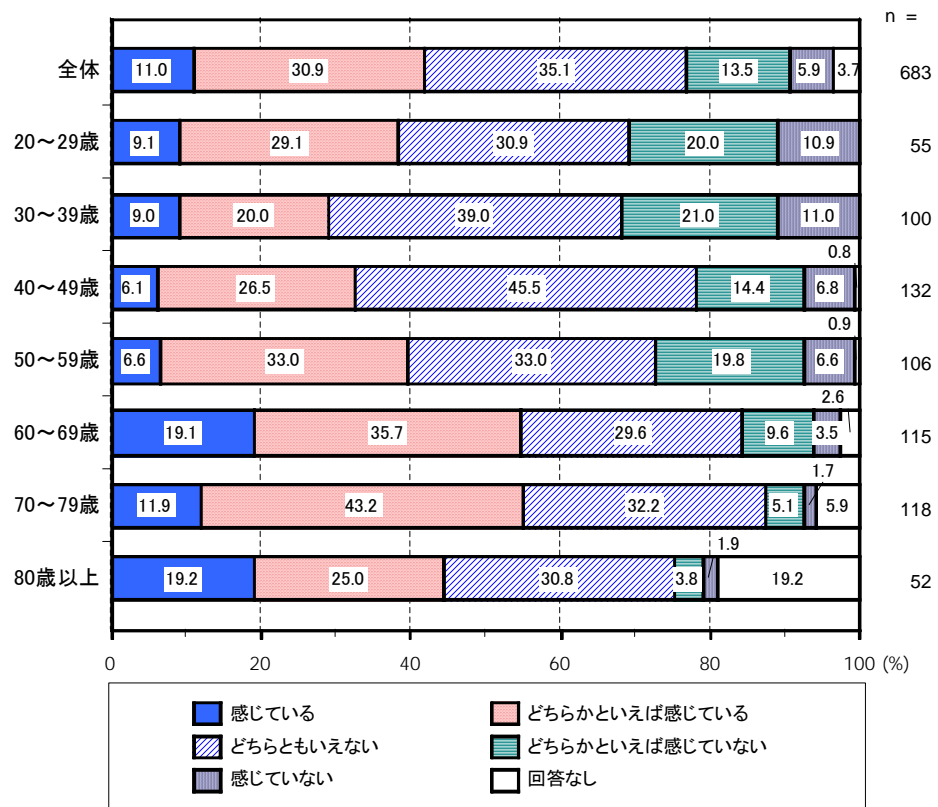
○災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまちである印象について、「感じている」は11.0%、「どちらかといえば感じている」は30.9%で、“感じている”は計41.9%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」は13.5%、「感じていない」は5.9%で、“感じていない”は計19.4%となっています（図表2-3-8）。

○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて“感じている”が70～79歳（計55.1%）や60～69歳（計54.8%）、でそれぞれ多くなっていますが、“感じていない”が、30～39歳（計32.0%）や20～29歳（計30.9%）と全体よりやや多くなっています。

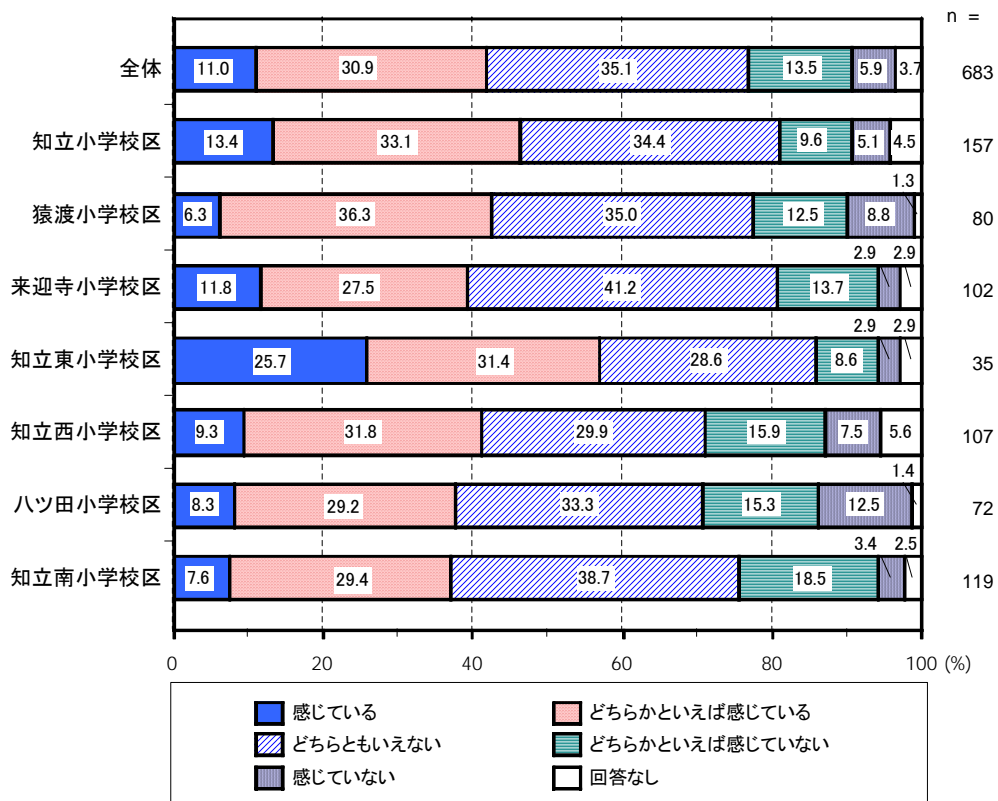
○小学校区別にみると、“感じている”は知立東小学校区（計57.1%）で多くなっているものの、八ツ田小学校区では「感じていない」が12.5%、知立南小学校区では「どちらかといえば感じていない」が18.5%とそれぞれ全体よりやや多くなっています（図表2-3-9）。

○前回調査と比較したところ、変化はほとんど見られません（図表2-3-10）。

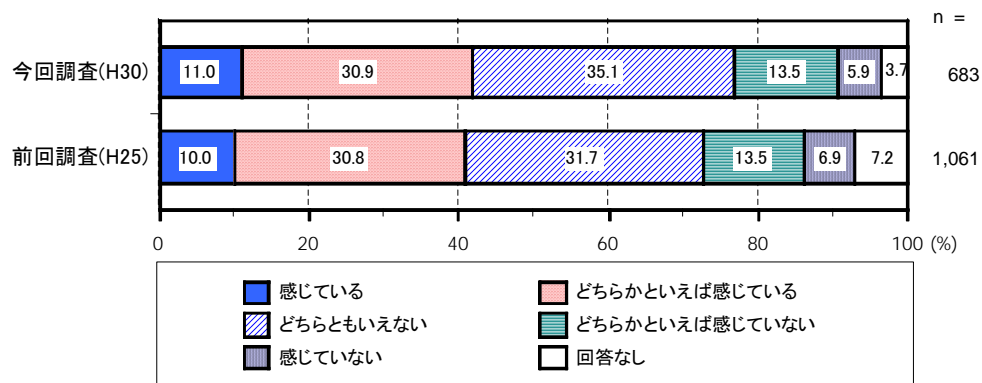
図表 2-3-8 知立市の印象「災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち」（年齢別）



図表 2-3-9 知立市の印象「災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち」(小学校区別)



図表 2-3-10 知立市の印象「災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち」(前回調査との比較)



#### (4) いくつになっても安心して暮らせるまち

いくつになっても安心して暮らせるまちだと“感じている”回答者は38.1%。

知立西小学校区では“感じている”が半数近くに上る半面、八ツ田小学校区や知立南小学校区、知立東小学校区では3割前後となっている。

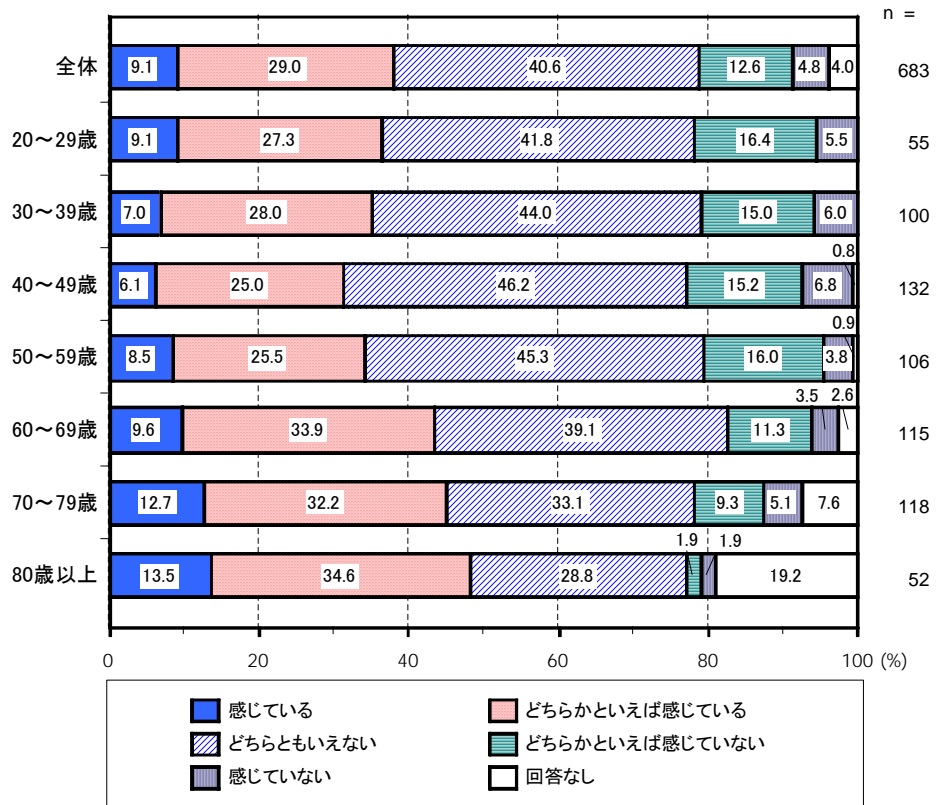
○いくつになっても安心して暮らせるまちである印象について、「感じている」が9.1%、「どちらかといえば感じている」が29.0%で、“感じている”は38.1%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が12.6%、「感じていない」が4.8%で、“感じていない”が17.4%となっています（図表2-3-11）。

○年齢別にみると、「どちらかといえば感じている」が80歳以上（34.6%）、「どちらかともいえない」が40～49歳（46.2%）で、それぞれ全体と比べてやや多くなっています。

○小学校区別にみると、“感じている”が知立西小学校区（計47.6%）や知立小学校区（計42.7%）で相対的に多くなっていますが、八ツ田小学校区（計29.1%）や知立南小学校区（計30.3%）、知立東小学校区（31.4%）では少なくなっています（図表2-3-12）。

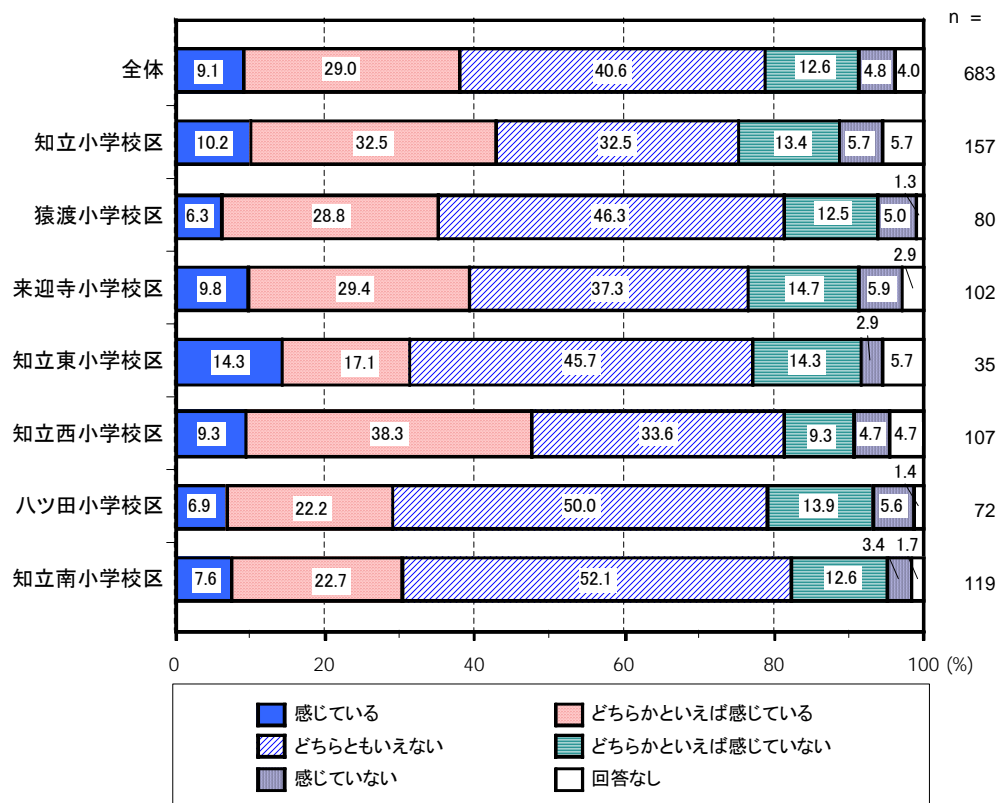
○前回調査と比較すると、“感じている”（計33.5%⇒38.1%）がわずかながら増えています（図表2-3-13）。

図表 2-3-11 知立市の印象「いくつになっても安心して暮らせるまち」(年齢別)

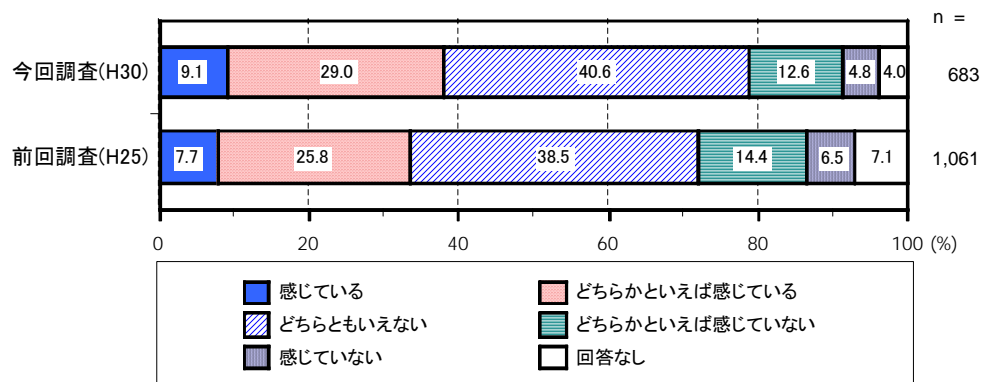




図表 2-3-12 知立市の印象「いくつになっても安心して暮らせるまち」(小学校区別)



図表 2-3-13 知立市の印象「いくつになっても安心して暮らせるまち」(前回調査との比較)



### (5) 活動的なにぎわいのあるまち

活動的なにぎわいのあるまちだと“感じている”回答者は20.8%、“感じていない”回答者が35.3%。

知立小学校区では“感じている”が3割近くある半面、猿渡小学校区、知立南小学校区、八ツ田小学校区では15%前後にとどまっている。

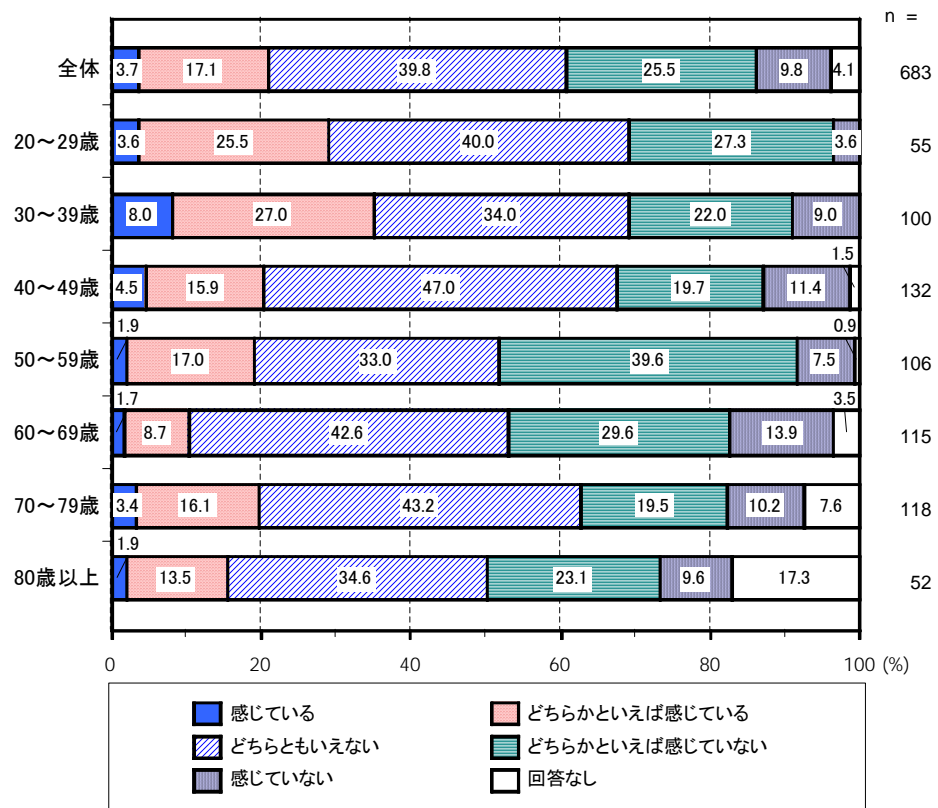
○活動的なにぎわいのあるまちである印象について、「感じている」が3.7%、「どちらかといえば感じている」が17.1%で、“感じている”は計20.8%となっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が25.5%、「感じていない」が9.8%で、“感じていない”は計35.3%に上り、“感じている”を15ポイント近く上回っています(図表2-3-14)。

○年齢別にみると、30～39歳(計35.0%)及び20～29歳(計29.1%)で“感じている”が全体より10ポイント前後多くなっている半面、“感じていない”が50～59歳(計47.1%)や60～69歳(計43.5%)で10ポイント前後多くなっています。

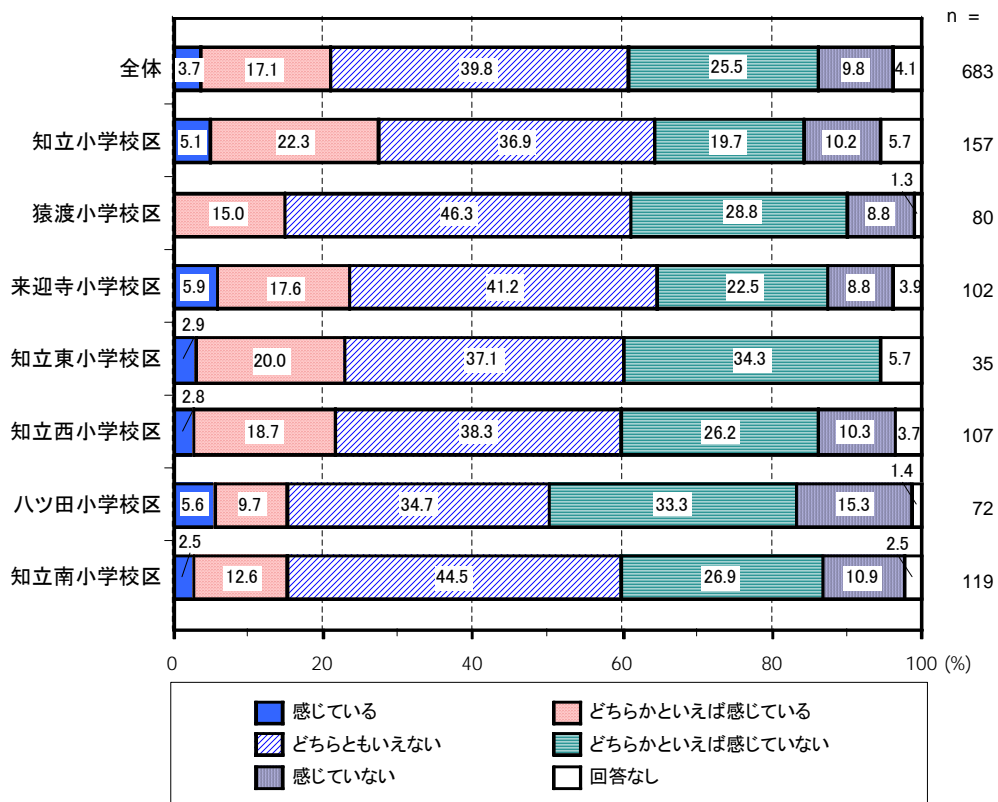
○小学校区別にみると、“感じている”が知立小学校区(計27.4%)でやや多くなっているものの、猿渡小学校区(計15.0%)、知立南小学校区(計15.1%)、八ツ田小学校区(計15.3%)では少なくなっています。特に、八ツ田小学校区では“感じていない”が計48.6%で半数近くを占めています(図表2-3-15)。

○前回調査と比較すると、“感じている”(計16.2%⇒20.8%)がわずかながら増えています(図表2-3-16)。

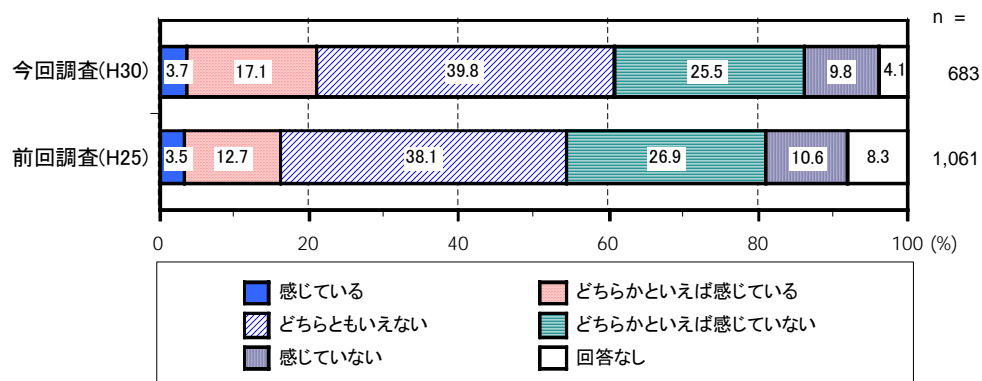
図表 2-3-14 知立市の印象「活動的なにぎわいのあるまち」(年齢別)



図表 2-3-15 知立市の印象「活動的なにぎわいのあるまち」(小学校区別)



図表 2-3-16 知立市の印象「活動的なにぎわいのあるまち」(前回調査との比較)



## (6) 市政に市民の意見が反映されている

市政に市民の声が反映されていると“感じている”回答者は17.3%、“感じていない”が26.8%で、過半数が「どちらともいえない」。

70～79歳では“感じている”がやや多い半面、60～69歳では“感じていない”が4割に上っている。

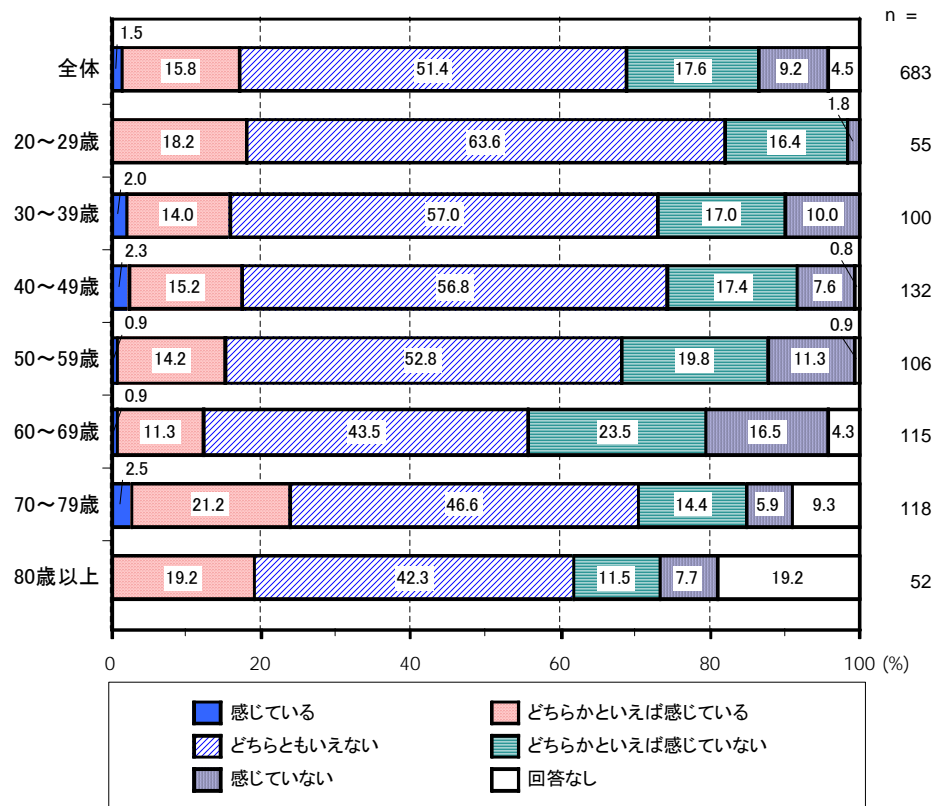
○市政に市民の声が反映されている印象について、「感じている」が1.5%、「どちらかといえば感じている」が15.8%で、“感じている”は17.3%にとどまっています。一方、「どちらかといえば感じていない」が17.6%、「感じていない」が9.2%で、“感じていない”が26.8%にのびます（図表2-3-17）。

○年齢別にみると、“感じている”が70～79歳（計23.7%）で全体よりやや多く、“感じていない”は60～69歳（計40.0%）でやや多くなっています。また、「どちらともいえない」が20～29歳（63.6%）、30～39歳（57.0%）、40～49歳（56.8%）で全体より5～10ポイント程度多くなっています。

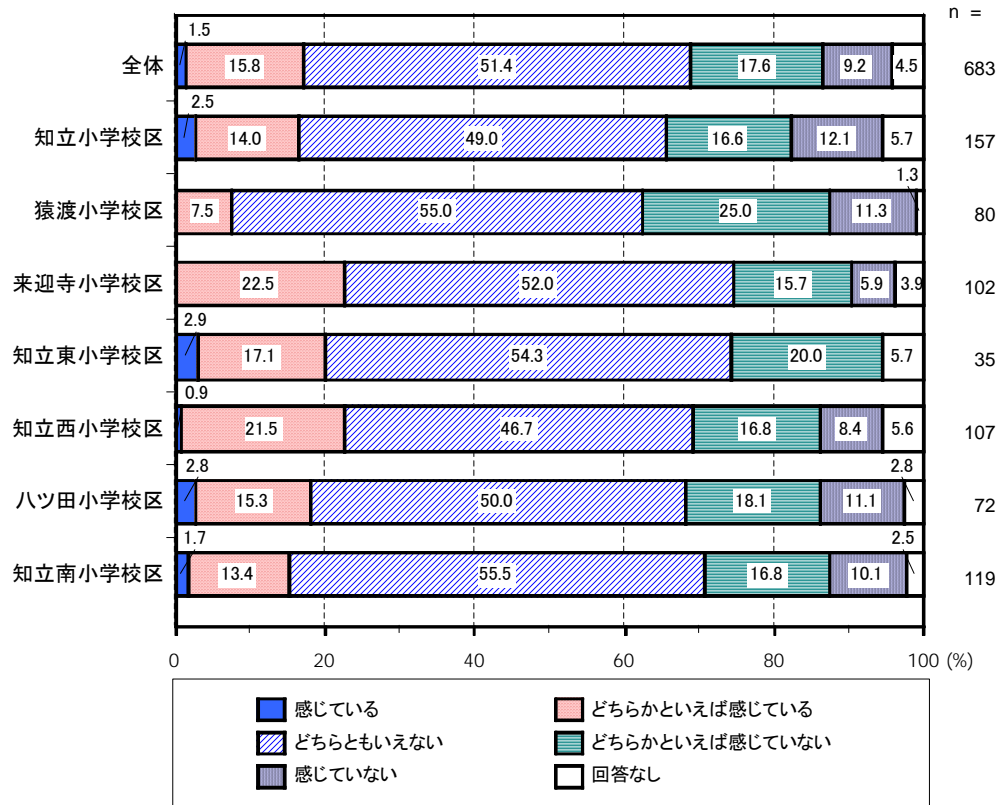
○小学校区別にみると、“感じている”が来迎寺小学校区（計22.5%）や知立西小学校区（計22.4%）でやや多い半面、猿渡小学校区（計7.5%）ではやや少なく、「どちらかといえば感じていない」（25.0%）がやや多くなっています（図表2-3-18）。

○前回調査と比較したところ、変化はほとんど見られません（図表2-3-19）。

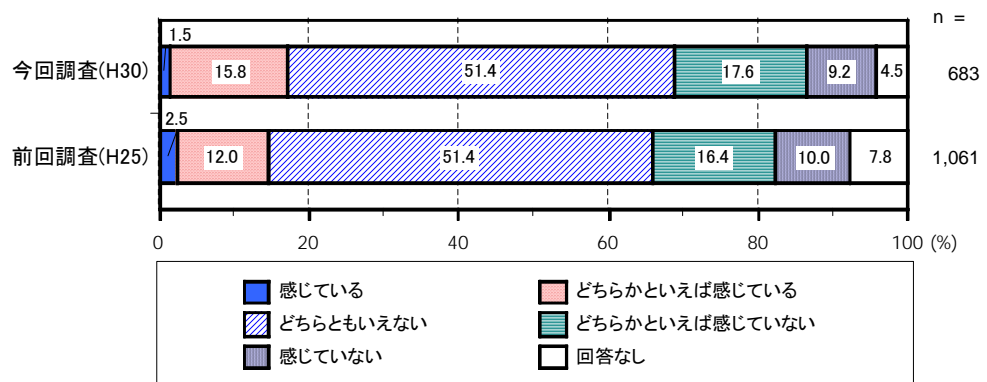
図表 2-3-17 知立市の印象「市政に市民の意見が反映されている」(年齢別)



図表 2-3-18 知立市の印象「市政に市民の意見が反映されている」(小学校区別)



図表 2-3-19 知立市の印象「市政に市民の意見が反映されている」(前回調査との比較)



(4) 知立市の強み・弱み

問5 知立市を他の都市と比べた時、「強み・長所」及び「弱み・短所」はどこに感じますか。

○知立市の強みについては下図表のとおりで、交通環境に関するものが多くなっています。特に「交通の便が良い」(156件)や「鉄道網が充実しており、便利が良い」(61件)を強みとして挙げている人が多くなっています(図表2-4-1)。

図表2-4-1 知立市の強み

意見内容	件数	意見内容	件数
<b>1. 交通環境について</b>	<b>262 件</b>	災害の心配がない	9
交通の便が良い	156	福祉施設が充実しており、福祉に積極的に取り組んでいる	5
鉄道網が充実しており、便利が良い	61	治安が良い	5
拠点地である知立駅がある	35	公害がない、まちがきれい	2
広域道路や生活道路など道路網が整っており、便利である	9	行政サービスがきめ細やかである	1
コミュニティバスの便利が良い	1	<b>4. 歴史・文化、観光資源について</b>	<b>52 件</b>
<b>2. 市の規模・立地について</b>	<b>59 件</b>	文化・伝統、歴史がある	24
市がコンパクトで移動しやすい	40	弘法さんや、知立祭りなどの伝統行事が続いている	22
大都市、大企業がある都市に隣接するなど立地が良い	16	東海道五十三次の宿場町、池鯉鮒などの観光資源や名物がある	6
ベッドタウン	3	<b>5. 市民や町内活動について</b>	<b>22 件</b>
<b>3. 生活環境について</b>	<b>105 件</b>	地域への愛着や地域のつながり、まとまりがある	18
買い物、病院など、生活利便施設・住環境が整っている	31	外国人が多く、グローバル的なまちである	2
静か、田舎、自然	22	市民性	2
住みやすい	12	<b>6. 行政運営について</b>	<b>6</b>
子育て施設や子育て支援サービスが整っている	11	<b>7. ちりゅっぴについて</b>	<b>19</b>
のどか、のんびり穏やか	6	<b>8. その他</b>	<b>4</b>
高齢者が元気・住みやすい	1	<b>合計</b>	<b>529 件</b>

○知立市の弱みについては下図表のとおりで、税収・税金に関するもの、公共施設・生活利便施設に関するもの、交通の利便性や道路環境ついてなどが多くなっています。特に「企業、大企業がなく、財政が弱い」(99件)や「道路が狭い、歩道などが未整備など、道路環境が悪い」(46件)などを弱みとして挙げている人が多くなっています(図表2-4-2)。

図表2-4-2 知立市の弱み

意見内容	件数	意見内容	件数
<b>1. 駅周辺のにぎわいやまちの活気について</b>	<b>70件</b>	<b>6. 生活環境について</b>	<b>56件</b>
知名度が低い、アピールポイント、魅力に欠ける	27	ごみの収集方法が不便である、ごみ袋が高い	10
観光資源がない、観光資源が活かされていない	21	治安が悪い	10
駅周辺整備が進んでいない、駅周辺の魅力、にぎわいが無い	16	上下水道整備が遅れている	9
まちに活気がない	6	インフラ整備が不十分	6
<b>2. 税収・税金について</b>	<b>179件</b>	緑や自然が少ない	6
企業、大企業が少なく、財政が弱い	99	ごみ出しや野焼き、犬のフン、自転車マナーなど、モラル・マナーが悪い	5
税金が高い	44	水道代が高い	5
財政が弱く、大きなプロジェクトができなかったり、進捗が遅い	36	田舎である	3
<b>3. 公共施設・生活利便施設について</b>	<b>106件</b>	水害が心配である	1
公園、スポーツ施設が少ない。図書館	41	自治会づきあい	1
飲食店や商業施設、娯楽施設が少なく、不便である	38	<b>7. 福祉・教育環境について</b>	<b>41件</b>
警察署や税務署、総合病院などの施設がない	17	外国人が多く、治安やコミュニケーションが不安である	13
公共施設全般	7	保育園などが不足しているなど、子育て環境が乏しい	12
市民サービス	3	障がい者福祉や高齢者福祉など、福祉面が弱い	12
<b>4. 市域や人口について</b>	<b>20件</b>	学力やスポーツ能力が低い	4
市が狭い	14	<b>8. 行政や議会について</b>	<b>33件</b>
人口が少なくなっている。人口密度が高い	6	行政力が弱い、行政サービスが行きわたっていない	28
<b>5. 交通の利便性や道路環境について</b>	<b>99件</b>	市役所職員に元気がない、対応が悪い	3
道路が狭い、歩道などが未整備など、道路環境が悪い	46	議員が多い	2
交通が不便である	27	<b>9. その他</b>	<b>12件</b>
渋滞が多い	17	昔の社会が続いている。	8
バスが不便である	9	その他	4
		<b>合計</b>	<b>616件</b>

### 3. 知立市の取組みに対する満足度・重要度

(1) 知立市の取組みに対する満足度

(2) 今後の取組みの重要度

問6 あなたは、以下の知立市の取組みについて、現在「満足」していますか。  
また、今後の取組みは「重要」だと思いますか。

○知立市の取組みに対する満足度について、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた割合は、『安心で安全な水道水』が計 58.5%で最も多く、『ごみの減量化、リサイクル』(計 47.4%)、『知立市の広報・広聴活動』(計 46.2%)、『市役所の職員の対応』(計 45.7%)、『公共交通の利便性向上』(計 45.3%)の順に続いています(図表 3-1-1)。

○一方、「どちらかといえば不満である」と「不満である」を合わせた割合は、『工業の振興や企業誘致』が計 36.6%で最も多く、以降、『商業・サービス業の振興』(計 35.6%)、『身近な生活道路の整備・改善』(計 34.3%)、『知立駅周辺の整備・改善』(計 28.6%)、『幹線道路の整備・改善』(計 25.8%)が続いています。

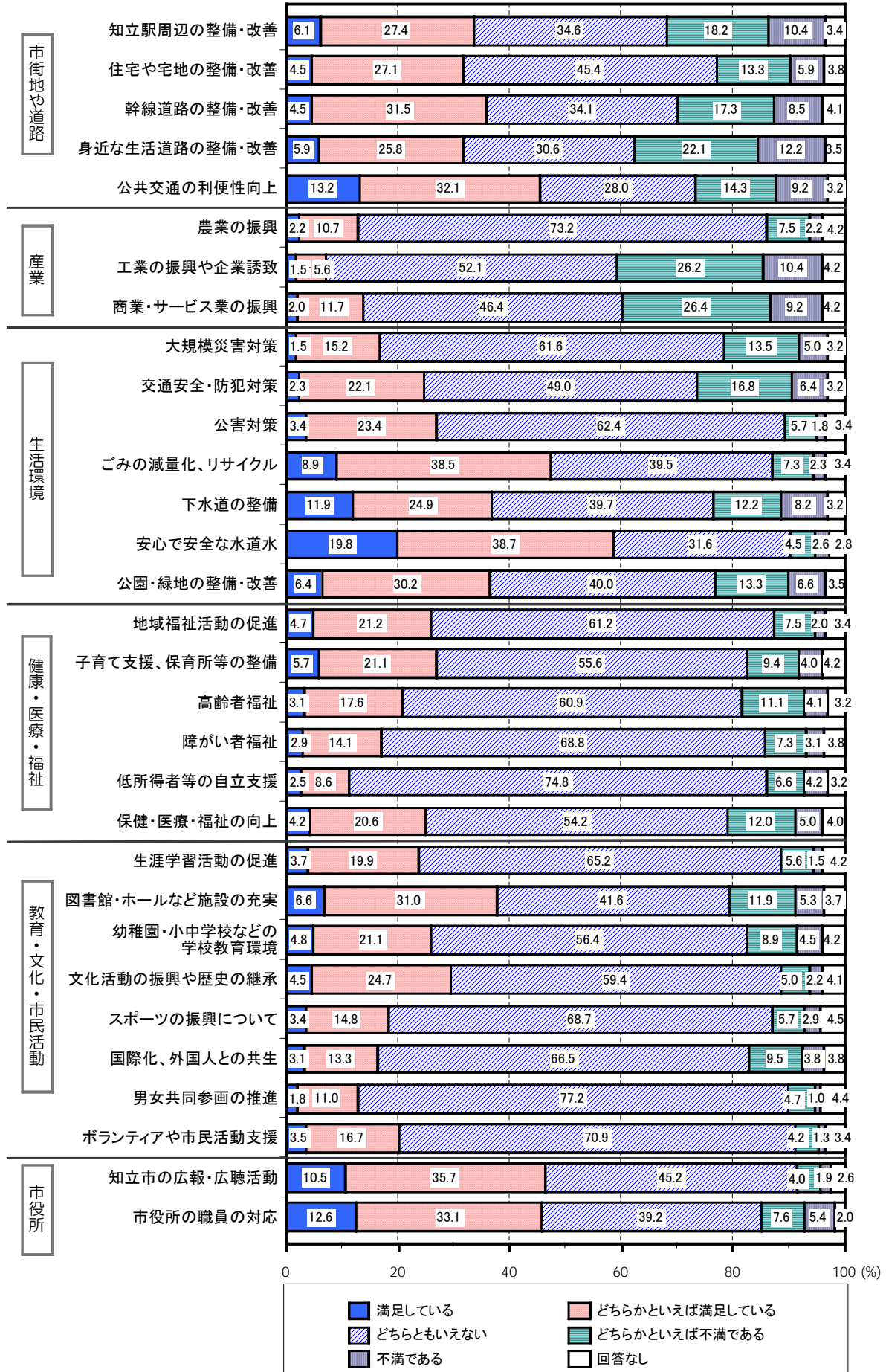
○知立市の取組みに対する重要度について、「重要である」と「どちらかといえば重要である」を合わせた割合は、『交通安全・防犯対策』が計 75.4%と最も多く、『知立駅周辺の整備・改善』(計 74.0%)、『大規模災害対策』(計 73.3%)、『身近な生活道路の整備・改善』(計 71.6%)、『公共交通の利便性向上』(計 71.5%)と続いています(図表 3-2-1)。

○また、「重要である」と「どちらかといえば重要である」の合計が相対的に少ないのは、『男女共同参画の推進』が計 34.2%で最も少なく、『農業の振興』(計 38.9%)、『スポーツの振興について』(計 39.5%)、『生涯学習活動の促進』(計 42.9%)、『ボランティアや市民活動支援』(計 44.4%)の順になっています。



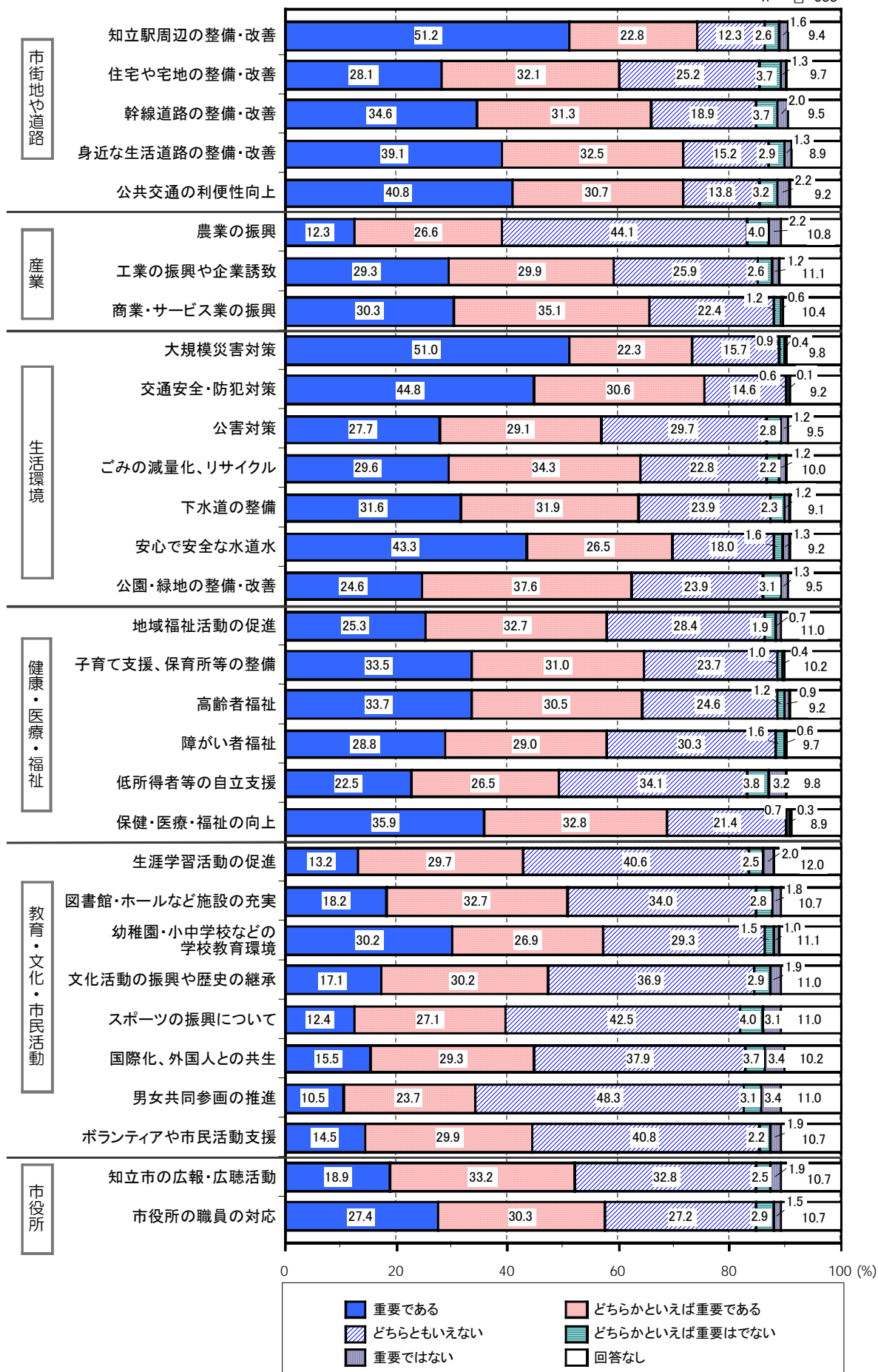
図表3-1-1 知立市の取組みに対する満足度

n = 各 683



図表3-2-1 今後の取組みの重要度

n = 各 683



図表3-2-2 満足度率、重要度率の順位(上位5、下位5)

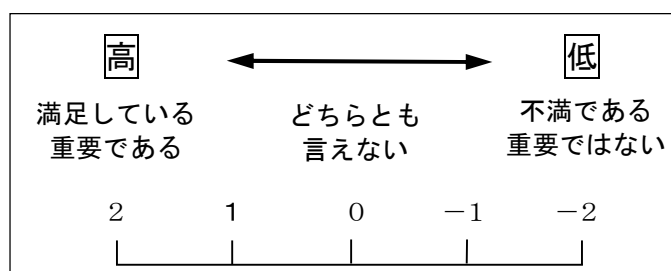
	「満足している」+ 「どちらかといえば満足している」	「重要である」+ 「どちらかといえば重要である」
上 位		
1位	(14) 安心して安全な水道水	(10) 交通安全・防犯対策
2位	(12) ごみの減量化、リサイクル	(1) 知立駅周辺の整備・改善
3位	(30) 知立市の広報・広聴活動	(9) 大規模災害対策
4位	(31) 市役所の職員の対応	(4) 身近な生活道路の整備・改善
5位	(5) 公共交通の利便性向上	(5) 公共交通の利便性向上
下 位		
31位	(7) 工業の振興や企業誘致	(28) 男女共同参画の推進
30位	(20) 低所得者等の自立支援	(6) 農業の振興
29位	(28) 男女共同参画の推進	(26) スポーツの振興について
28位	(6) 農業の振興	(22) 生涯学習活動の促進
27位	(8) 商業・サービス業の振興	(29) ボランティアや市民活動支援

### (3) 満足度と重要度（評点による分析）

施策ごとの満足度、重要度を5段階で評価し、この平均値（評点）をもとに今後の施策の方向性を検討する基礎資料としました。

評点の算出方法は図表 3-3-1 のとおりです。

図表3-3-1 満足度・満足度の数値



#### 満足度の平均得点

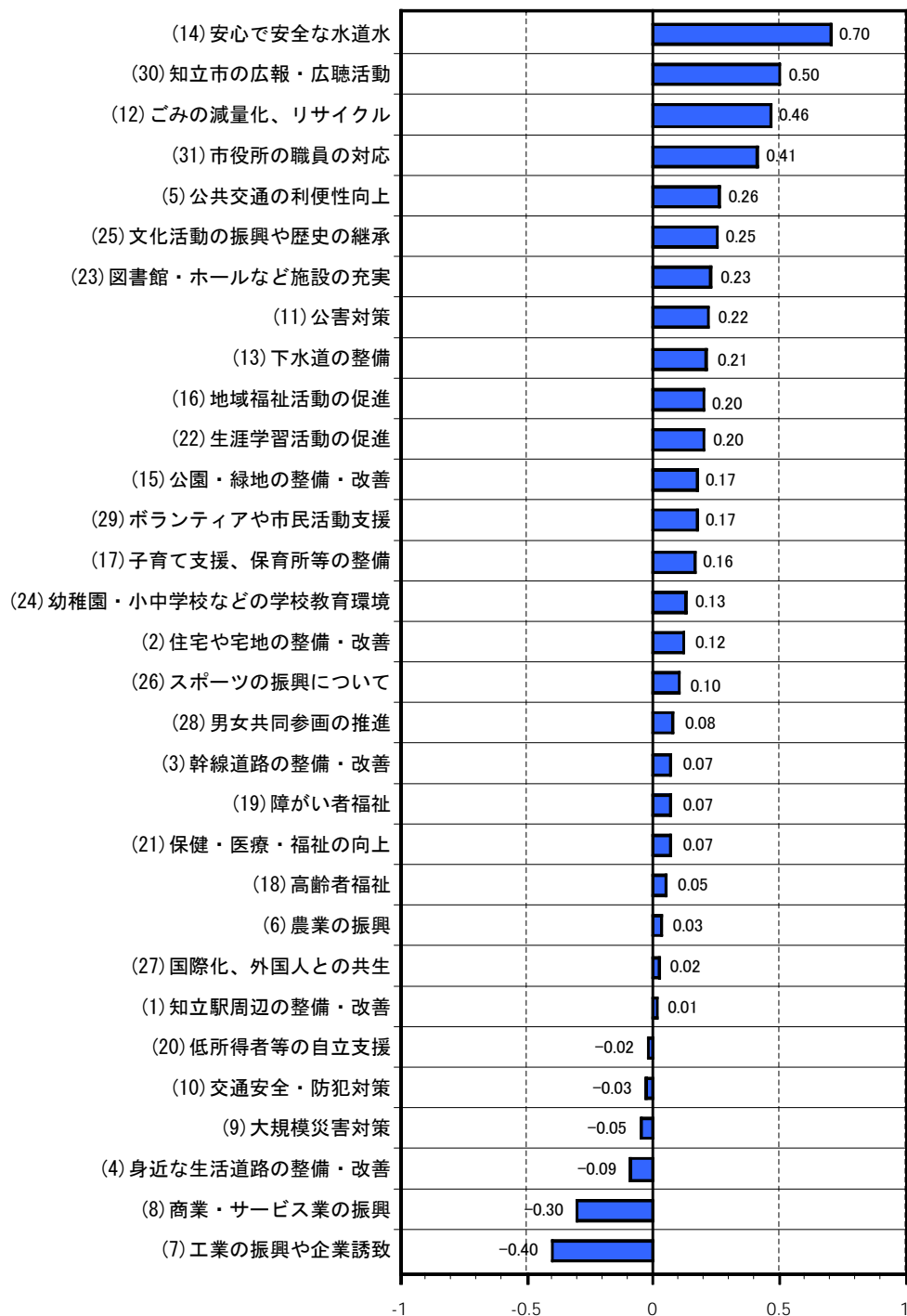
{「満足している」の回答者数×(+2点) + 「どちらかといえば満足している」の回答者数×(+1点) + 「どちらともいえない」の回答者数×(0点) + 「どちらかといえば不満である」の回答者数×(-1点) + 「不満である」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

#### 重要度の平均得点

{「重要である」の回答者数×(+2点) + 「どちらかといえば重要である」の回答者数×(+1点) + 「どちらともいえない」の回答者数×(0点) + 「どちらかといえば重要ではない」の回答者数×(-1点) + 「重要ではない」の回答者数×(-2点)} ÷ 総回答者数

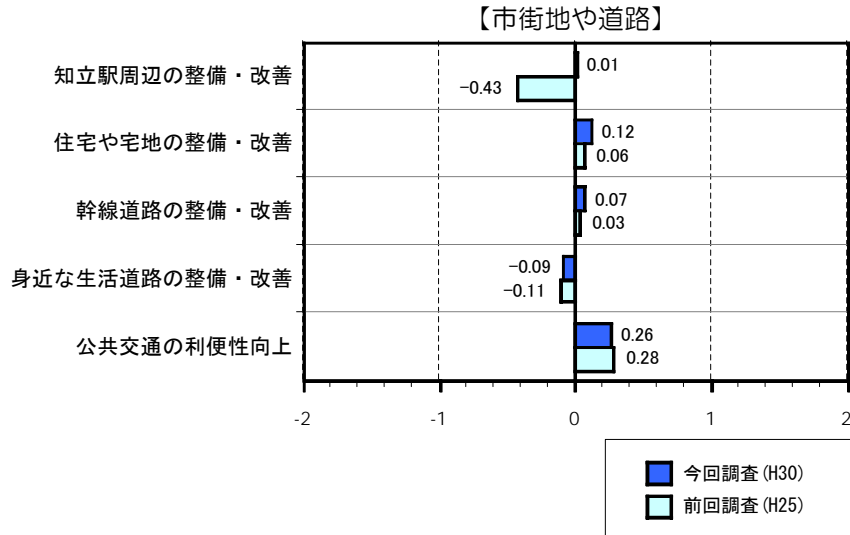
○満足度の評点の平均値は 0.13 で、各施策の満足度の評点は下図表の通りです。

図表3-3-2 施策の満足度(評点)

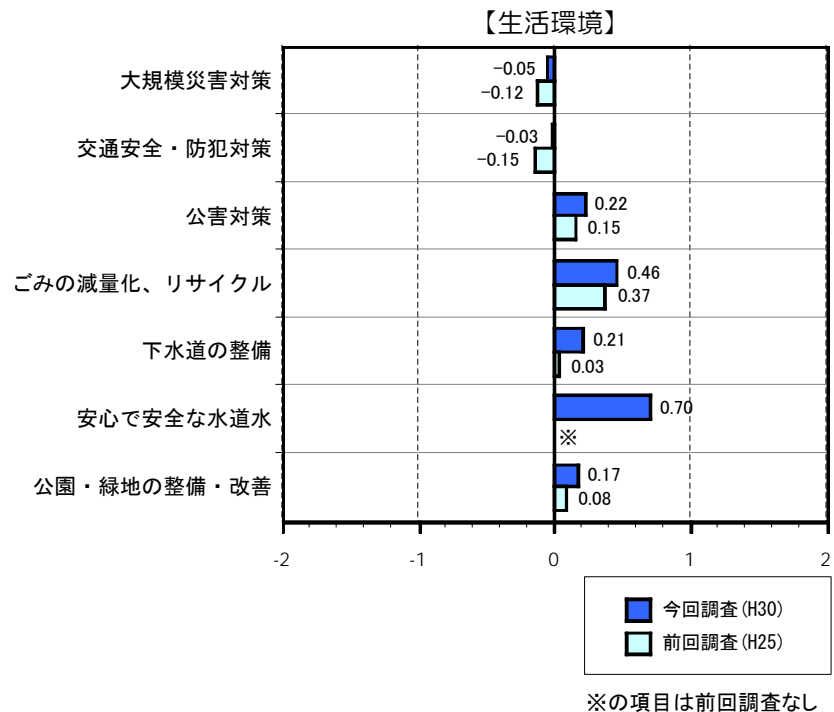


- 各施策の満足度について、分野ごとに前回調査と比較すると、市街地や道路では、『知立駅周辺の整備・改善』(-0.43⇒0.01)で大きく改善が見られます(図表3-3-3)。
- 生活環境では、『下水道の整備』(0.03⇒0.21)で評点の向上が見られ、今回調査から項目に加えた「安心して安全な水道水」(0.70)の評価が高くなっています(図表3-3-4)。

図表3-3-3 施策の満足度「市街地や道路」(前回調査との比較)

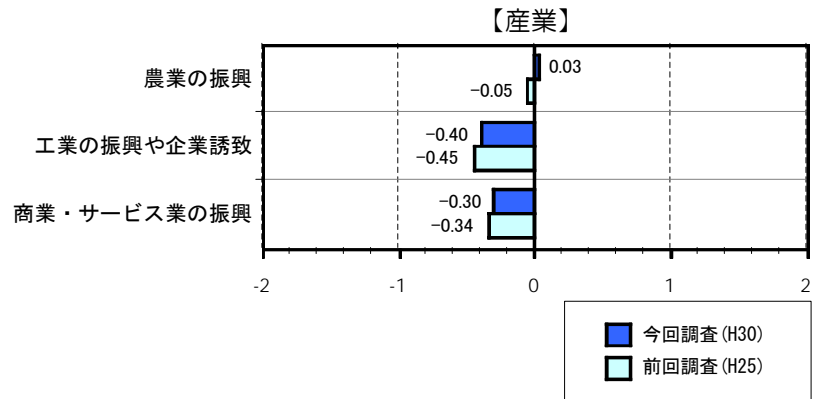


図表3-3-4 施策の満足度「生活環境」(前回調査との比較)

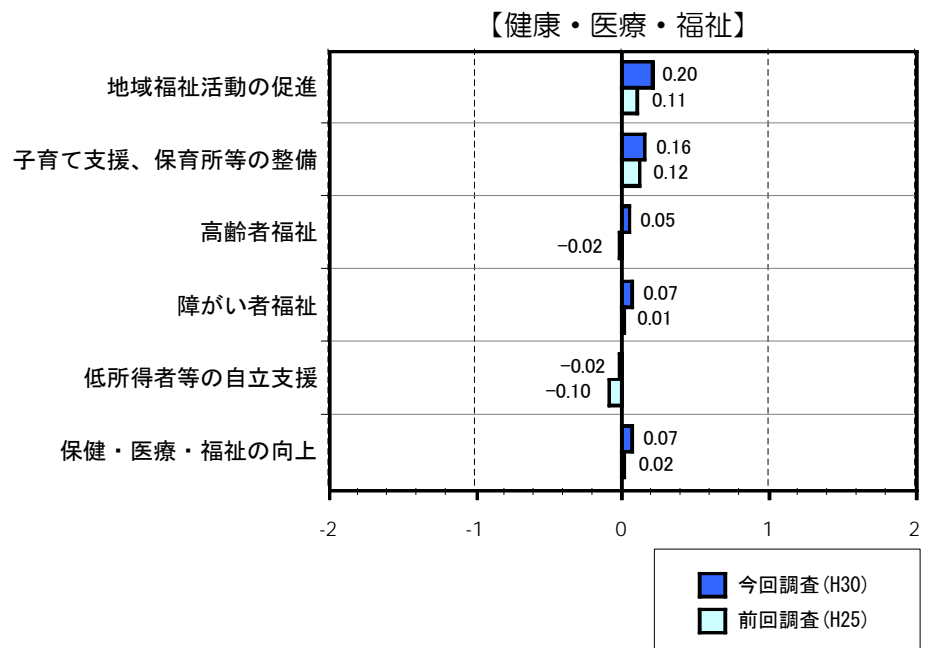


- 産業では、『農業の振興』(-0.05⇒0.03) でやや改善が見られます(図表 3-3-5)。
- 健康・医療・福祉では、『地域福祉活動の促進』(0.11⇒0.20)、『高齢者福祉』(0.01⇒0.07) でやや評点の向上が見られます(図表 3-3-6)。

図表3-3-5 施策の満足度「産業」(前回調査との比較)



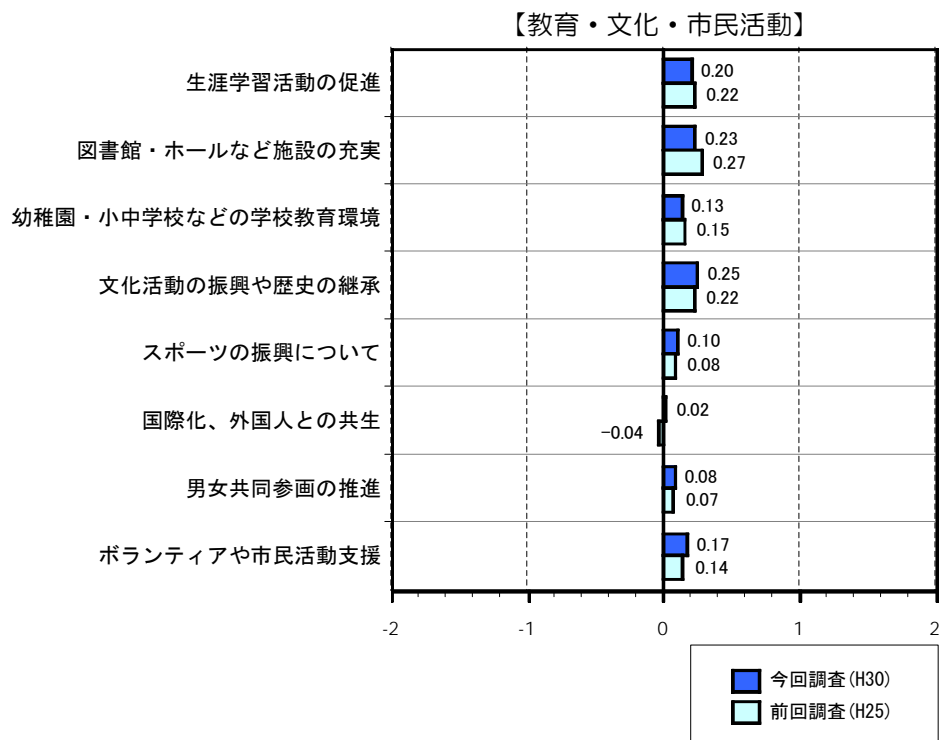
図表3-3-6 施策の満足度「健康・医療・福祉」(前回調査との比較)



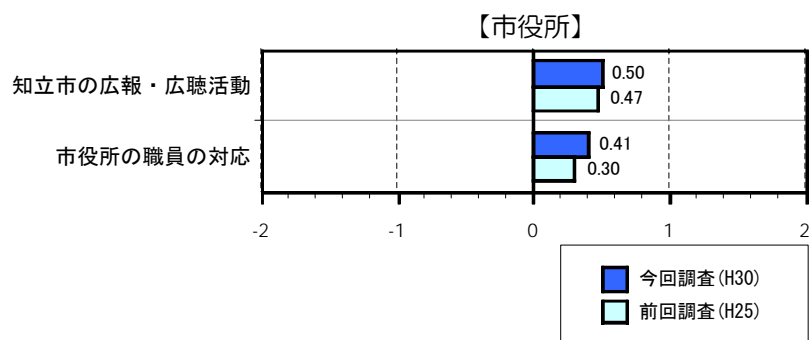
○教育・文化・市民活動では、『国際化、外国人との共生』（ $-0.04 \Rightarrow 0.02$ ）でやや改善が見られます（図表 3-3-7）。

○市役所では、『市役所の職員の対応』（ $0.30 \Rightarrow 0.41$ ）で評点の向上が見られます（図表 3-3-8）。

図表3-3-7 施策の満足度「教育・文化・市民活動」(前回調査との比較)

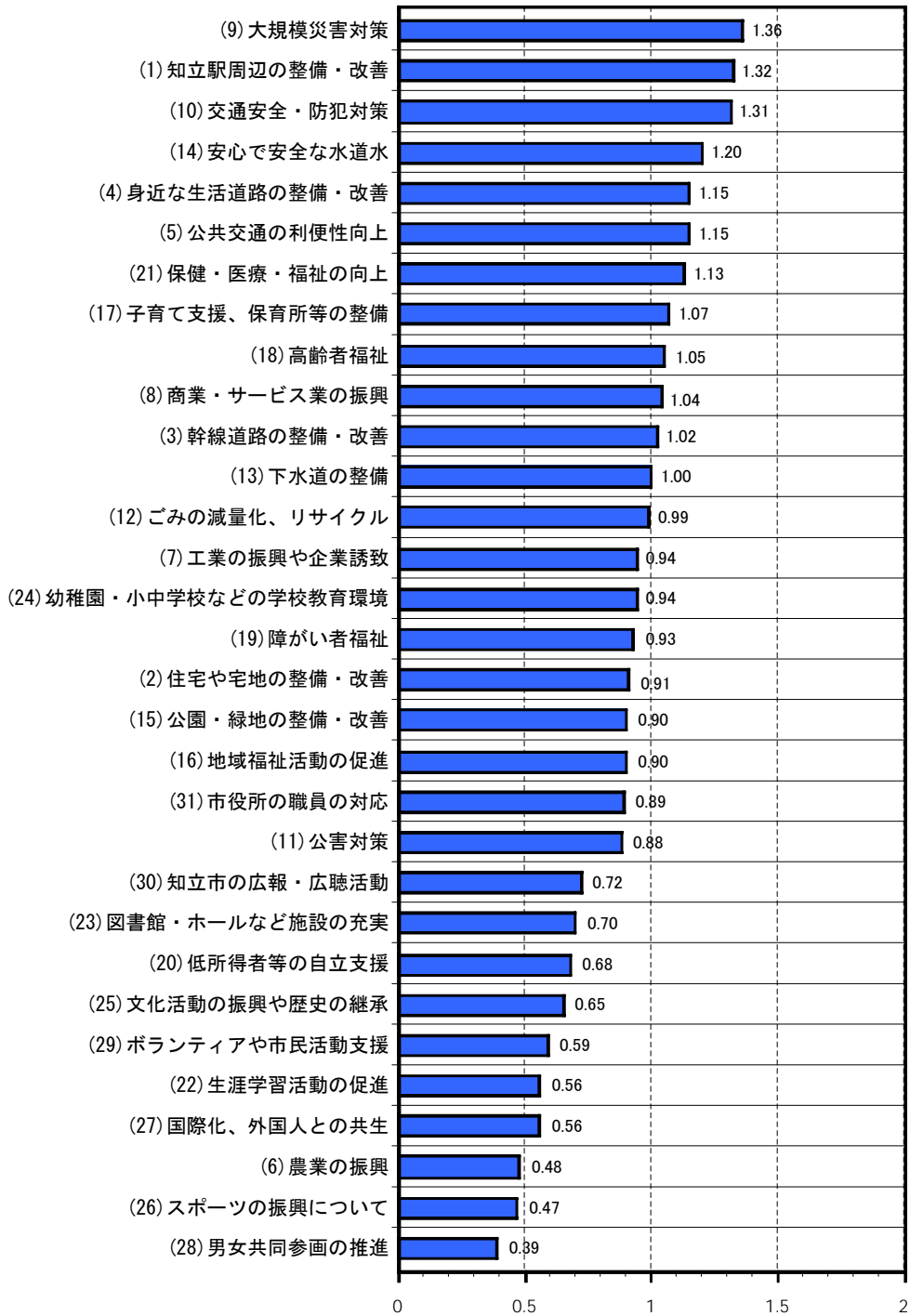


図表3-3-8 施策の満足度「市役所」(前回調査との比較)



○重要度の評点の平均値は 0.90 で、各施策の重要度の評点は下図表の通りです。

図表3-3-9 施策の重要度

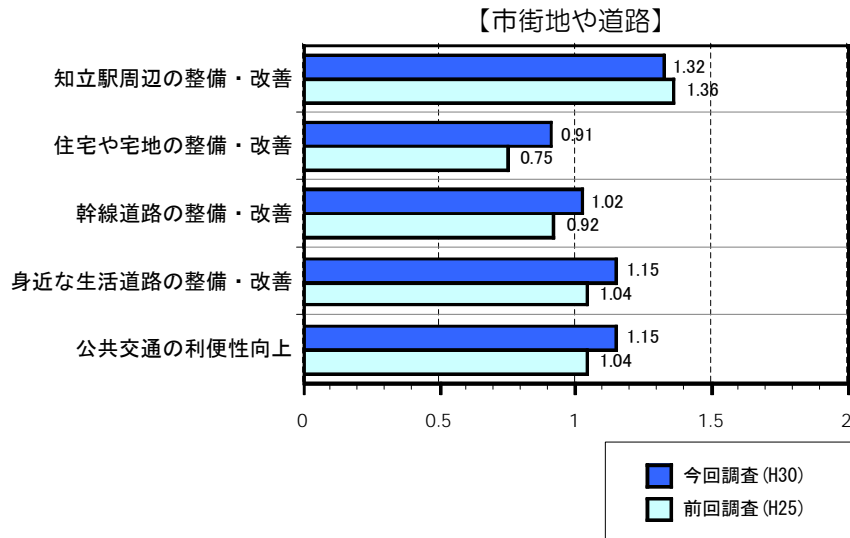




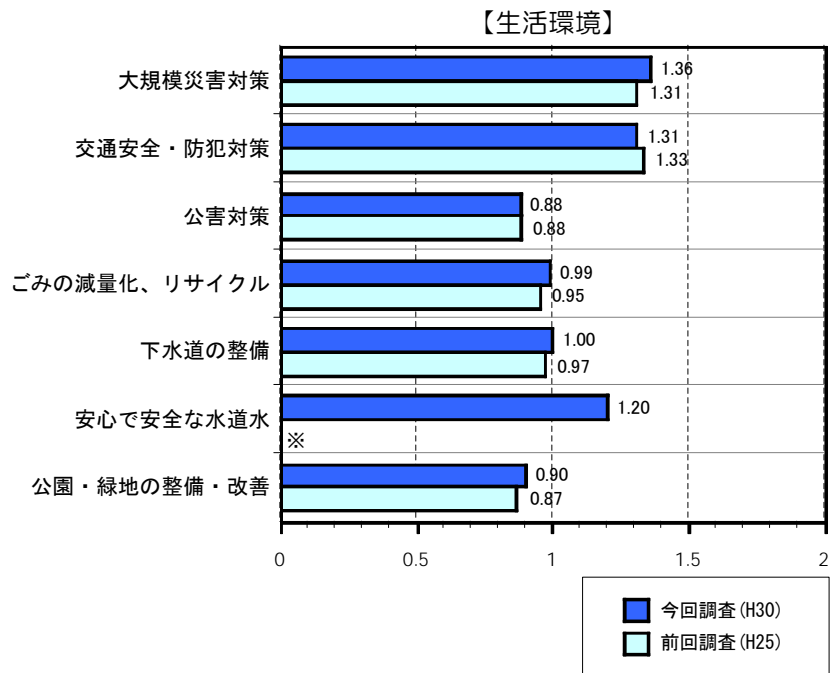
○各施策の重要度について、分野ごとに前回調査と比較すると、市街地や道路では、『住宅や宅地の整備・改善』(0.75⇒0.91)、『公共交通の利便性向上』『身近な生活道路の整備・改善』(いずれも1.04⇒1.15)、『幹線道路の整備・改善』(0.92⇒1.02)など多くの項目で評点が上昇しています(図表3-3-10)。

○生活環境では、評点の大きな変化は見られませんが、今回調査から項目に加えた「安心して安全な水道水」(1.20)は重要度が高くなっています(図表3-3-11)。

図表3-3-10 施策の重要度「市街地や道路」(前回調査との比較)



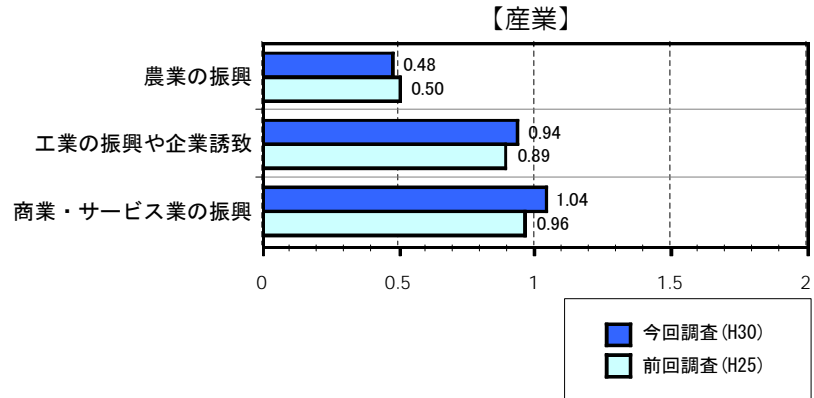
図表3-4-11 施策の重要度「生活環境」(前回調査との比較)



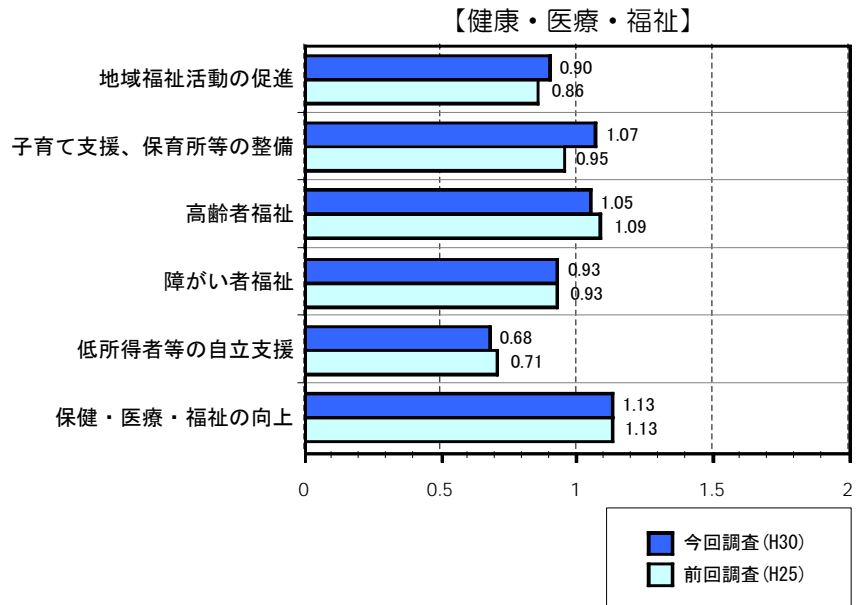
※の項目は前回調査なし

- 産業では、『商業・サービス業の振興』(0.96⇒1.04)で評点がやや上昇しています(図表3-3-12)。  
 ○健康・医療・福祉では、『子育て支援、保育所等の整備』(0.95⇒1.07)で重要度が高まっています(図表3-3-13)。

図表3-3-12 施策の重要度「産業」(前回調査との比較)



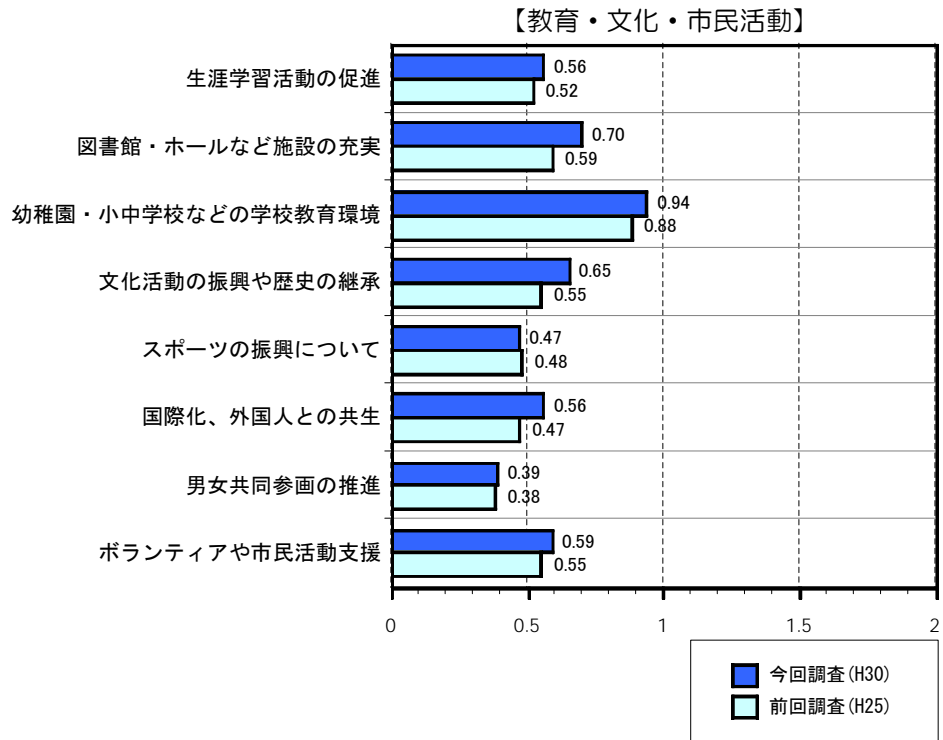
図表3-3-13 施策の重要度「健康・医療・福祉」(前回調査との比較)



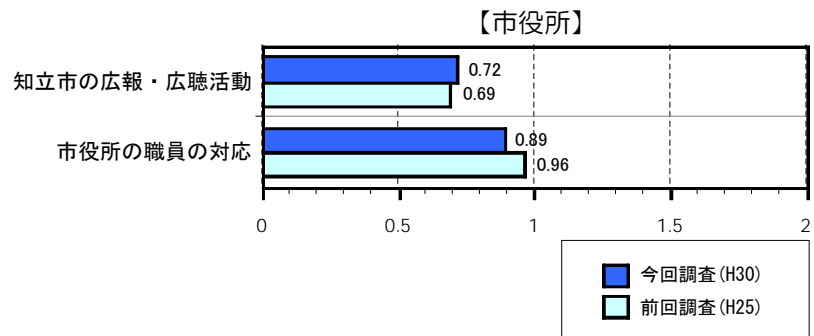
○教育・文化・市民活動では、『図書館・ホールなどの施設の充実』(0.59⇒0.70)、『文化活動の進行や歴史の継承』(0.55⇒0.65)で評点が上昇しているほか、『国際化、外国人との共生』(0.47⇒0.56)、『幼稚園・小中学校などの学校教育環境』(0.88⇒0.94)でも、重要度がやや高まっています(図表3-3-14)。

○市役所では、『市役所の職員の対応』(0.96⇒0.89)で評点がやや下がっています(図表3-3-15)。

図表3-3-14 施策の重要度「教育・文化・市民活動」(前回調査との比較)



図表3-3-15 施策の重要度「市役所」(前回調査との比較)



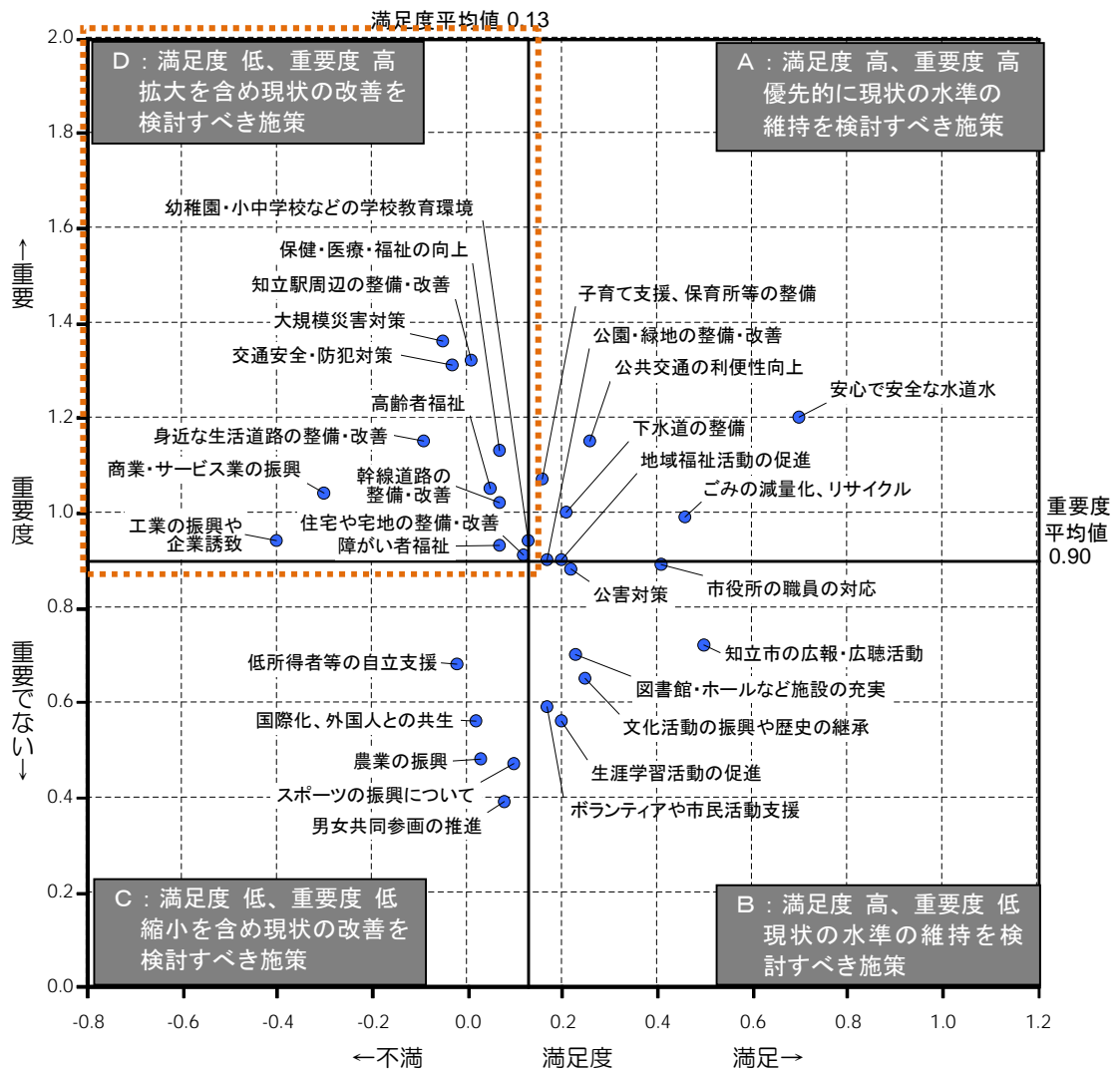
#### (4) 満足度と重要度の関係（評点による分析）

各施策の満足度の評点値を横軸、重要度の評点値を縦軸にとったものが図表 3-5-1 です。

満足度の平均値（0.13）、重要度の平均値（0.90）で区切られたA、B、C、D 4つの領域で今後の施策の方向性を検討することができます。

特に、満足度が相対的に低く、重要度が高いDの領域にある施策は、拡大を含め現状の改善を検討することが求められます。

図表3-5-1 各施策の満足度と重要度





## 4. 知立市民の生活の様子

### (1) 災害時の避難路・避難場所の認知状況

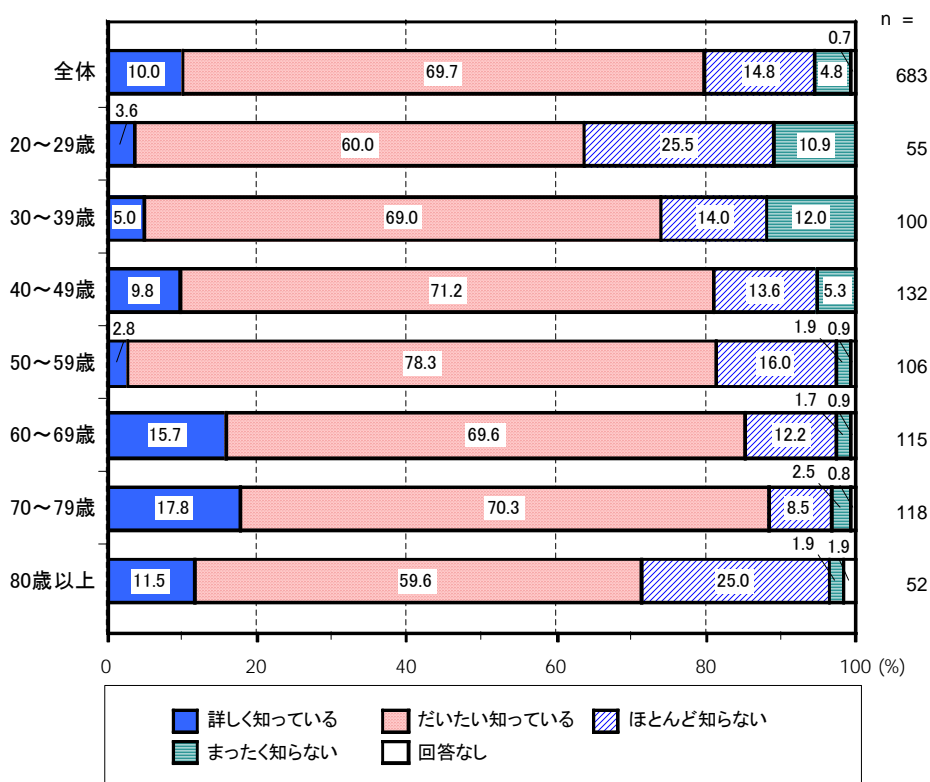
問7 あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか。

災害時の避難路・避難場所の認知度は約8割に上る。

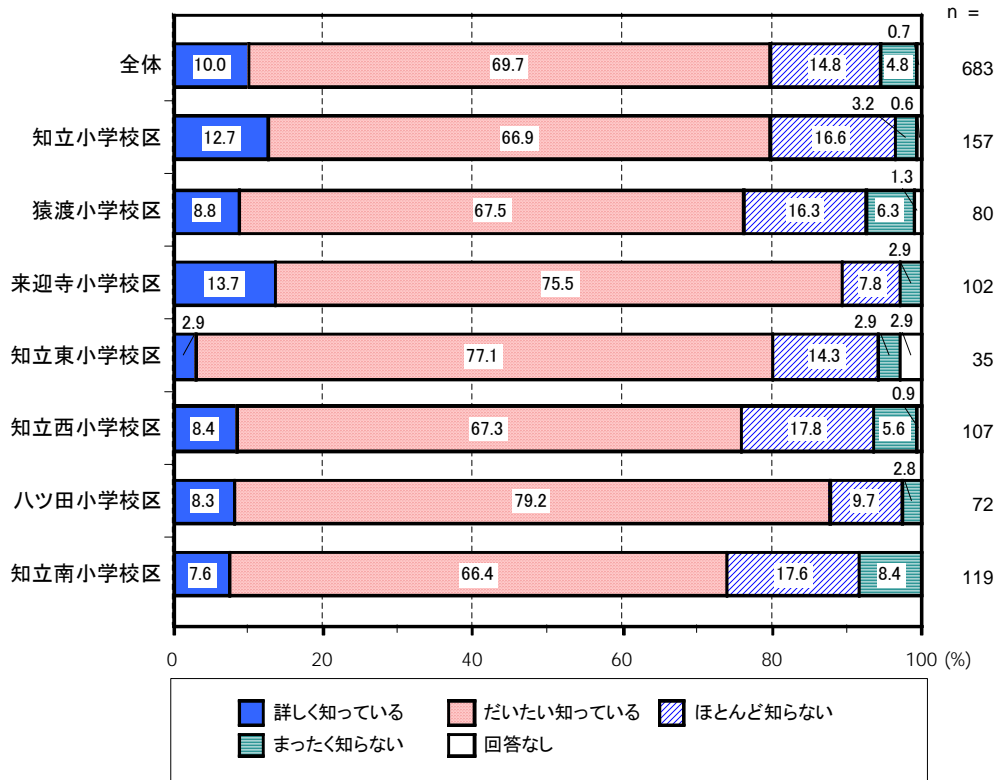
年齢別では20～39歳や80歳以上、居住年数では5年未満の認知度が低くなっている。

- 災害時の避難路・避難場所について、「詳しく知っている」(10.0%)と「だいたい知っている」(69.7%)を合わせた“知っている”が計79.7%を占めます(図表4-1-1)。
- 年齢別にみると、20～39歳(計63.6%)及び80歳以上(計71.1%)で全体と比べて認知度が低くなっています。一方、「詳しく知っている」が70～79歳(17.8%)や60～69歳(15.7%)でやや多くなっています。
- 小学校区別にみると、「詳しく知っている」と「だいたい知っている」の合計は来迎寺小学校区(計89.2%)と約10ポイント多いほか、八ツ田小学校区(計87.5%)でもやや多くなっています。一方、知立東小学校区では「詳しく知っている」(2.9%)が全体よりやや少なくなっています(図表4-1-2)。
- 居住年数別にみると、5年未満では「詳しく知っている」と「だいたい知っている」の合計60.9%と全体より約20ポイント少なく、「まったく知らない」(18.8%)が10ポイント以上多くなっています(図表4-1-3)。

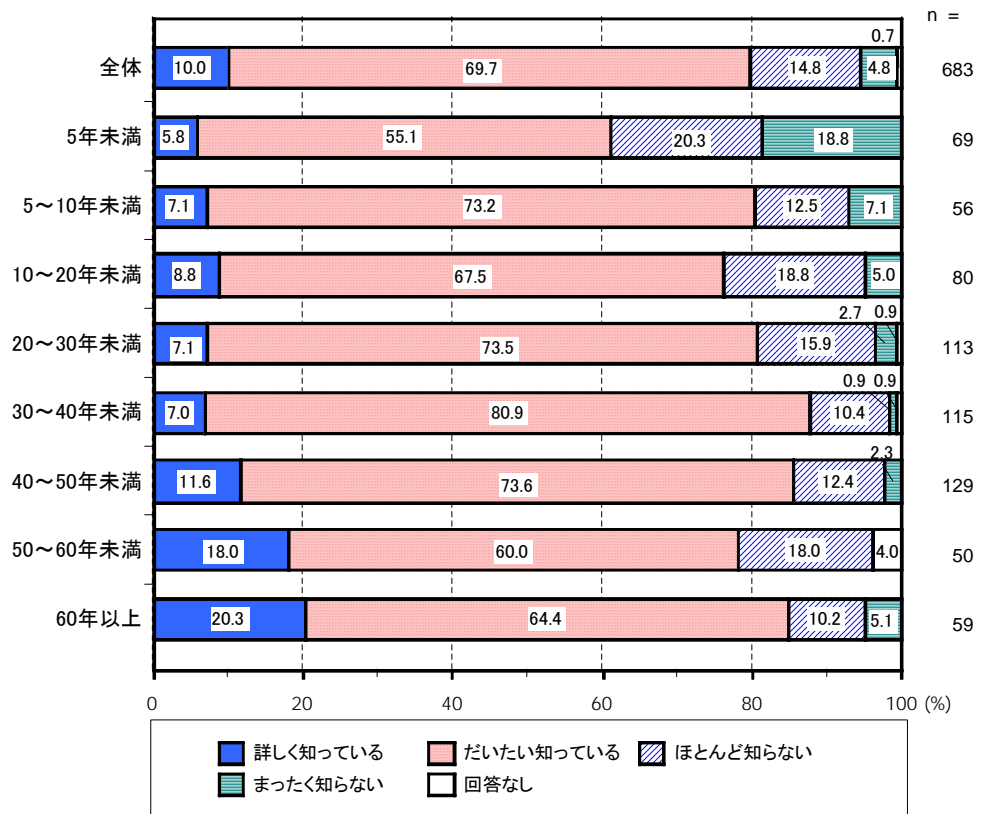
図表 4-1-1 災害時の避難路・避難場所の認知度(年齢別)



図表 4-1-2 災害時の避難路・避難場所の認知度(小学校区別)



図表 4-1-3 災害時の避難路・避難場所の認知度(居住年数別)



## (2) 家具・家電の固定の実施状況

問8 あなたの家では、大地震が起こった場合に備えて「家具や家電」を固定して、転倒・落下・移動を防止していますか。

地震等の災害に備えて、家具や家電の固定実施状況については、過半数が何らかの取組みを行っている。

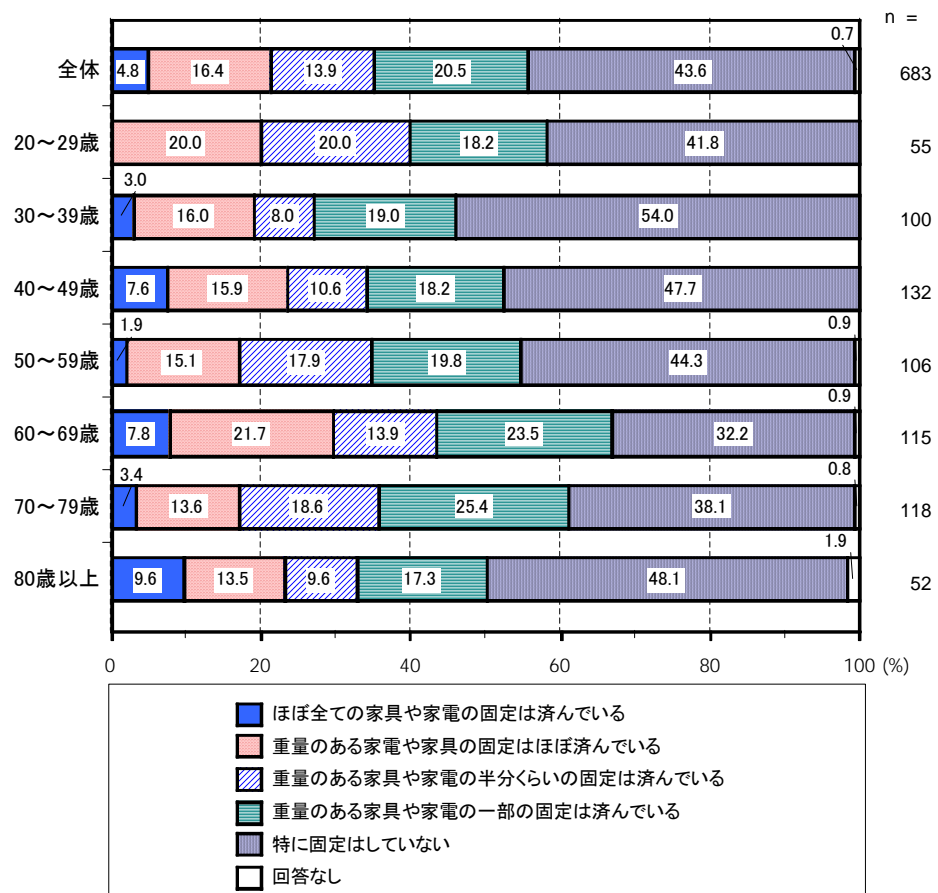
年齢別では60～69歳、70～79歳が、小学校区別では来迎寺小学校区、八ツ田小学校区がそれぞれ積極的に取り組んでいる。

○大地震が起こった場合に備えて、家具や家電の固定をして、転倒・落下・移動の防止に取り組んでいるかの状況をたずねたところ、「ほぼ全ての家具や家電の固定は済んでいる」(4.8%)、「重量のある家電や家具(タンスや大型テレビなど)の固定はほぼ済んでいる」(16.4%)、「重量のある家具や家電の半分くらいの固定は済んでいる」(13.9%)、「重量のある家具や家電の一部の固定は済んでいる」(20.5%)の回答を合わせると計55.6%を占めています(図表4-2-1)。

○年齢別にみると、60～69歳(計66.9%)、70～79歳(計61.0%)で、何らかの対策をしている回答者がやや多い一方、30～39歳では「特に固定はしていない」(54.0%)と多くなっています。

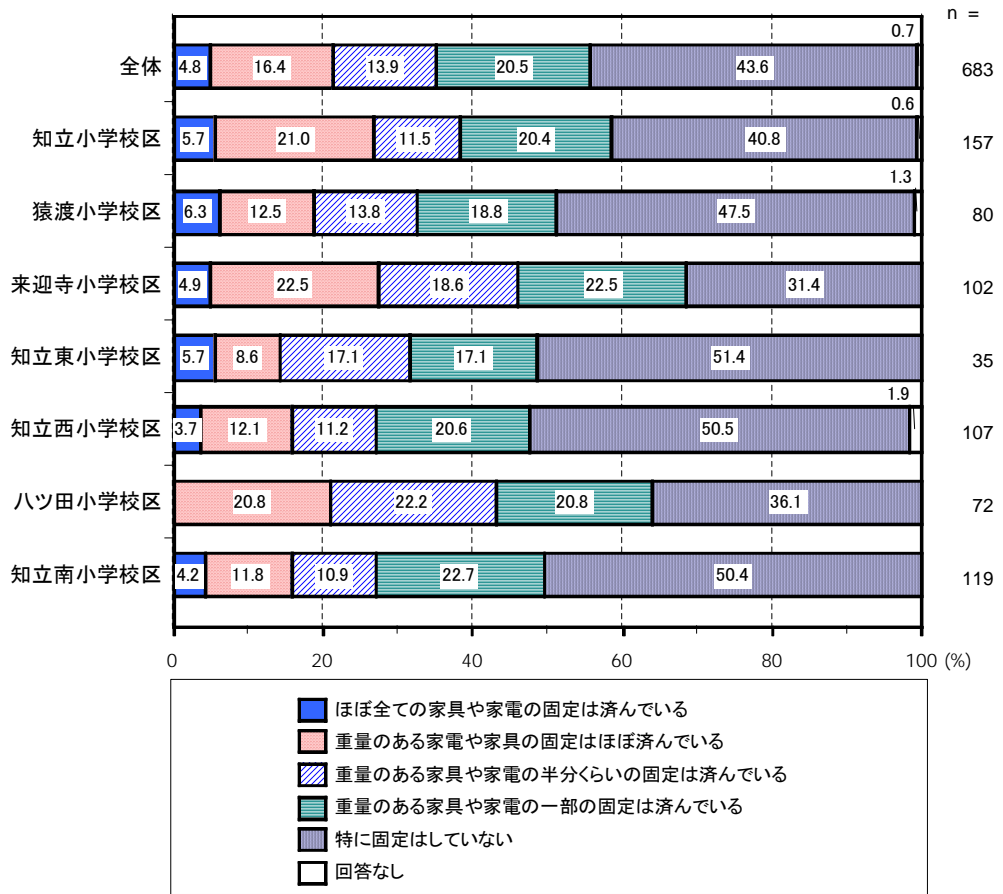
○小学校区別でみると、来迎寺小学校区(計68.5%)や八ツ田小学校区(計63.8%)で全体より10ポイント前後多く、知立西小学校区(計47.6%)や知立東小学校区(計48.5%)でやや少なくなっています(図表4-2-2)。

図表 4-2-1 家具・家電の固定の有無(年齢別)





図表 4-2-2 家具・家電の固定の有無(小学校区別)



### (3) 食べ物・飲み水等の備蓄状況

問9 あなたは、災害に備えて家族（世帯）分の食べ物や飲み水を備蓄していますか。

災害に備えた食べ物・飲み水については、全体の約7割が何らかの備蓄をしている。

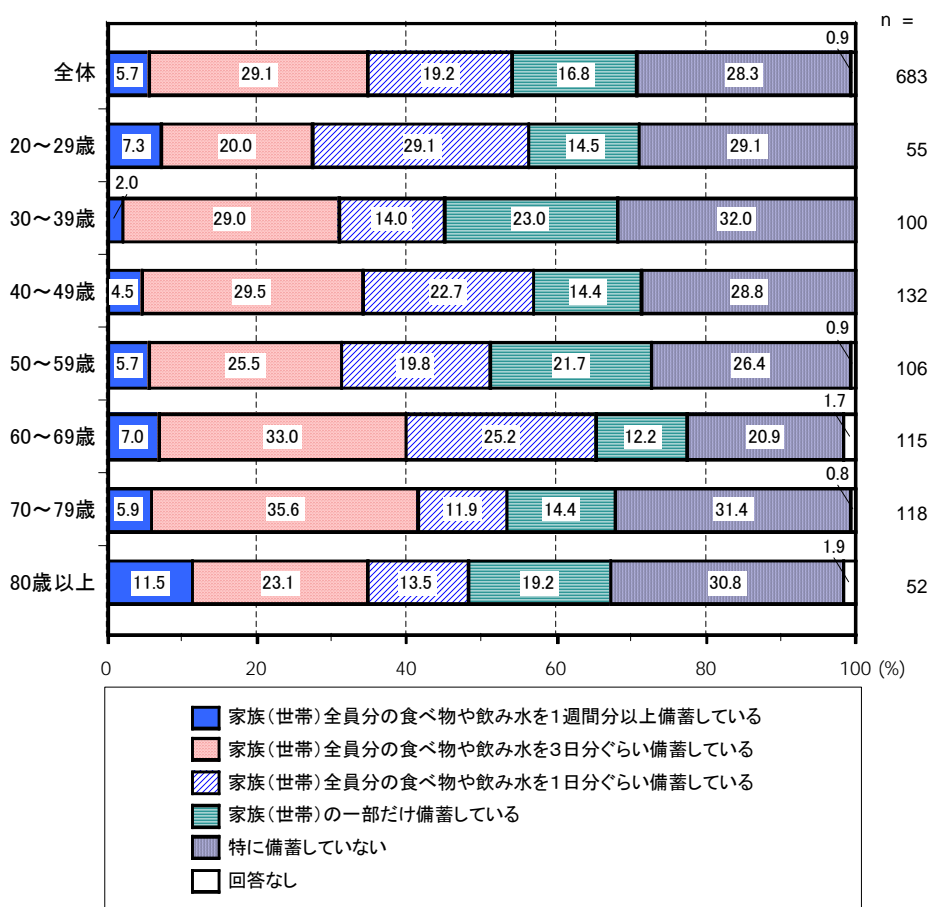
年齢別では60～69歳で、小学校区別では来迎寺小学校区で、それぞれ備蓄に対する取組み意識が高い。

○災害に備えた家族の食べ物や飲み水について、「家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を1週間分以上備蓄している」（5.7%）、「家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を3日分ぐらい備蓄している」（29.1%）、「家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を1日分ぐらい備蓄している」（19.2%）、「家族（世帯）の一部だけ備蓄している」（16.8%）を合わせると、何らかの備蓄をしている回答者は計70.8%に上ります（図表4-3-1）。

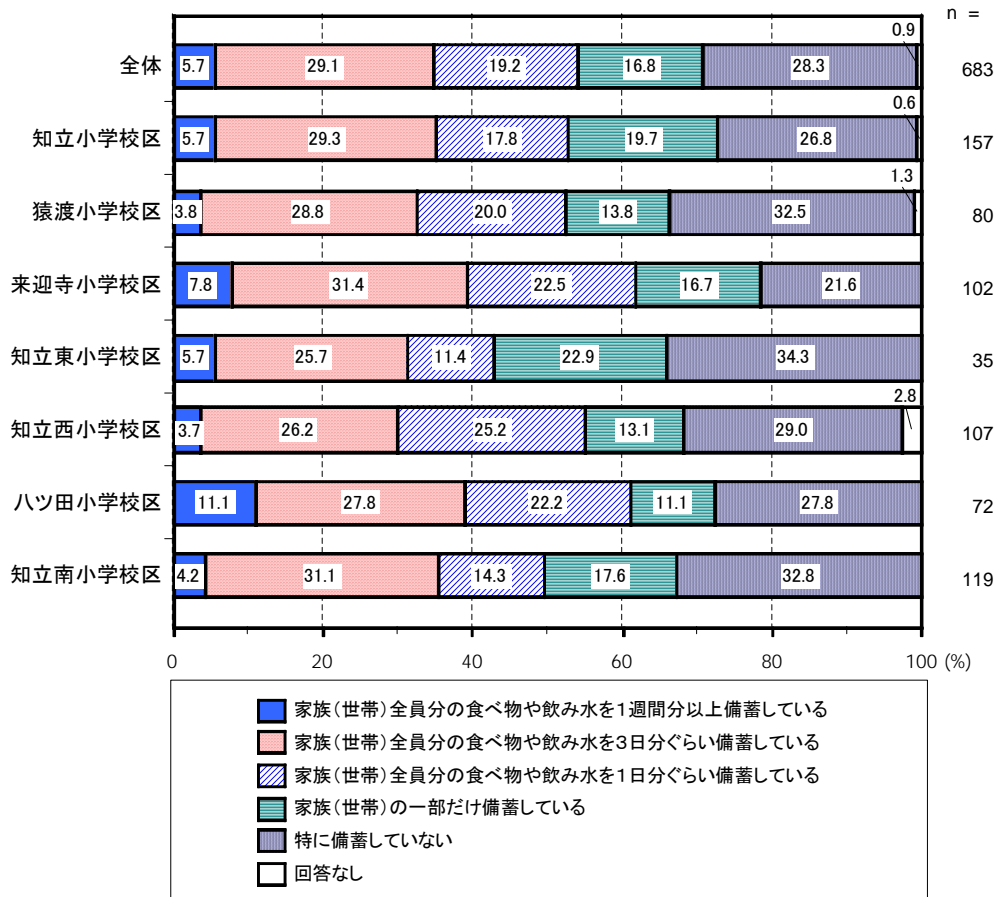
○年齢別にみると、何らかの備蓄をしているのは、60～69歳（計77.4%）で全体と比べてやや多くなっています。

○小学校区別にみると、全体と比べて来迎寺小学校区（計78.4%）でやや多くなっているほか、八ツ田小学校区では「家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を1週間分以上備蓄している」（11.1%）がやや多くなっています（図表4-3-2）。

図表 4-3-1 食料・飲み水等の備蓄の有無（年齢別）



図表 4-3-2 食料・飲み水等の備蓄の有無(小学校区別)



#### (4) 知立市の防災に対する取組みの認知度

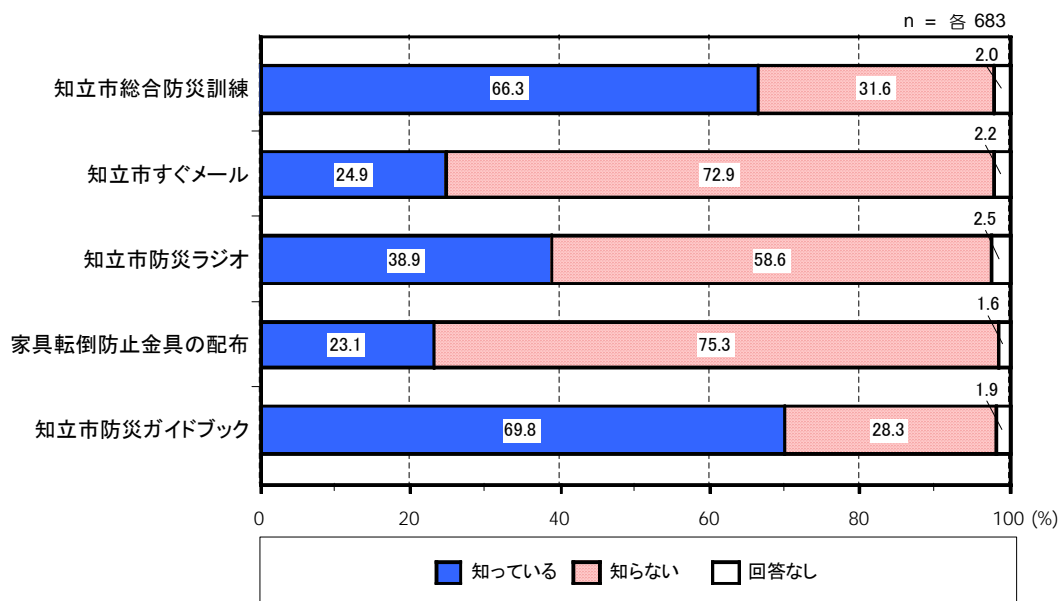
問10 知立市では、次のような防災に対する取組みをしています。それぞれ知っていますか。

- (1) 知立市総合防災訓練
- (2) 知立市すぐメール
- (3) 知立市防災ラジオ
- (4) 家具転倒防止金具の配布
- (5) 知立市防災ガイドブック

知立市の防災関連の取組みについて、知立市防災ガイドブックや知立市総合防災訓練の認知度は7割近くに上る半面、家具転倒防止金具の配布や知立市すぐメールの認知度は2割強にとどまっている。

○知立市で取組んでいる各種の防災関連事業について、「知っている」と認知されている取組みは知立市防災ガイドブック（69.8%）が最も多く、次いで、知立市総合防災訓練（66.3%）、知立市防災ラジオ（38.9%）、知立市すぐメール（24.9%）、家具転倒防止金具の配布（23.1%）の順になっています（図表4-4-1）。

図表 4-4-1 知立市の防災に対する取組みの認知度

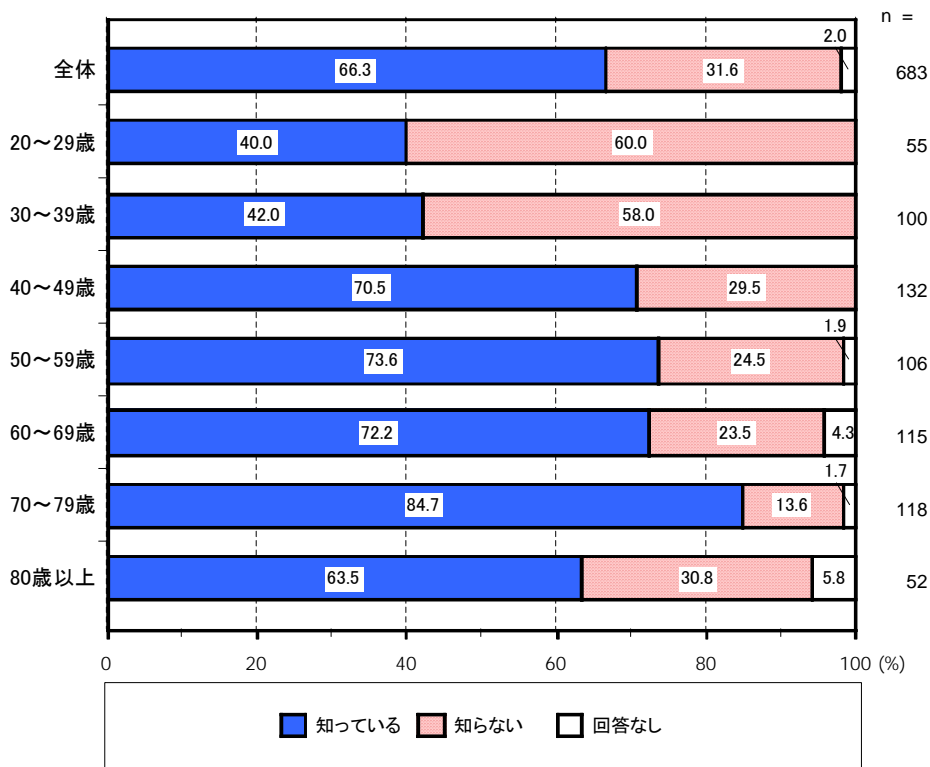


## (1) 知立市総合防災訓練

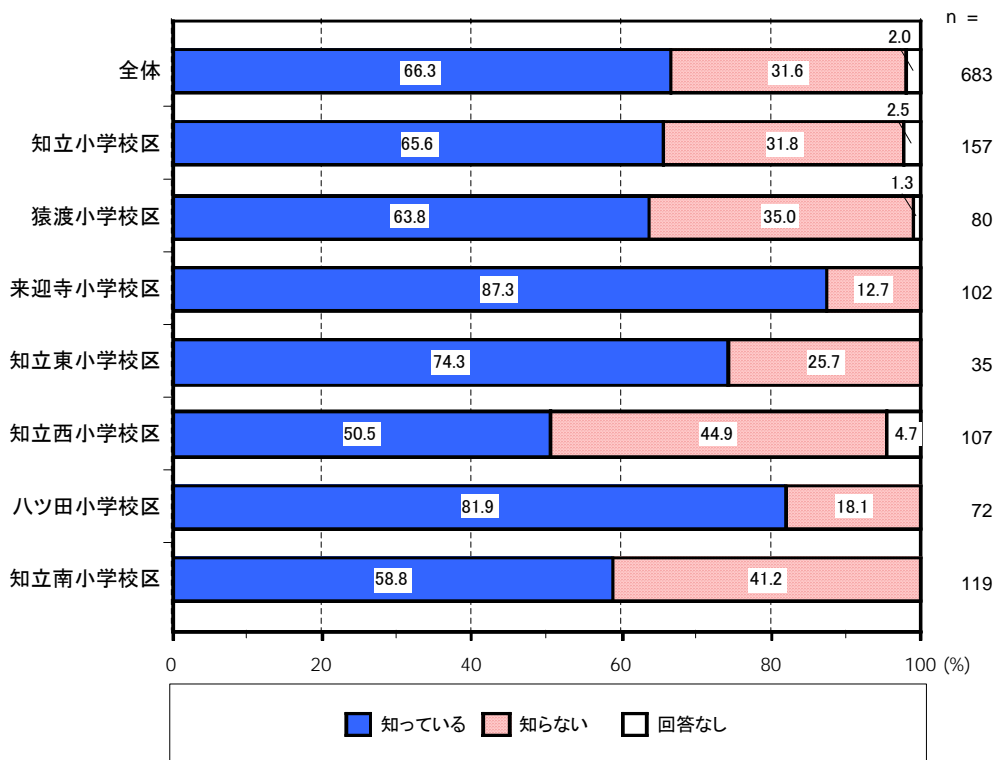
○年齢別にみると、70～79歳（84.7%）が全体と比べて20ポイント近く多く、50～59歳（73.6%）や60～69歳（72.2%）でもやや多くなっています（図表4-4-2）。

○小学校区別でみると、来迎寺小学校区（87.3%）や八ツ田小学校区（81.9%）で10ポイント以上多く、知立東小学校区（74.3%）でやや多くなっています（図表4-4-3）。

図表 4-4-2 防災に対する取組みの認知度「知立市総合防災訓練」（年齢別）



図表 4-4-3 防災に対する取組みの認知度「知立市総合防災訓練」（小学校区別）

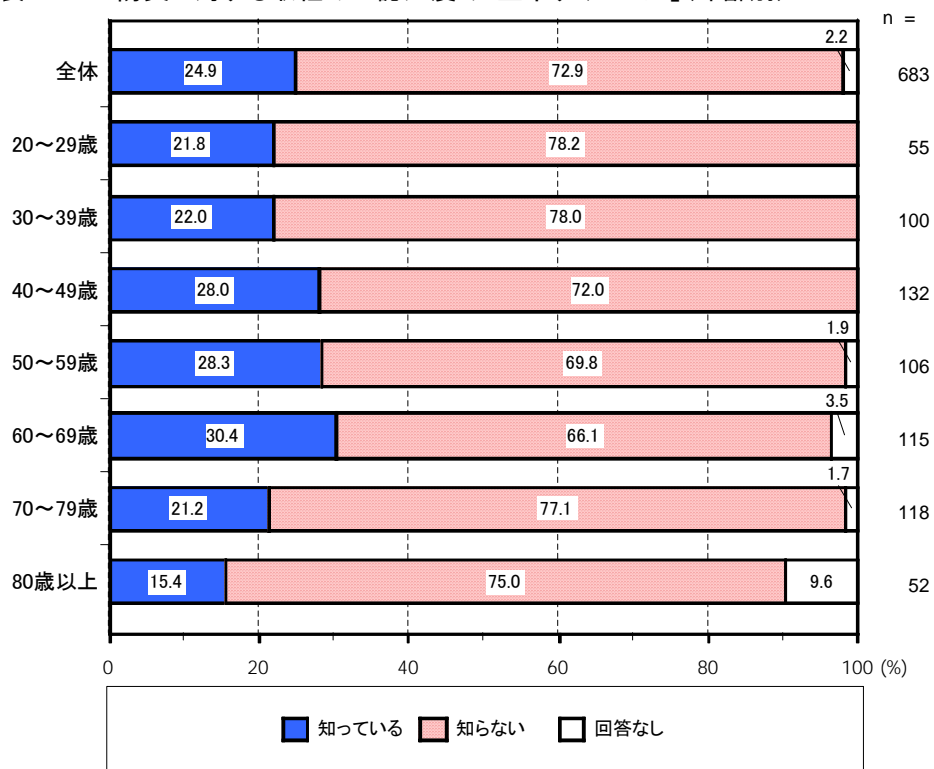


## (2) 知立市すぐメール

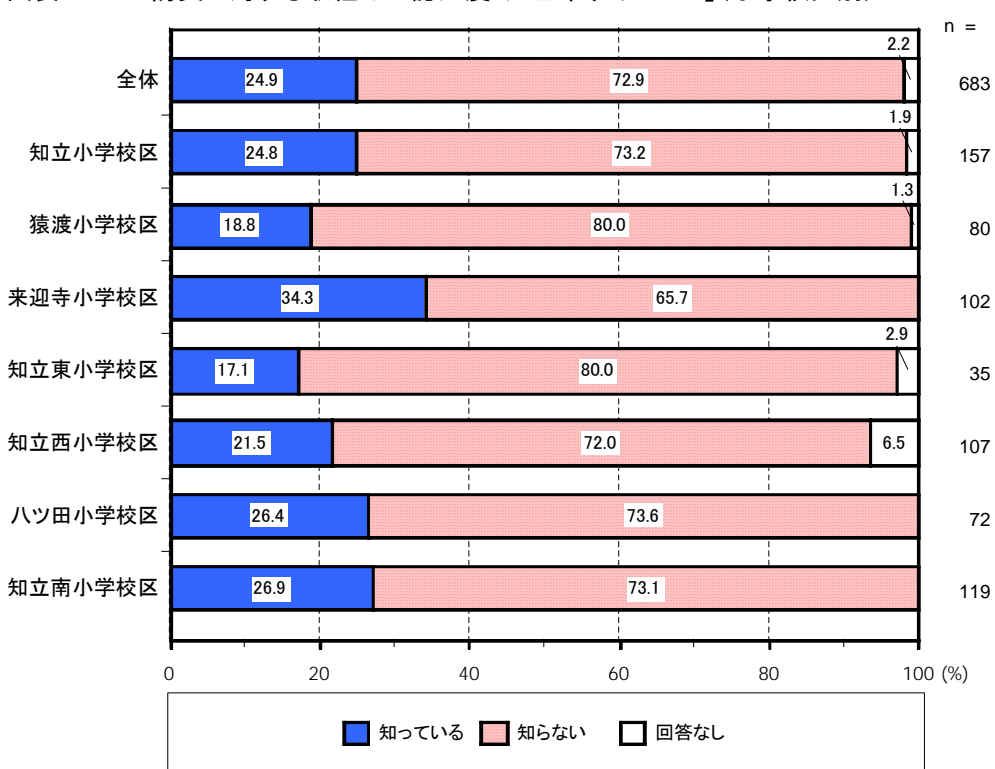
○年齢別にみると、60～69歳（30.4%）で全体よりやや多くなっています（図表4-4-4）。

○小学校区別でみると、来迎寺小学校区（34.3%）で多い一方、知立東小学校区（17.1%）や猿渡小学校区（18.8%）でやや少なくなっています（図表4-4-5）。

図表 4-4-4 防災に対する取組みの認知度「知立市すぐメール」(年齢別)



図表 4-4-5 防災に対する取組みの認知度「知立市すぐメール」(小学校区別)

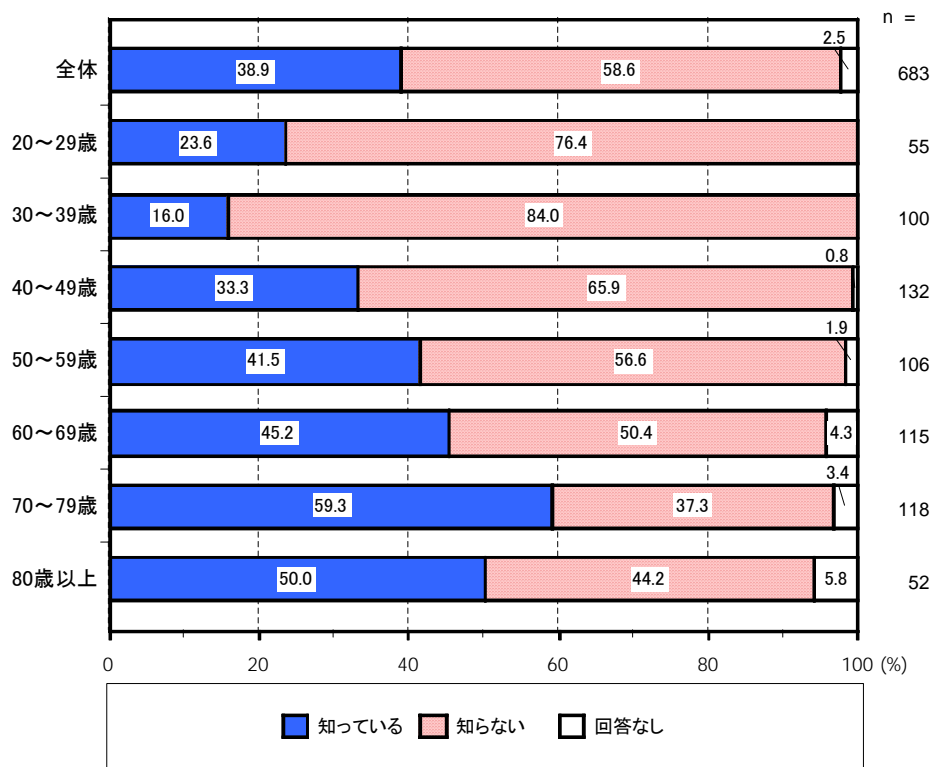


### (3) 知立市防災ラジオ

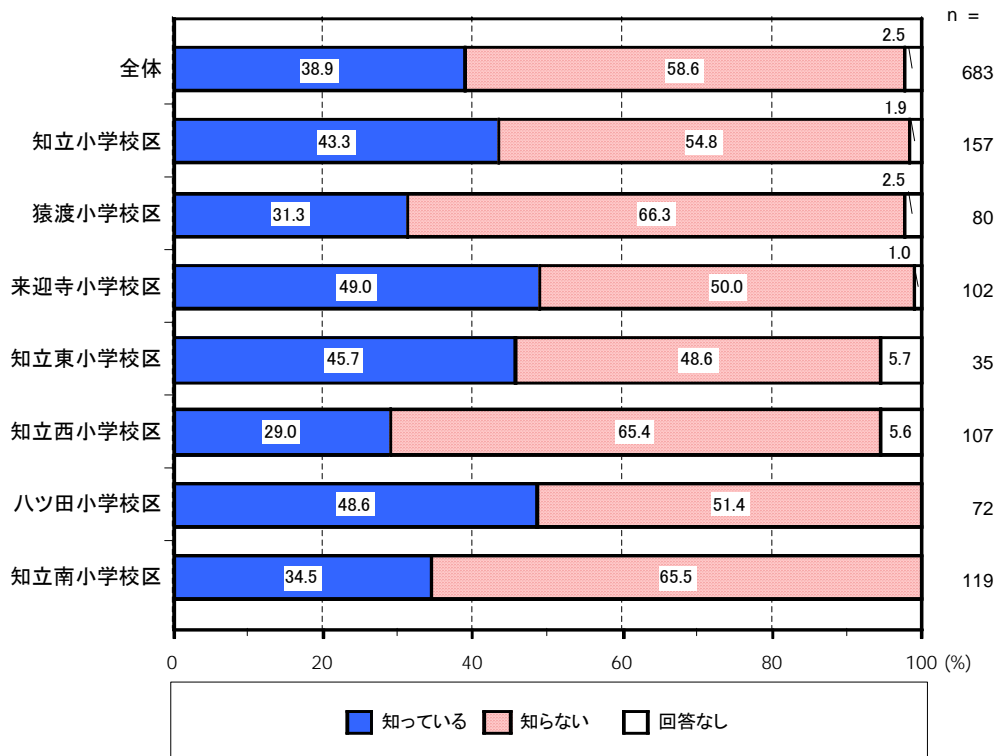
○年齢別にみると、70～79歳（59.3%）や80歳以上（50.0%）で多くなっている半面、30～39歳（16.0%）や20～29歳（23.6%）では少なくなっています（図表4-4-6）。

○小学校区別でみると、来迎寺小学校区（49.0%）、八ツ田小学校区（48.6%）、知立東小学校区（45.7%）で多くなっています（図表4-4-7）。

図表 4-4-6 防災に対する取組みの認知度「知立市防災ラジオ」(年齢別)



図表 4-4-7 防災に対する取組みの認知度「知立市防災ラジオ」(小学校区別)

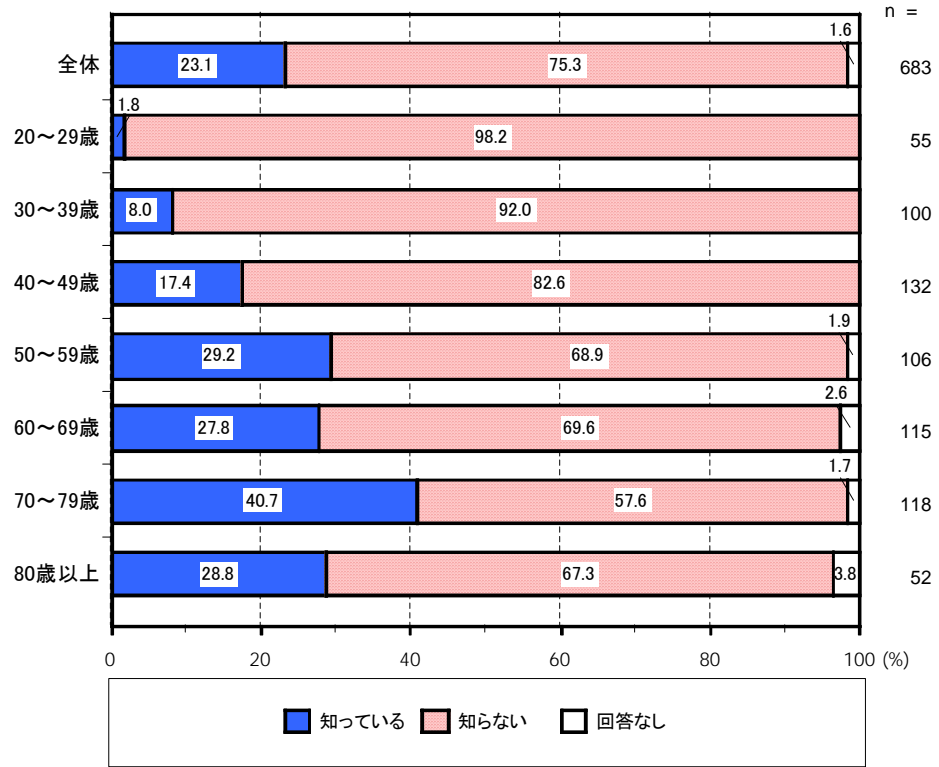


#### (4) 家具転倒防止金具の配布

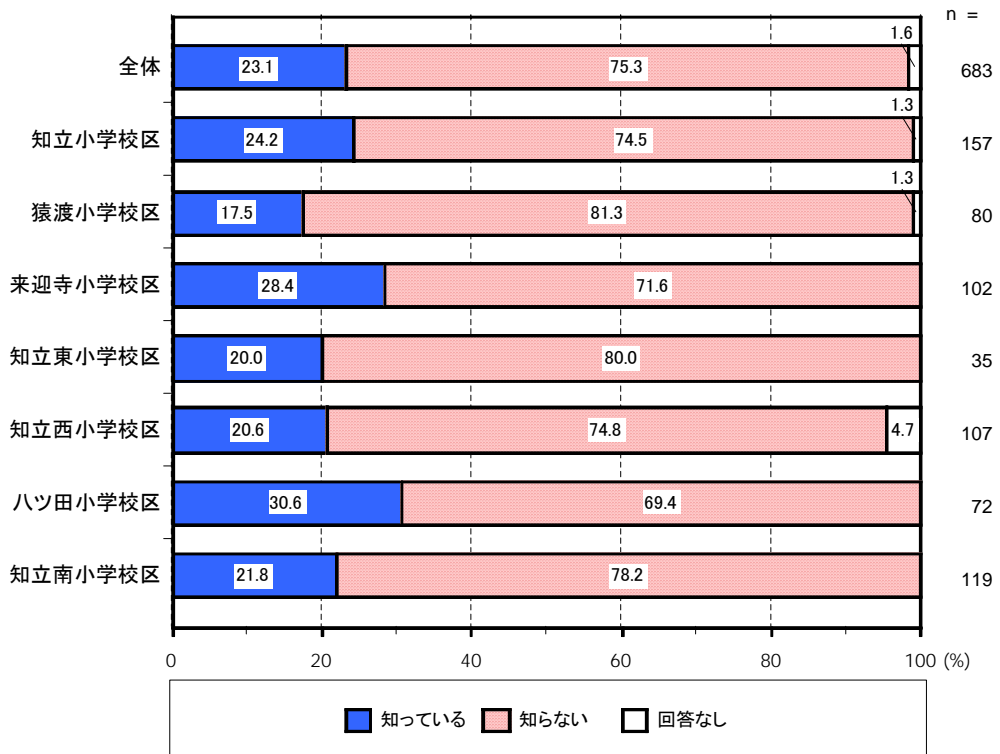
○年齢別にみると、70～79歳（40.7%）で多くなっている半面、20～29歳（1.8%）や30～39歳（8.0%）ではかなり少なくなっています（図表4-4-8）。

○小学校区別でみると、八ツ田小学校区（30.6%）、来迎寺小学校区（28.4%）で全体よりやや多くなっている一方、猿渡小学校区（17.5%）ではやや少なくなっています（図表4-4-9）。

図表 4-4-8 防災に対する取組みの認知度「家具転倒防止金具」(年齢別)



図表 4-4-9 防災に対する取組みの認知度「家具転倒防止金具」(小学校区別)



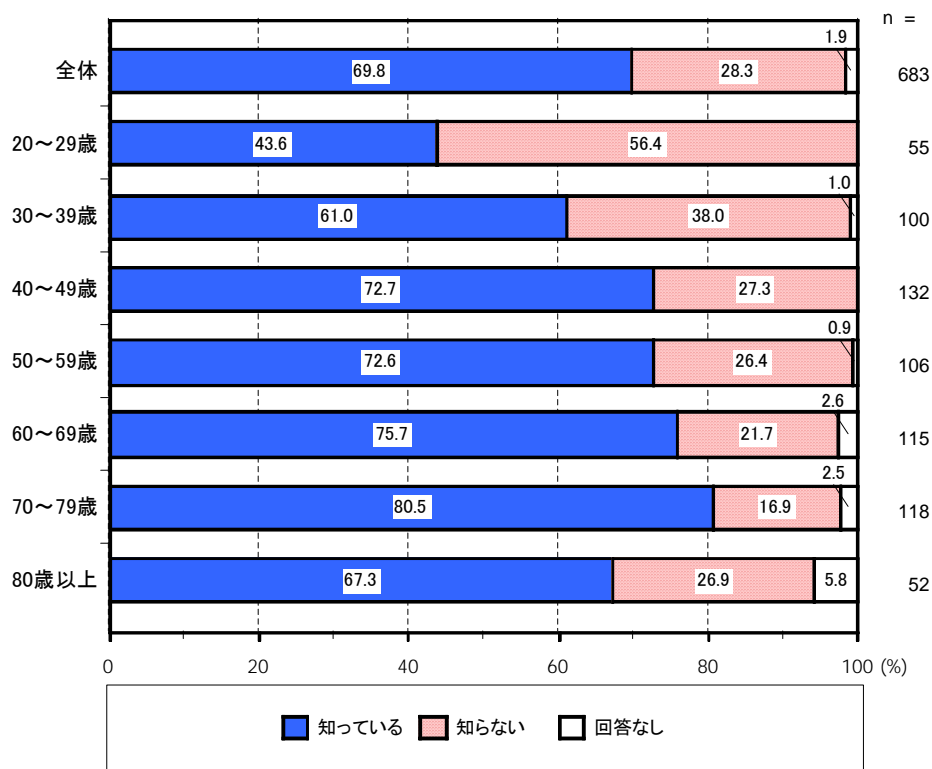


## (5) 知立市防災ガイドブック

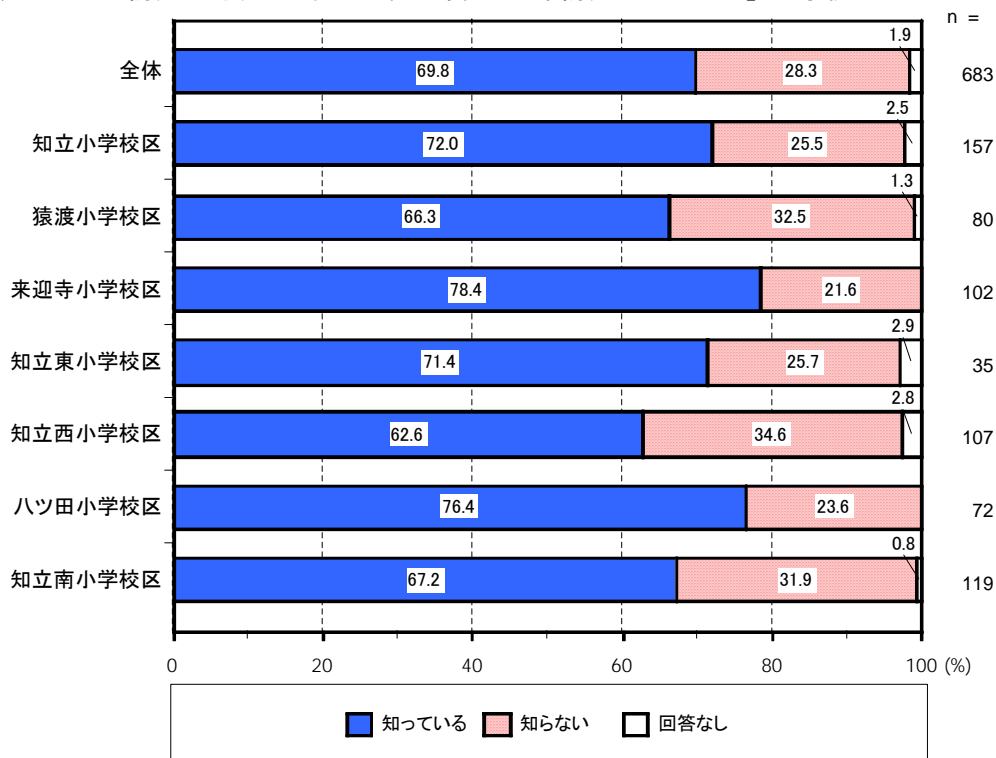
○年齢別にみると、70～79歳（80.5%）や60～69歳（75.7%）で全体より多くなっている半面、20～29歳（43.6%）や30～39歳（61.0%）では少なくなっています（図表4-4-10）。

○小学校区別でみると、来迎寺小学校区（78.4%）と八ツ田小学校区（76.4%）でやや多く、知立西小学校区（62.6%）ではやや少なくなっています（図表4-4-11）。

図表 4-4-10 防災に対する取組みの認知度「知立市防災ガイドブック」(年齢別)



図表 4-4-11 防災に対する取組みの認知度「知立市防災ガイドブック」(小学校区別)



(5) 「広報ちりゅう」の閲読度

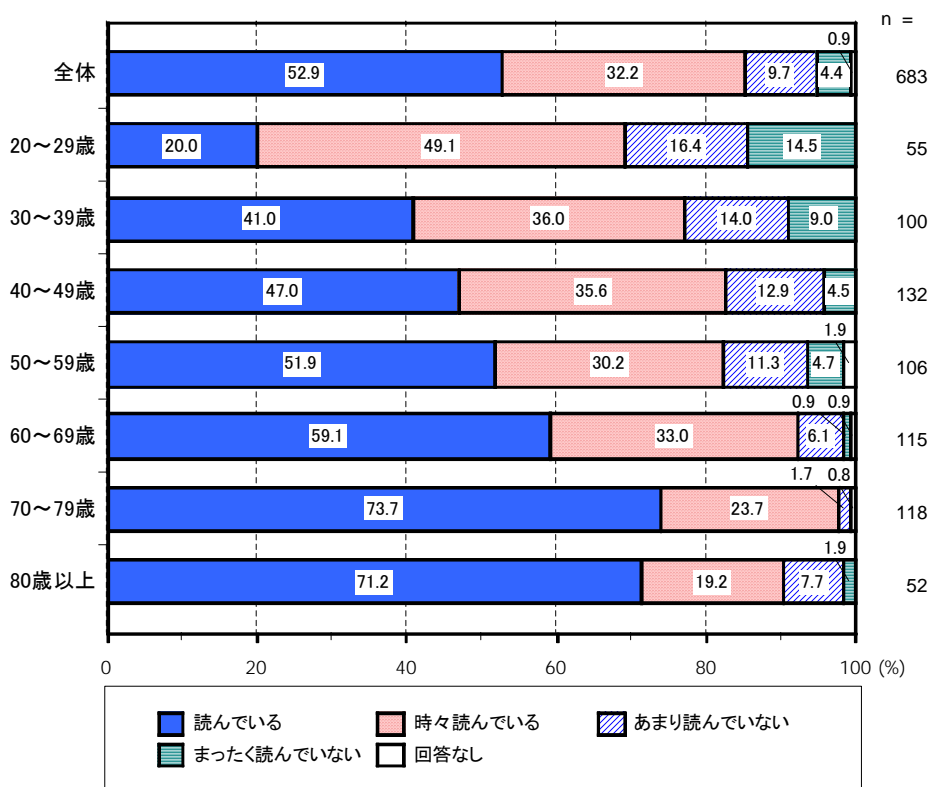
問11 あなたは「広報ちりゅう」を読んでいますか。

「読んでいる」と「時々読んでいる」を合わせると計 85.1%が、「広報ちりゅう」を読んでいる。

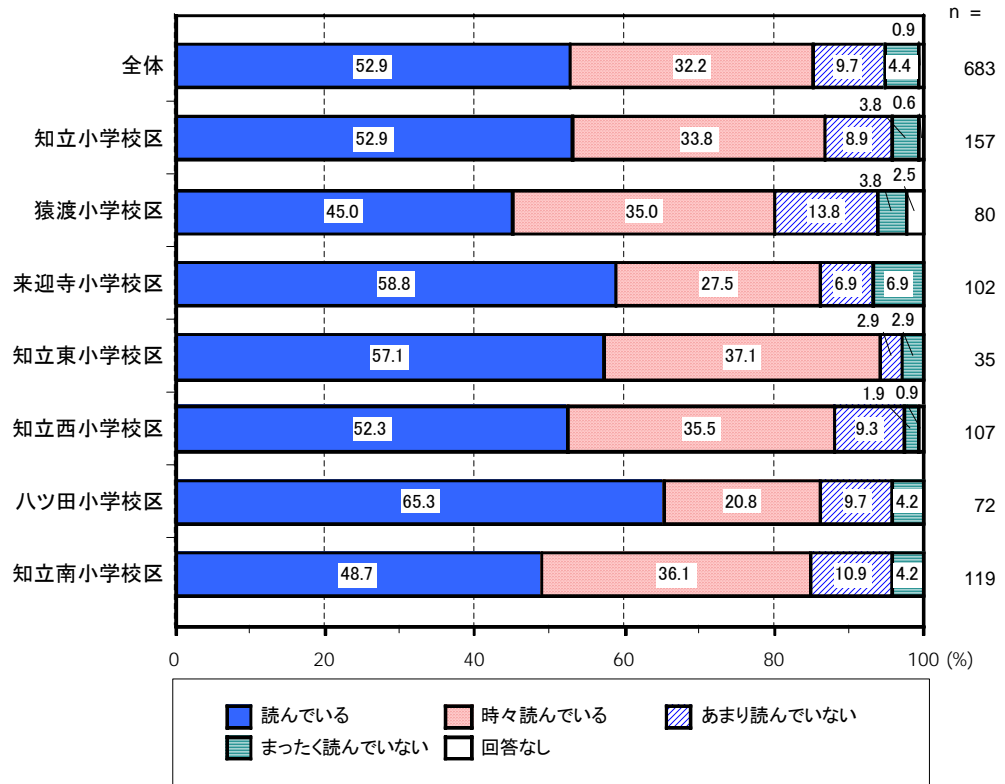
「読んでいる」の回答は、年齢別では概ね年齢が高くなるほど多く、小学校区別では八ツ田小学校区や来迎寺小学校区で多くなっている。

- 「広報ちりゅう」を読んでいるかをたずねたところ、「読んでいる」(52.9%)と「時々読んでいる」(32.2%)を合わせた“読んでいる”回答者は計 85.1%となっています(図表 4-5-1)。
- 年齢別にみると、「読んでいる」は70～79歳(73.7%)や80歳以上(71.2%)で全体より20ポイント前後多くなっているほか、60～69歳(59.1%)でもやや多くなっています。一方、20～29歳では「まったく読んでいない」(14.5%)や「あまり読んでいない」(16.4%)が全体よりかなり多くなっています。
- 小学校区別にみると、「読んでいる」が八ツ田小学校区(65.3%)や来迎寺小学校区(58.8%)で全体より10ポイント前後多くなっている半面、猿渡小学校区(45.0%)ではやや少なくなっています(図表 4-5-2)。

図表 4-5-1 「広報ちりゅう」の閲読率(年齢別)



図表 4-5-2 「広報ちりゅう」の閲読率(小学校区別)



(6) 市内の交通安全環境に対する満足度

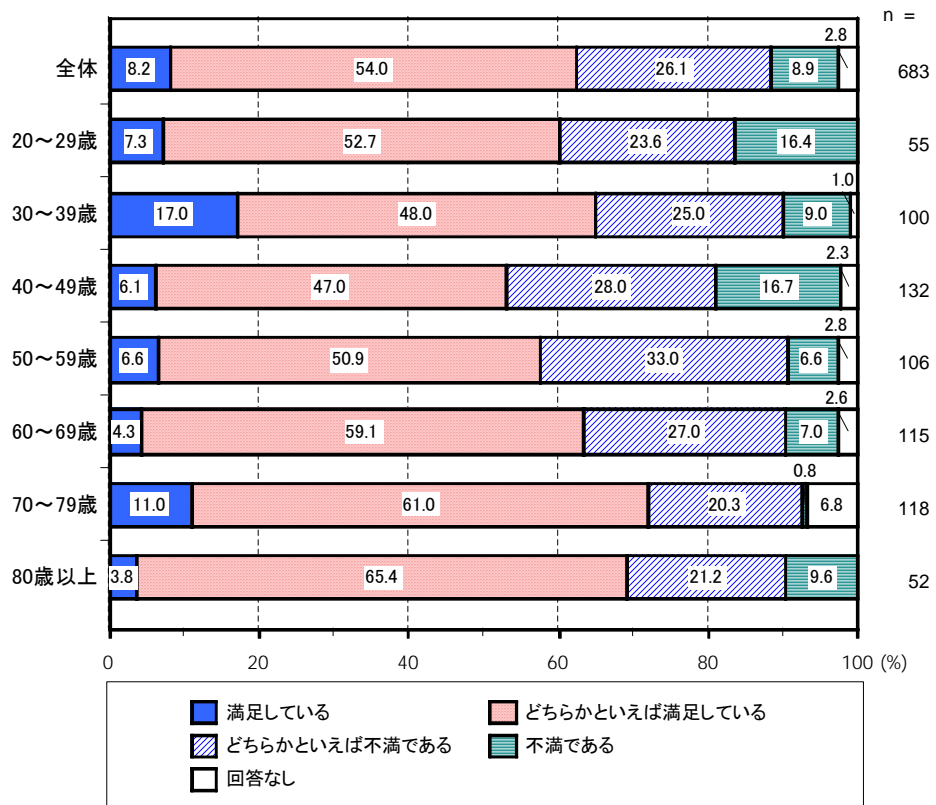
問12 あなたは、市内の信号の設置や交差点の改善など、交通事故からの安全確保について満足していますか。

市内の交通安全環境に関して“満足している”回答者は全体の6割強となっている。

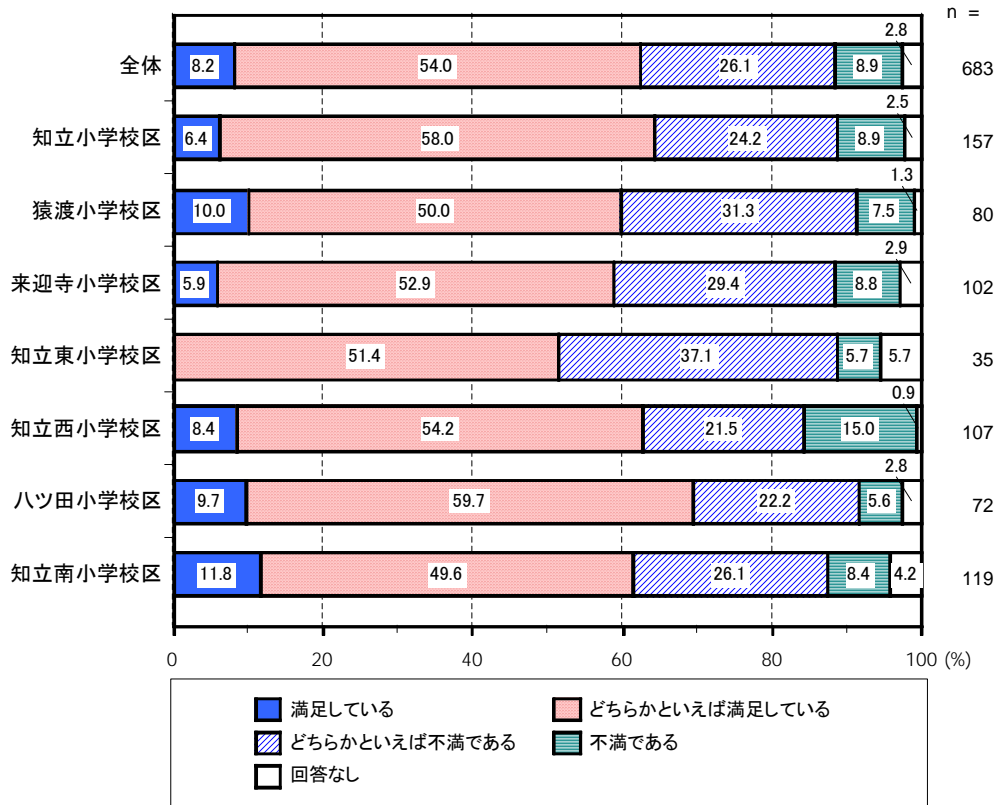
年齢別では、40～50歳代で、小学校区別では知立東小学校区で、それぞれ満足度が相対的に低い。

- 市内の交通安全環境に関して、「満足している」(8.2%)と「どちらかといえば満足している」(54.0%)を合わせた“満足している”が計62.2%となっています(図表4-6-1)。
- 年齢別にみると、70～79歳(計72.0%)や80歳以上(69.2%)で全体より約10ポイント多くなっている一方、40～49歳では「不満である」(16.7%)が、50～59歳では「どちらかといえば不満である」(33.0%)がそれぞれやや多くなっています。
- 居住小学校区別にみると、八ツ田小学校区(計69.4%)で“満足している”がやや多い半面、知立西小学校区では「不満である」(15.0%)が、知立東小学校区では「どちらかといえば不満である」(37.1%)がそれぞれ全体と比べて多くなっています(図表4-6-2)。
- 前回調査と比較すると、前は選択肢にあった「どちらともいえない」(前回調査:30.0%)がないため一概に比較できませんが、「どちらかといえば満足している」(30.3%⇒54.0%)が大きく増えていることから、概して満足度は向上していると推測できます(図4-6-3)。

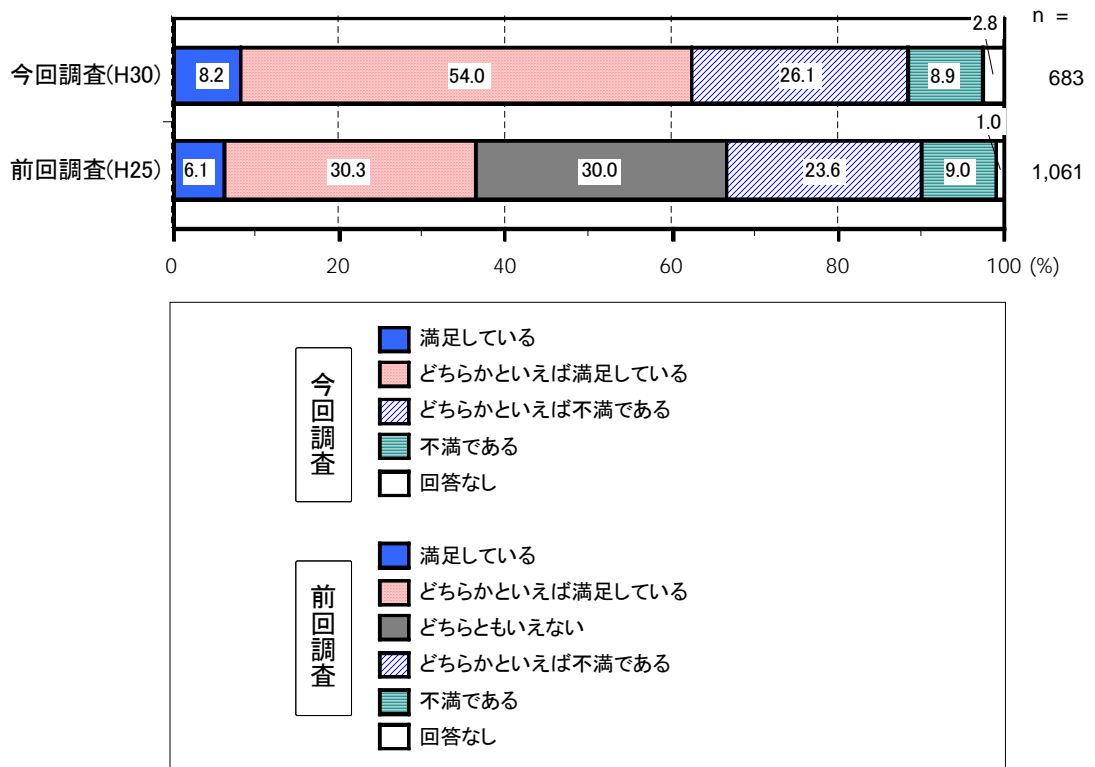
図表 4-6-1 市内の交通安全環境に関する満足度(年齢別)



図表 4-6-2 市内の交通安全環境に関する満足度(小学校区別)



図表 4-6-3 市内の交通安全環境に関する満足度(前回調査との比較)



(7) 環境に配慮した生活の状況

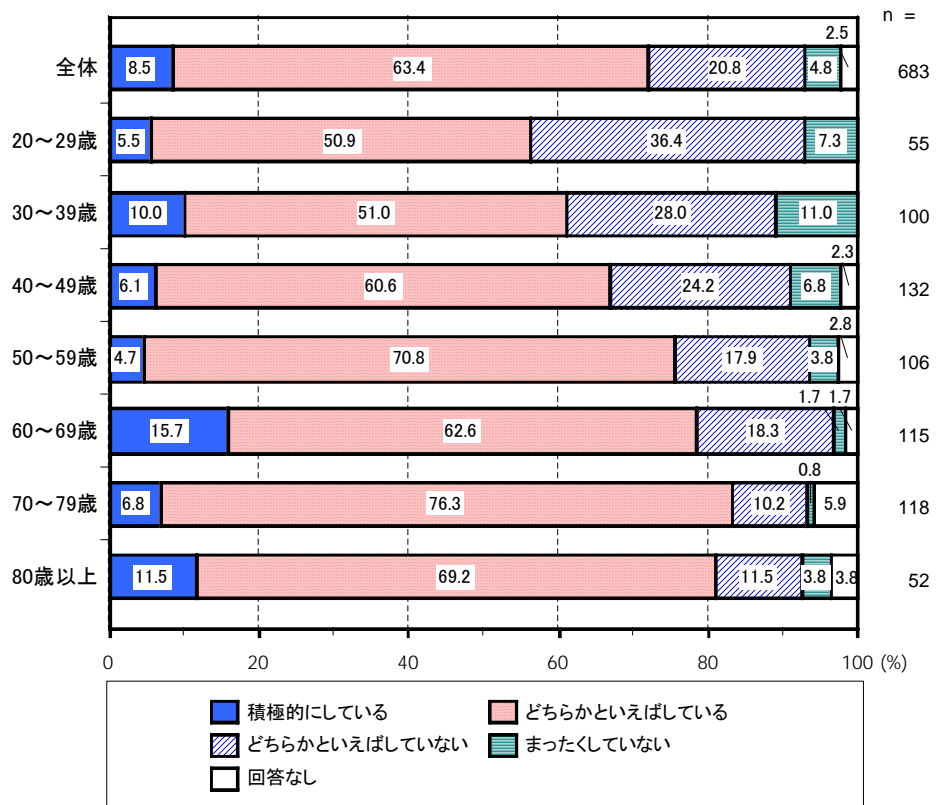
問13 あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をして  
いますか。

環境に配慮した生活の状況について、「積極的にしている」と「どちらかといえばしている」(を  
合わせると7割強を占める。

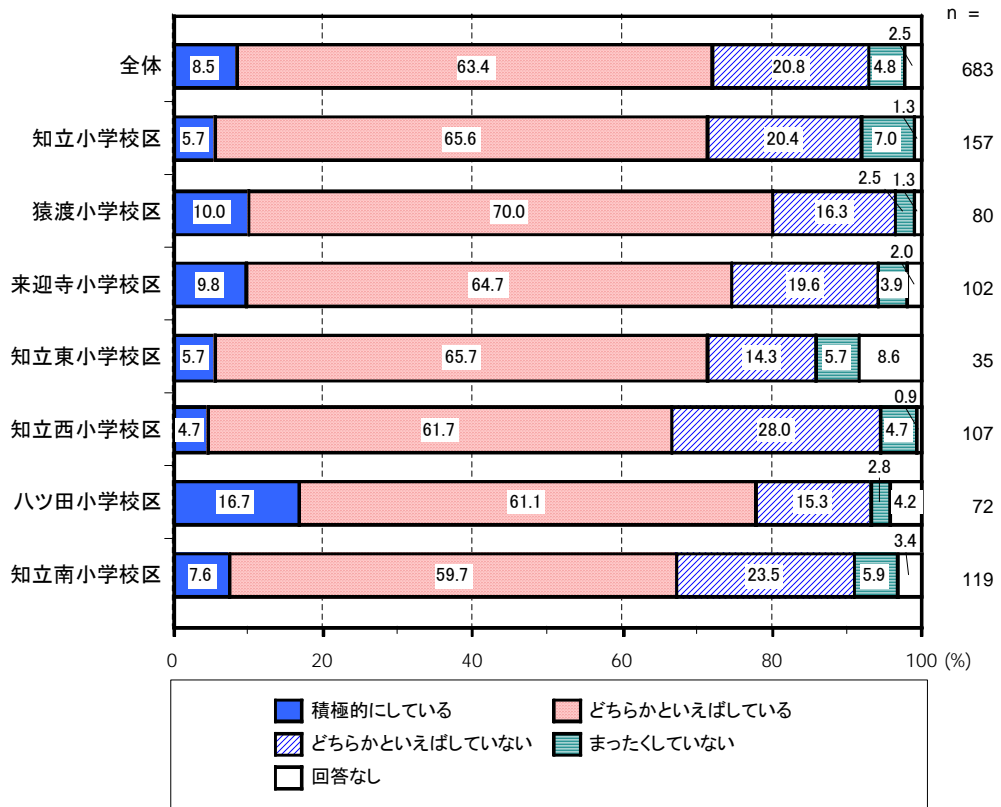
年齢別では、相対的に高年齢の方が環境に配慮した生活を意識しており、小学校区別では猿渡小  
小学校区や八ツ田小学校区で意識が高くなっている。

- 環境に配慮した生活について、「積極的にしている」(8.5%)と「どちらかといえばしている」  
(63.4%)を合わせた“している”が計71.9%となっています(図表4-7-1)。
- 年齢別にみると、「積極的にしている」は60~69歳(15.7%)で全体よりやや多くなっており、  
「どちらかといえばしている」は70~79歳(76.3%)で全体より10ポイント以上多くなってい  
ます。一方、「どちらかといえばしていない」は、20~29歳(36.4%)や30~39歳(28.0%)  
で全体より多く、30~39歳では「まったくしていない」(11.0%)もやや多くなっています。
- 小学校区別にみると、「積極的にしている」が八ツ田小学校区(16.7%)で、「どちらかといえ  
ばしている」が猿渡小学校区(70.0%)でそれぞれやや多くなっています。一方、「どちらかとい  
えばしていない」は知立西小学校区(28.0%)でやや多くなっています(図表4-7-2)。
- 前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「積極  
的にしている」(8.5%)と「どちらかといえばしている」(63.4%)を合わせた“している”(前回  
調査:75.0%)が計71.9%とわずかながら減っています(図4-7-3)。

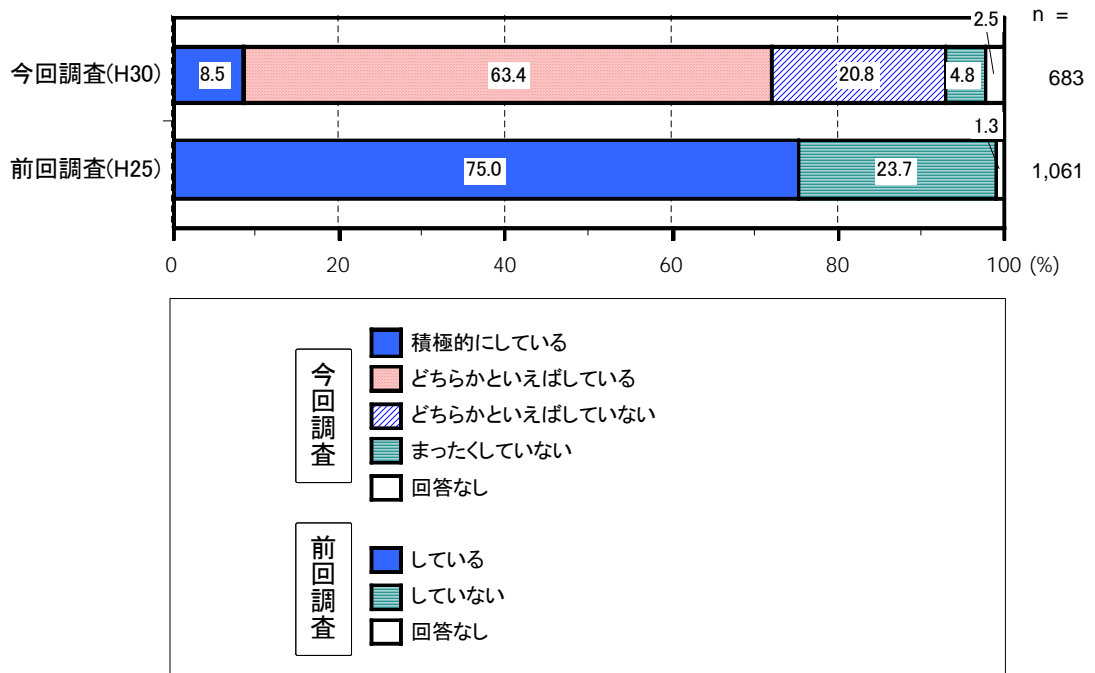
図表 4-7-1 環境に配慮した生活の状況(年齢別)



図表 4-7-2 環境に配慮した生活の状況(小学校区別)



図表 4-7-3 環境に配慮した生活の状況(前回調査との比較)



(8) 生涯学習活動の状況

問14 あなたは、日頃、生涯学習活動（外国語、歴史などを学ぶ取組み）をしていますか。

日頃の生涯学習活動について、「積極的にしている」と「どちらかといえばしている」を合わせると全体の約2割にとどまっている。

「まったくしていない」は、年齢別では40～50歳代で、小学校区別では知立東小学校区でそれぞれ多くなっている。

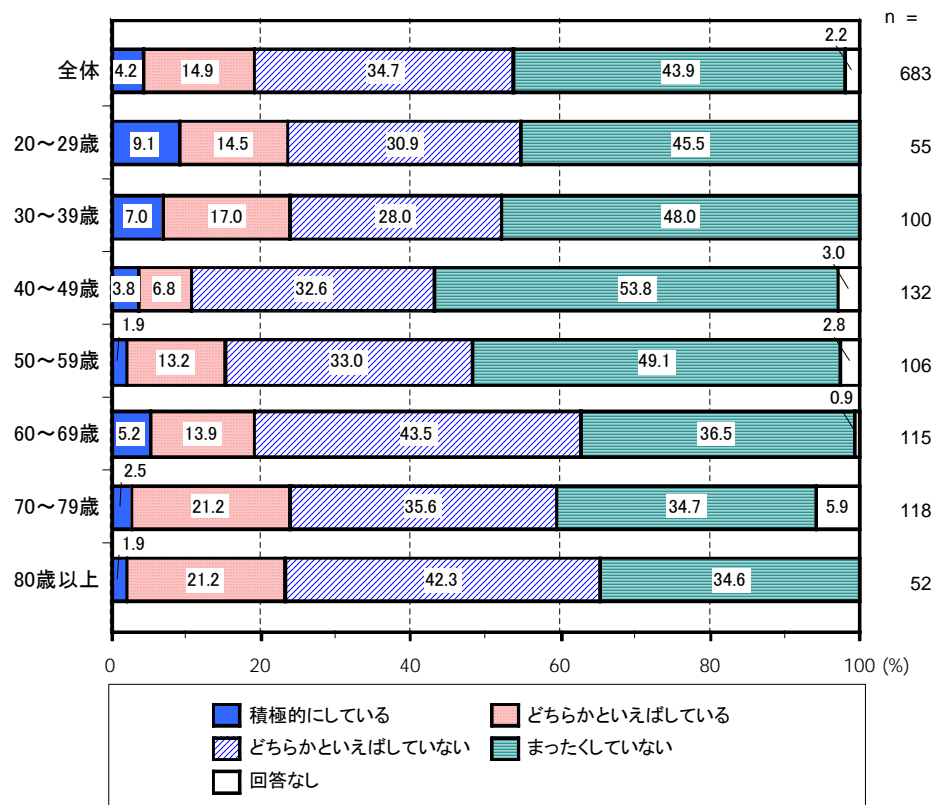
○日頃の生涯学習活動の状況について、「積極的にしている」は4.2%、「どちらかといえばしている」は14.9%となっており、合わせた“している”が計19.1%となっています。一方、「どちらかといえばしていない」(34.7%)、「まったくしていない」(43.9%)を合わせた“していない”は計78.6%に上ります(図表4-8-1)。

○年齢別にみると、「どちらかといえばしている」は70～79歳及び80歳以上(いずれも21.2%)で全体よりやや多く、一方で「まったくしていない」は40～49歳(53.8%)、50～59歳(49.1%)でやや多くなっています。

○小学校区別にみると、「まったくしていない」は知立東小学校区(51.4%)で、「ほとんどしていない」は来迎寺小学校区(42.2%)でそれぞれやや多くなっています(図表4-8-2)。

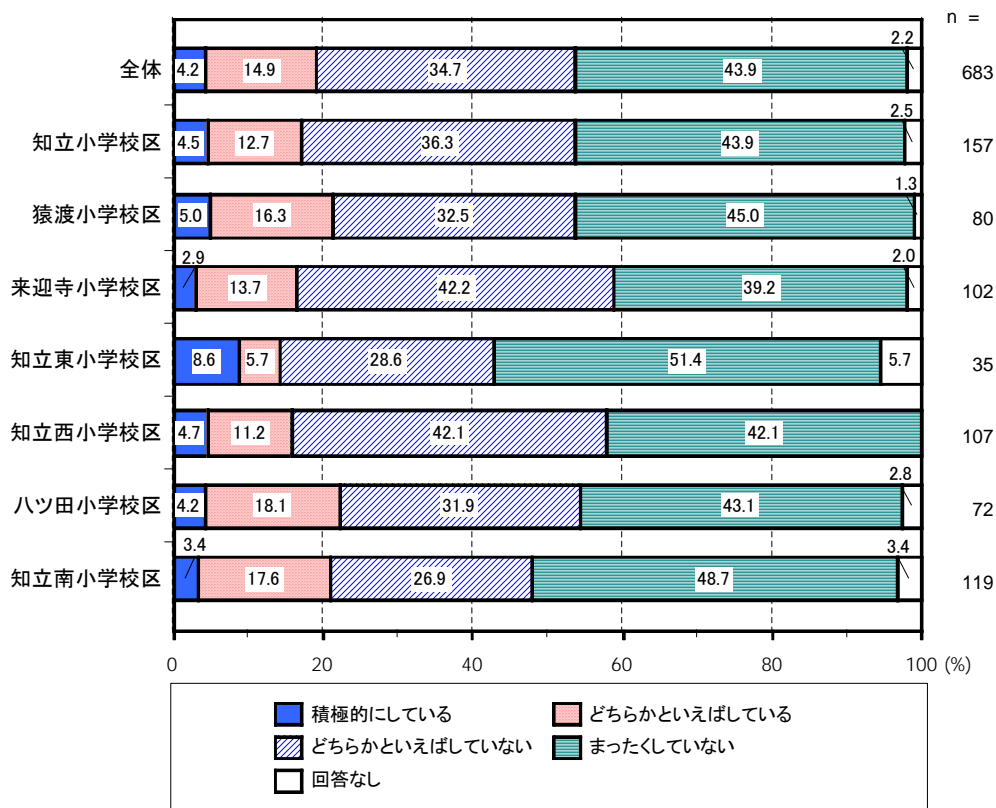
○前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「積極的にしている」(4.2%)と「どちらかといえばしている」(14.9%)を合わせた“している”(前回調査:16.6%)が計19.1%とわずかながら増えています(図4-8-3)。

図表 4-8-1 生涯学習活動の状況(年齢別)

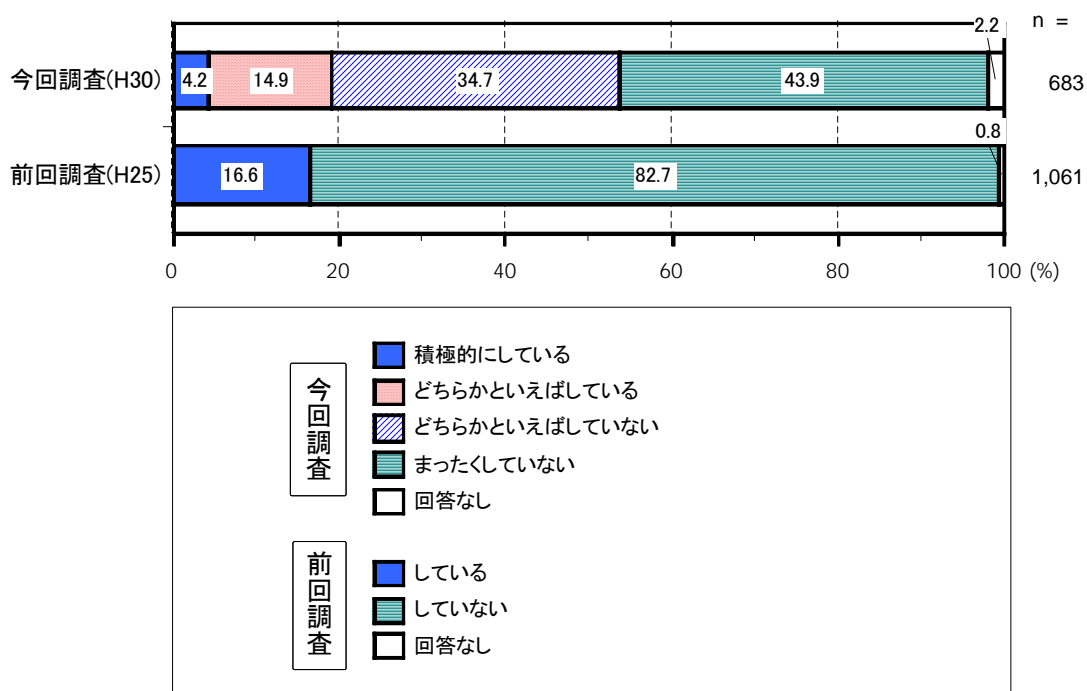




図表 4-8-2 生涯学習活動の状況(小学校区別)



図表 4-8-3 生涯学習活動の状況(前回調査との比較)



(9) 芸術・文化活動への参加状況

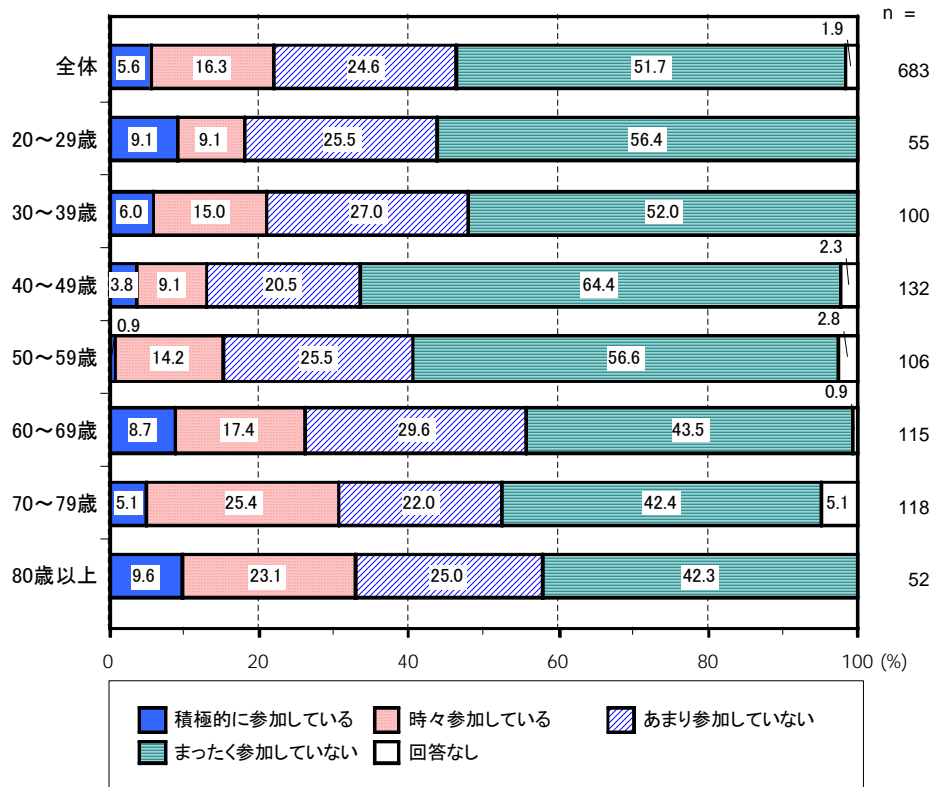
問15 あなたは、日頃、芸術・文化活動に参加していますか。

日頃の芸術・文化活動への参加状況は、「積極的に参加している」、「時々参加している」を合わせると2割強となっている。

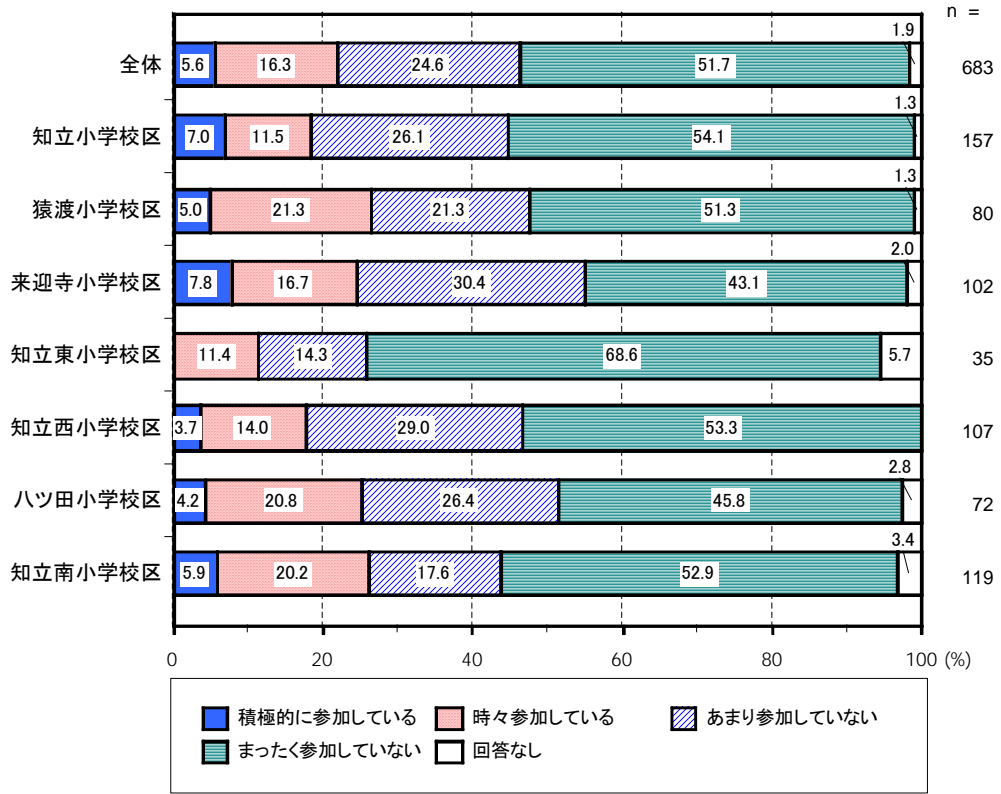
年齢別では70歳以上が多く、小学校区別では知立東小学校区がやや少なくなっている。

- 日頃の芸術・文化活動について、「積極的に参加している」が5.6%、「時々参加している」が16.3%となっており、合わせた“参加している”は計21.9%となっています(図表4-9-1)。
- 年齢別にみると、「時々参加している」が70~79歳(25.4%)や80歳以上(23.1%)でやや多い半面、20~29歳や40~49歳(ともに9.1%)でやや少なくなっています。
- 小学校区別でみると、「あまり参加していない」が来迎寺小学校区(30.4%)でやや多く、「まったく参加していない」が知立東小学校区(68.6%)で15ポイント以上多くなっています(図表4-9-2)。
- 前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「積極的に参加している」(5.6%)と「時々参加している」(16.3%)を合わせた“参加している”(前回調査:17.0%)が計21.9%とわずかながら増えています(図4-9-3)。

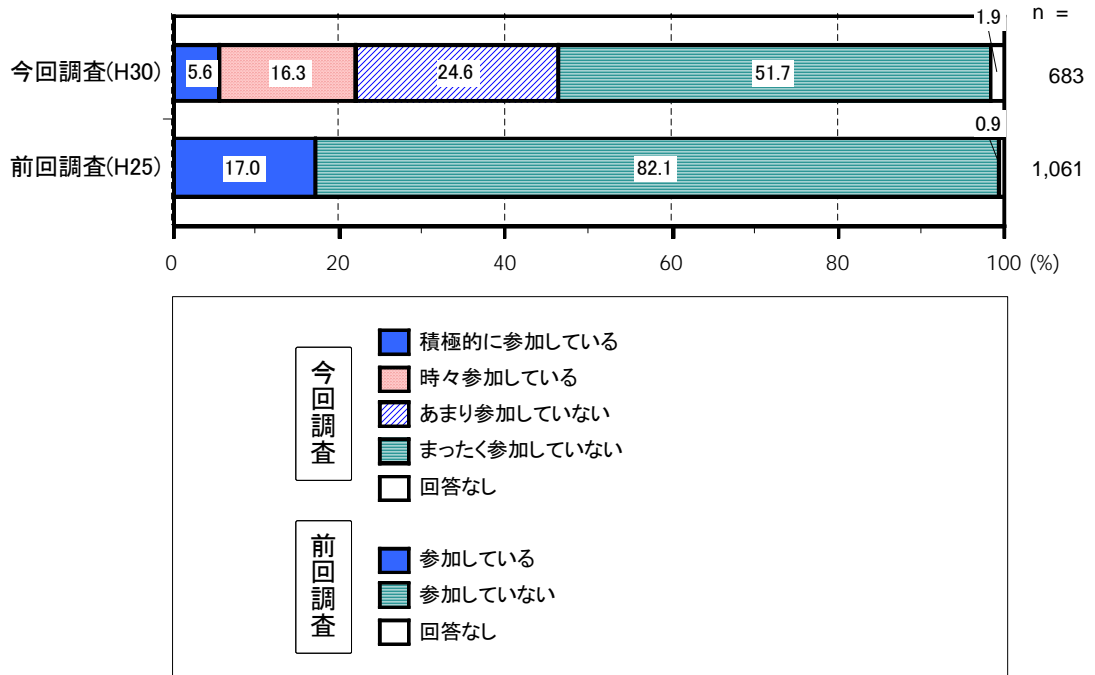
図表 4-9-1 芸術・文化活動への参加状況(年齢別)



図表 4-9-2 芸術・文化活動への参加状況(小学校区別)



図表 4-9-2 芸術・文化活動への参加状況(前回調査との比較)



(10) 人権教育・啓発活動への参加状況

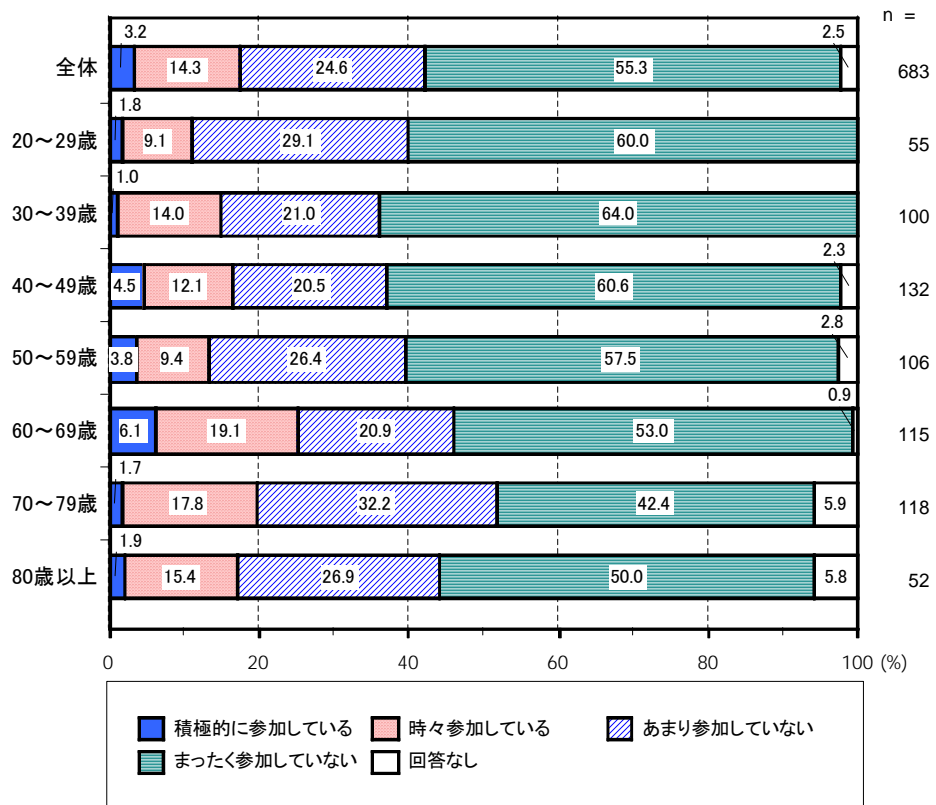
問16 あなたは、地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加していますか。

人権教育・啓発活動に対して、「積極的に参加している」と「時々参加している」を合わせると計17.5%が参加している。

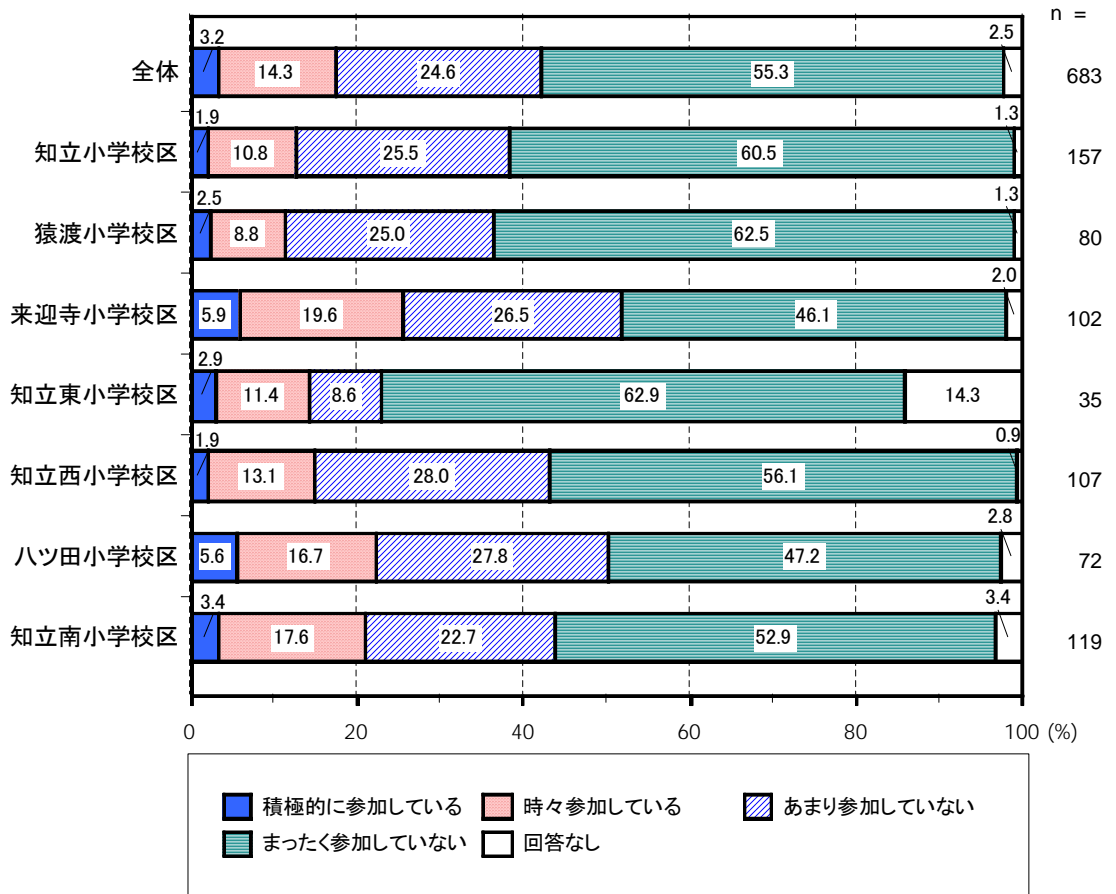
「まったく参加していない」は、年齢別では30～40歳代で、小学校区別では知立東小学校区で、それぞれやや多くなっている。

- 人権教育・啓発活動について、「積極的に参加している」(3.2%)と「時々参加している」(14.3%)を合わせた“参加している”が計17.5%にとどまっています(図表4-10-1)。
- 年齢別にみると、「時々参加している」は20～29歳(9.1%)でやや少なくなっています。また、「まったく参加していない」は70～79歳(42.4%)や80歳以上(50.0%)で少ない半面、30～39歳(64.0%)や40～49歳(60.6%)でやや多くなっています。
- 小学校区別にみると、「時々参加している」が来迎寺小学校区(19.6%)で全体と比べてやや多くなっています。一方、知立東小学校区においては、「まったく参加していない」(62.9%)がやや多くなっています(図表4-10-2)。
- 前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「積極的に参加している」(3.2%)と「時々参加している」(14.3%)を合わせた“参加している”(前回調査:17.2%)が計17.5%とほとんど変化がみられません(図4-10-3)。

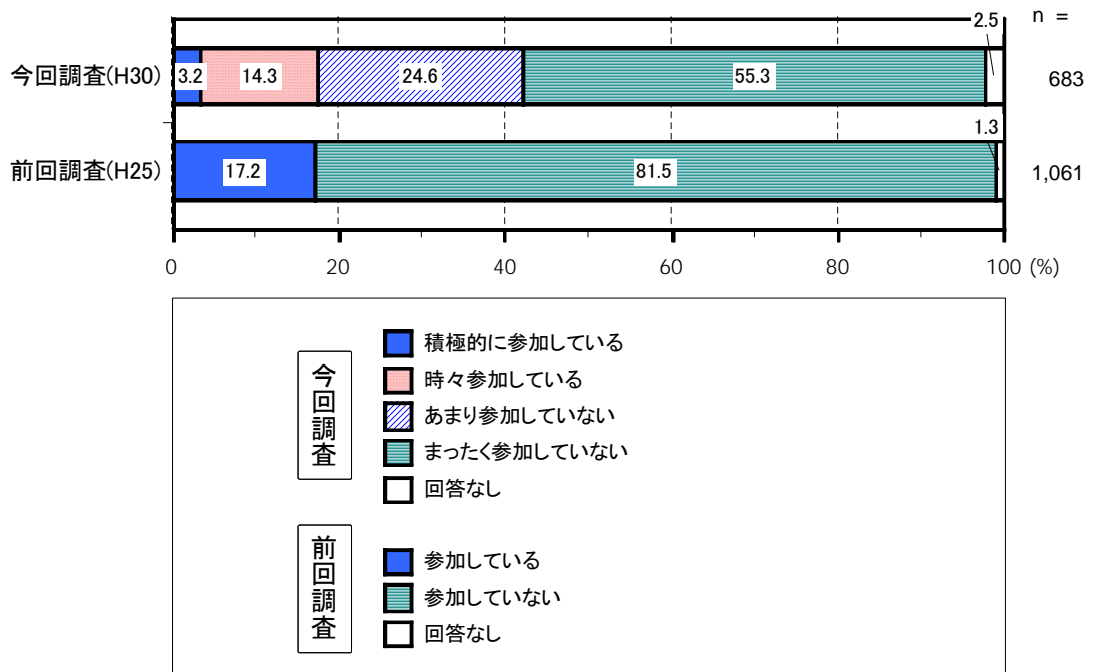
図表 4-10-1 人権教育・啓発活動への参加状況(年齢別)



図表 4-10-2 人権教育・啓発活動への参加状況(小学校区別)



図表 4-10-3 人権教育・啓発活動への参加状況(前回調査との比較)



### (11) 人権を侵害された経験の有無

問17 あなたは、この1年間、差別やいじめなど、人権を侵害されたと感じたことがありますか。

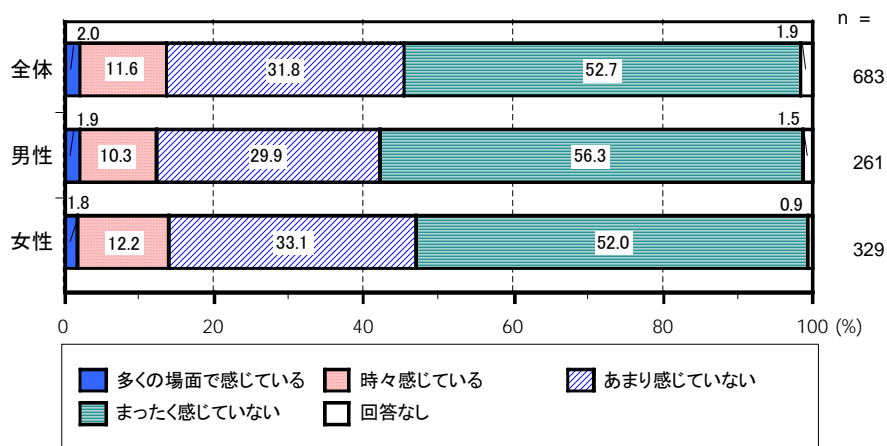
この1年間に人権を侵害されたと感じた経験について、「多くの場面で感じている」、「時々感じている」を合わせると13.6%となる。

年齢別では、「時々感じている」が30～39歳でやや多くなっている。

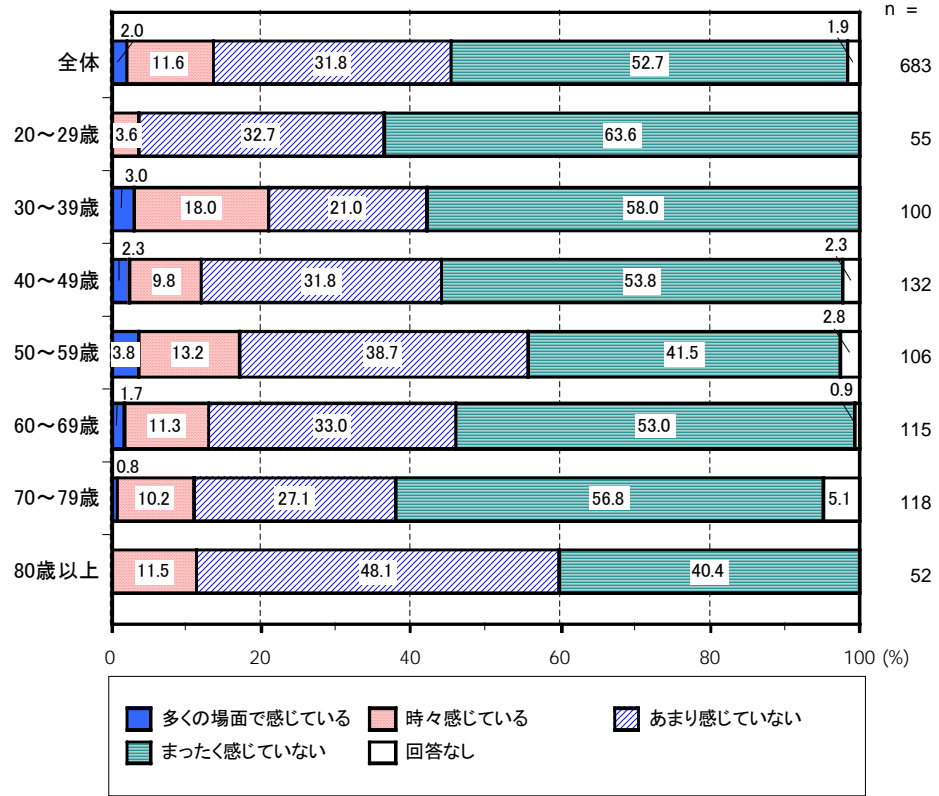
小学校区別では「あまり感じていない」が知立東小学校区でやや多くなっている。

- この1年間の人権侵害された経験について、「多くの場面で感じている」(2.0%)と「時々感じている」(11.6%)を合わせた“感じている”が計13.6%となっています(図表4-11-1)。
- 性別では、大きな違いはみられません。
- 年齢別でみると、「時々感じている」との回答が、30～39歳(18.0%)で全体よりやや多く、20～29歳(3.6%)ではやや少なくなっている(図表4-11-2)。
- 小学校区別にみると、知立東小学校区で「あまり感じていない」(42.9%)やや多く、「まったく感じていない」(40.0%)で10ポイント以上少なくなっています(図表4-11-3)。
- 前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「多くの場面で感じている」(2.0%)と「時々感じている」(11.6%)を合わせた“ある”(前回調査:8.7%)が計13.6%でわずかに増えています(図4-11-4)。

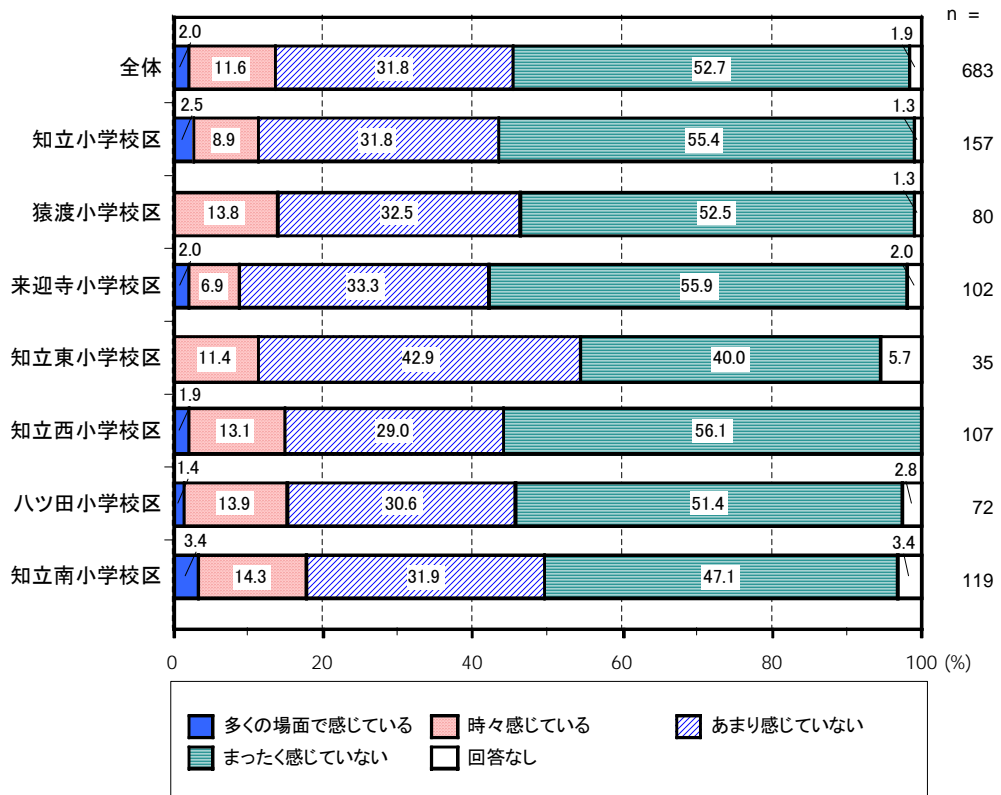
図表 4-11-1 人権侵害経験の有無(性別)



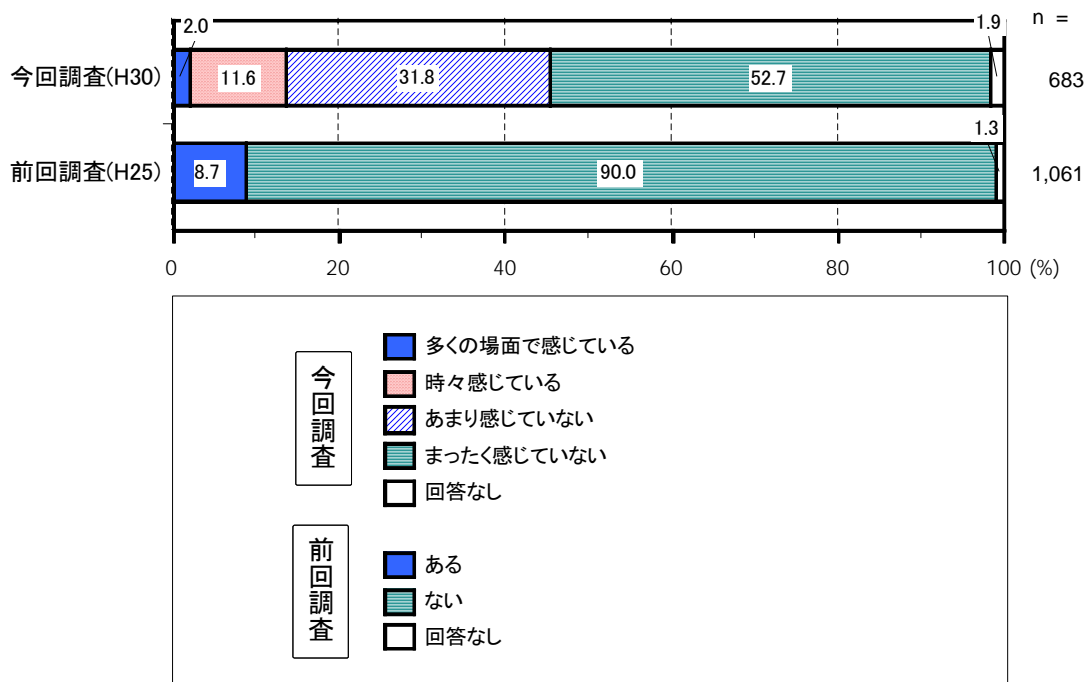
図表 4-11-2 人権侵害経験の有無(年齢別)



図表 4-11-3 人権侵害経験の有無(小学校区別)



図表 4-11-4 人権侵害経験の有無(前回調査との比較)





## (12) コミュニティ活動への参加状況

問18 あなたは、日頃、地域のコミュニティ活動（自治会の活動など）に参加していますか。

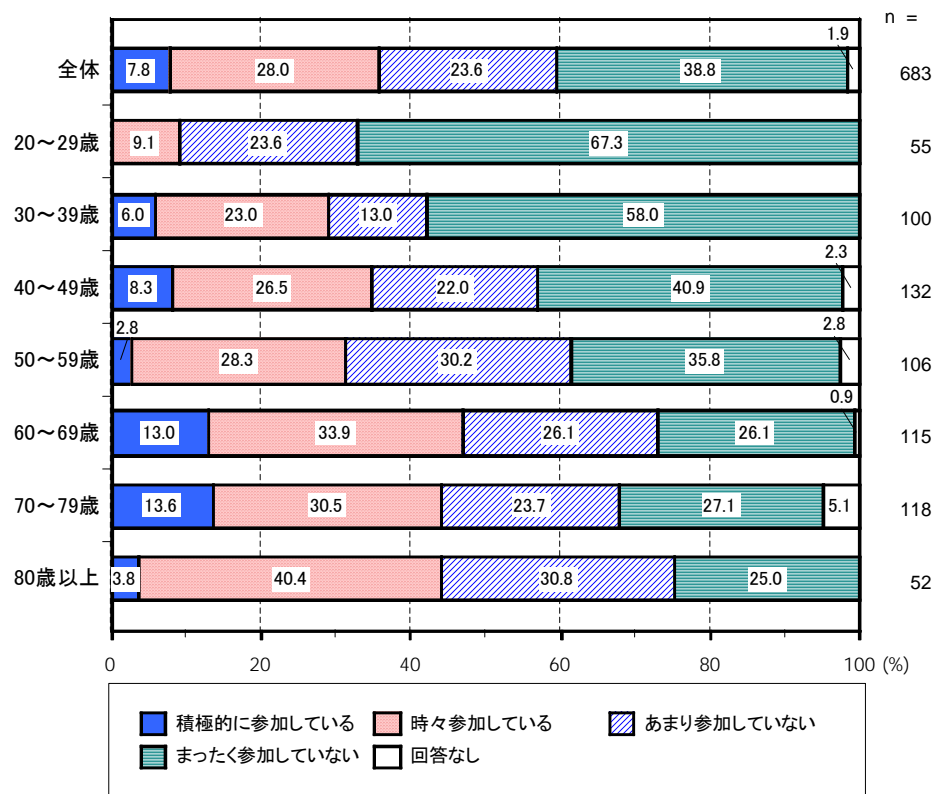
地域のコミュニティ活動への参加状況については、「積極的に参加している」と「時々参加している」を合わせると35.8%に上る。

年齢別では、相対的に若い世代の参加が少なく、20～30歳代では「まったく参加していない」が6割前後を占める。

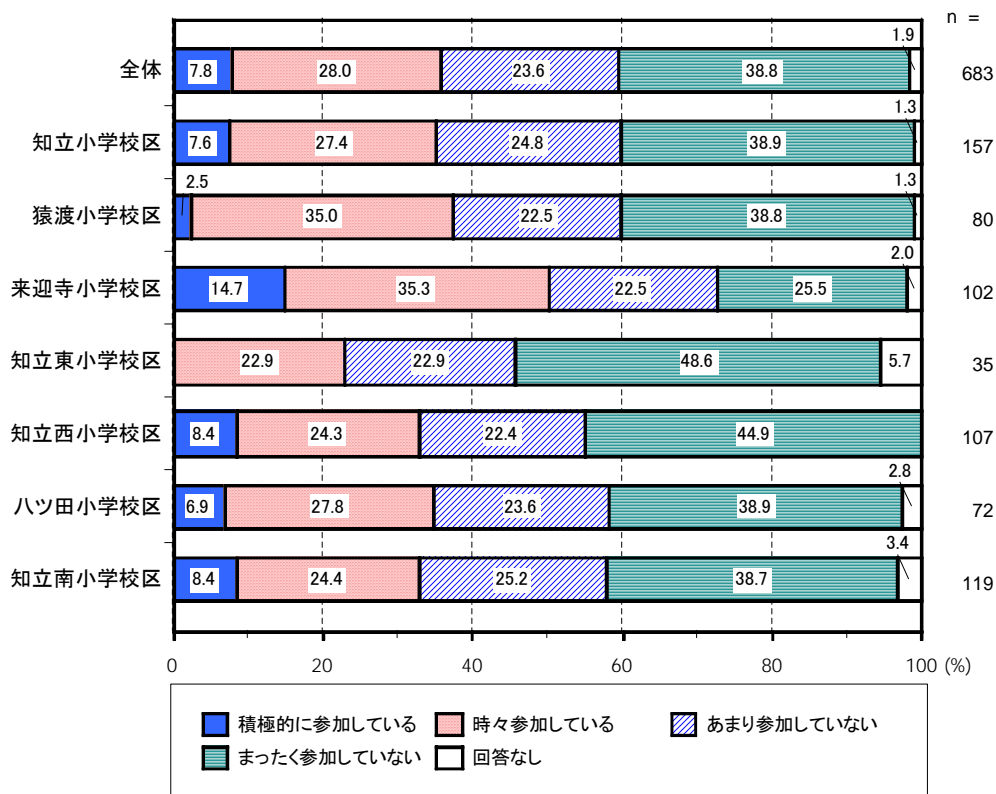
小学校区別では、来迎寺小学校では参加が多い半面、「まったく参加していない」が知立東小学校区や知立西小学校区でやや多くなっている。

- 地域のコミュニティ活動への参加状況について、「積極的に参加している」(7.8%)と「時々参加している」(28.0%)を合わせた“参加したい”は計35.8%となります(図表4-12-1)。
- 年齢別にみると、「積極的に参加している」は20～29歳(0.0%)、50～59歳(2.8%)で全体よりやや少なく、70～79歳(13.6%)や60～69歳(13.0%)でやや多くなっています。また、「あまり参加していない」と「まったく参加していない」の合計では、20～29歳(計90.9%)で全体の9割を占めるほか、30～39歳(71.0%)で全体よりやや多くなっています。
- 小学校区別にみると、来迎寺小学校区で「積極的に参加している」(14.7%)並びに「時々参加している」(35.3%)で、それぞれ全体よりやや多くなっています。一方で、知立東小学校区では「積極的に参加している」(0.0%)並びに「時々参加している」(22.9%)でそれぞれやや少なくなっています(図表4-12-2)。
- 前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「積極的に参加している」(7.8%)と「時々参加している」(28.0%)を合わせた“参加している”(前回調査：33.3%)が計35.8%でわずかながら増えています(図4-12-3)。

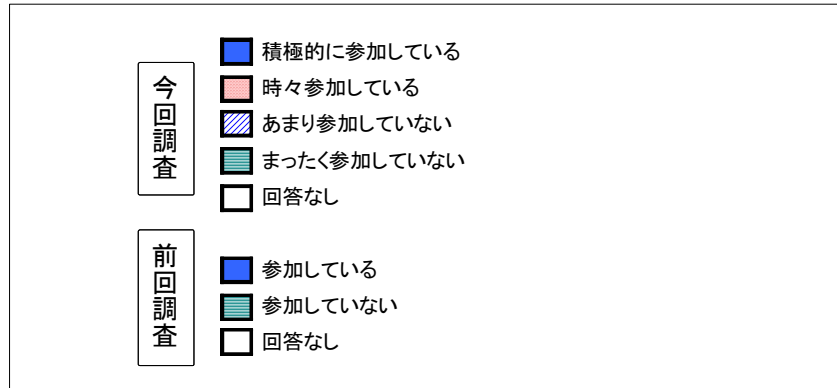
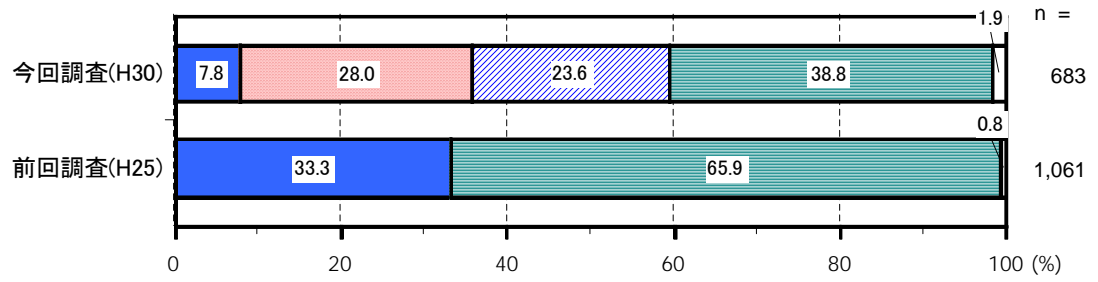
図表 4-12-1 コミュニティ活動への参加状況(年齢別)



図表 4-12-2 コミュニティ活動への参加状況(小学校区別)



図表 4-12-3 コミュニティ活動への参加状況(前回調査との比較)



(13) 市役所の市民サービスに対する評価

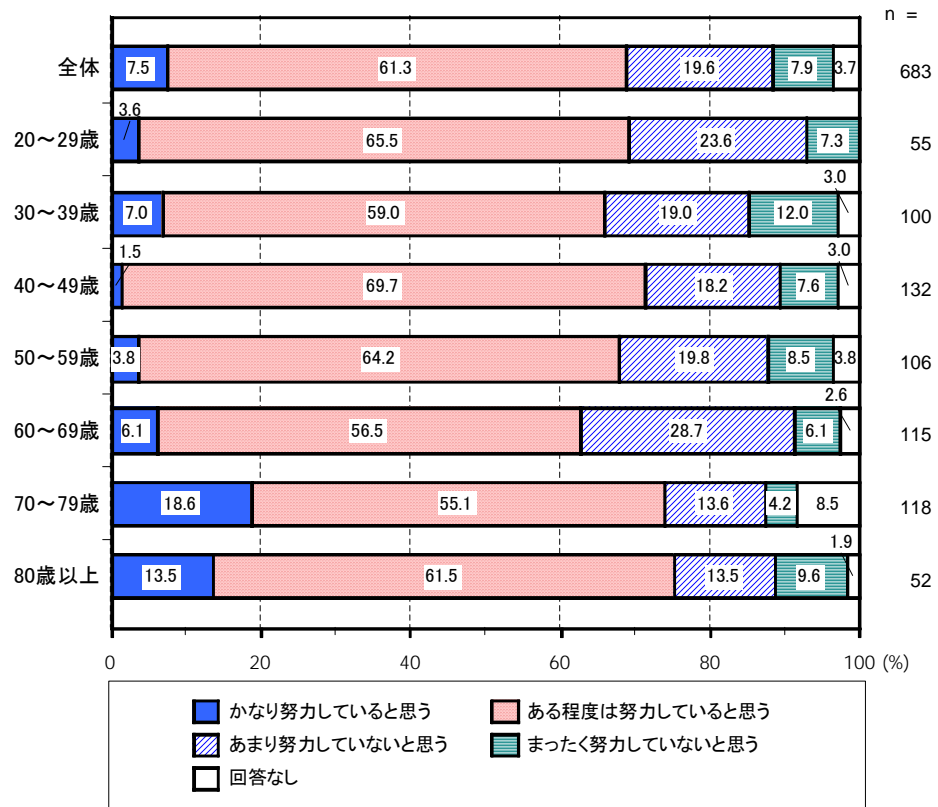
問19 あなたは、市役所が市民サービスの向上に努力していると思いますか。

市役所による市民サービスの向上のための努力について、「かなり努力していると思う」と「ある程度は努力していると思う」を合わせると7割近くが評価している。

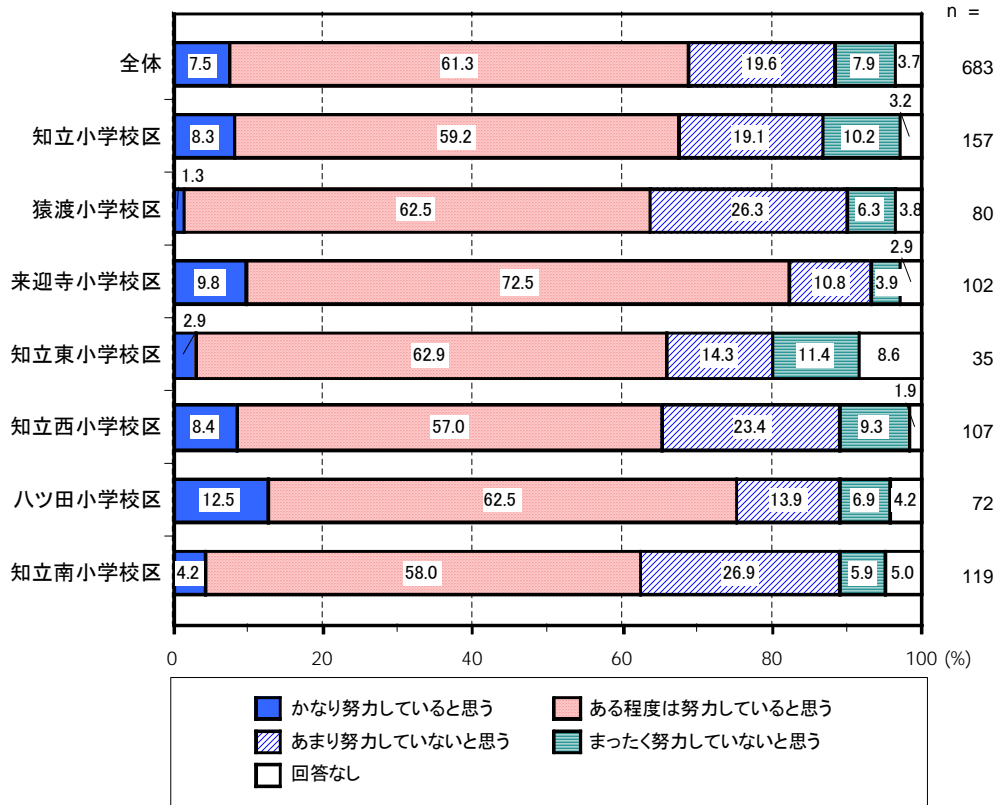
年齢別では70歳以上からの評価が相対的に高く、小学校区別では来迎寺小学校区での評価が全体よりも高い。

- 市民サービスの向上に対する市役所の努力について、「かなり努力していると思う」(7.5%)、「ある程度は努力していると思う」(61.3%)を合わせた“努力している”は計68.8%となっています(図表4-13-1)。
- 年齢別にみると、「努力していると思う」は70~79歳(18.6%)並びに80歳以上(13.5%)で全体よりやや多くなっている一方、60~69歳では「あまり努力していないと思う」(28.7%)が全体より10ポイント近く多くなっています。
- 小学校区別でみると、来迎寺小学校区で「ある程度は努力していると思う」(72.5%)が全体より10ポイント以上多い半面、猿渡小学校区では「かなり努力していると思う」(1.3%)がやや少なくなっています(図表4-13-2)。
- 前回調査と比較すると、選択肢を細分化したため一概に比較できませんが、今回調査の「かなり努力していると思う」(7.5%)と「ある程度は努力していると思う」(61.3%)を合わせた“努力していると思う”(前回調査:56.6%)が計68.8%で10ポイント以上増えています(図4-13-3)。

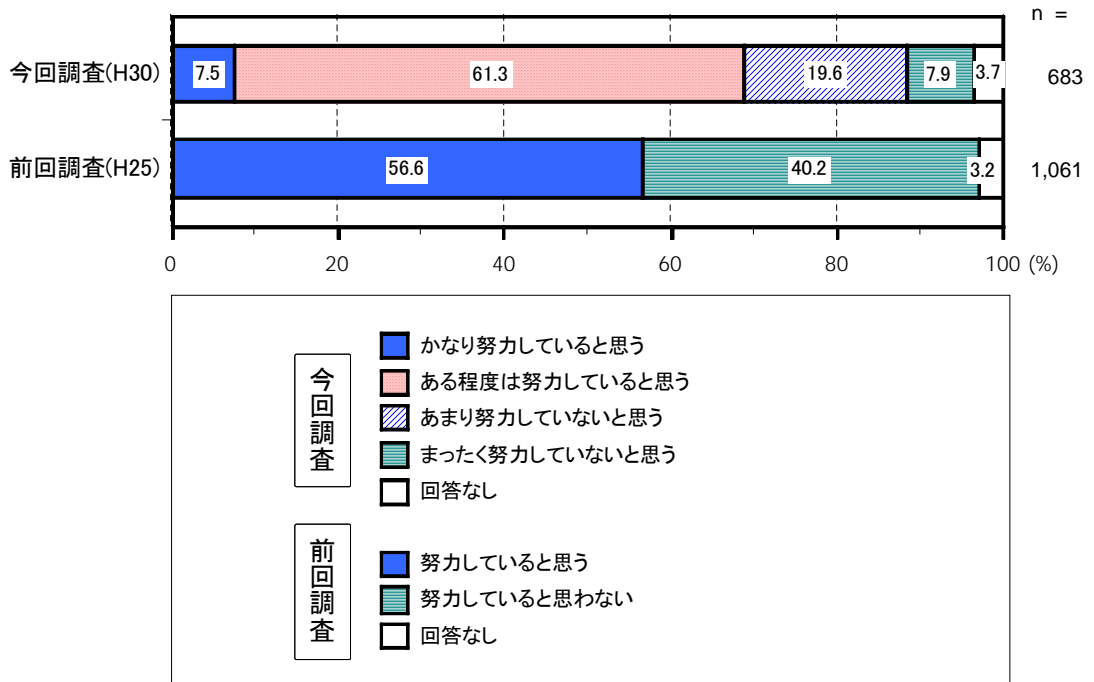
図表 4-13-1 市役所の市民サービスに対する評価(性別)



図表 4-13-2 市役所の市民サービスに対する評価(年齢別)



図表 4-13-3 市役所の市民サービスに対する評価(前回調査との比較)



## 5. 協働のまちづくり

### (1) 協働のまちづくりへの参画意向

問20 あなたは市民・市議会・市（行政）による「協働のまちづくり」に関わりたいと思いますか。

協働のまちづくりに対して「積極的に関わりたい」、「機会があれば関わりたい」を合わせて27.6%が参画に前向きである。

年齢別では、20～29歳及び30～39歳で前向きな回答がみられる半面、「あまり関わりたいと思わない」の回答もやや多い。

小学校区別では、知立西小学校区と来迎寺小学校区で前向きな回答が見られる。

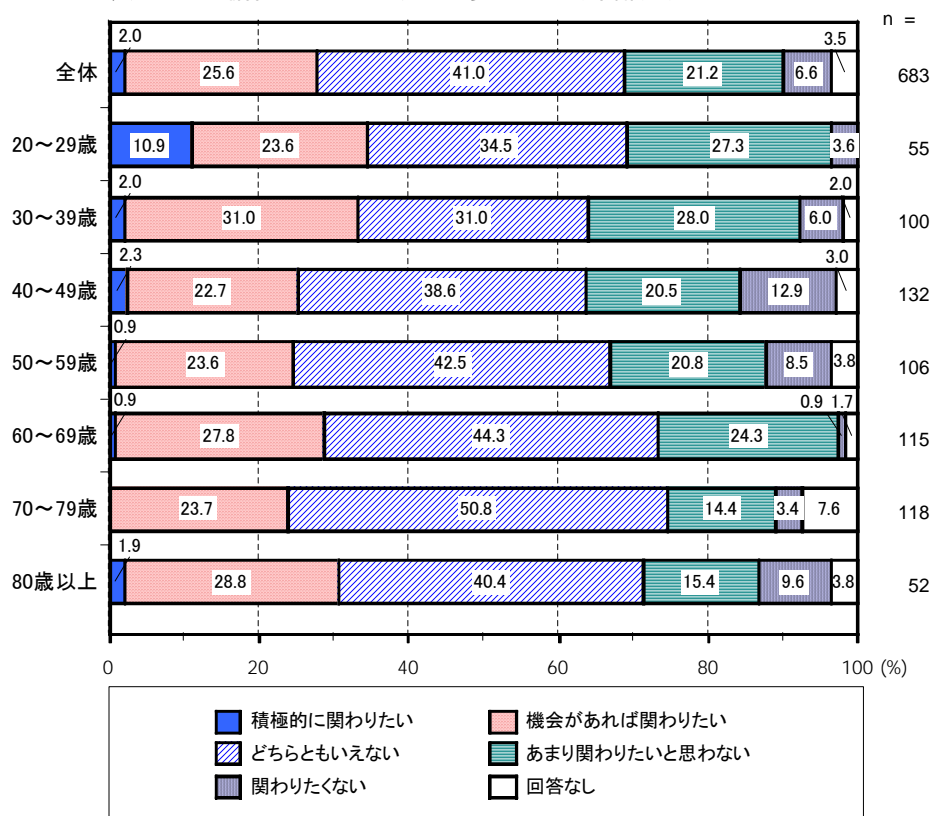
○協働のまちづくりへの参画の意向は、「積極的に関わりたい」が2.0%、「機会があれば関わりたい」が25.6%で、合わせて計27.6%の人が協働のまちづくりを前向きに捉えています（図表5-1-1）。

○年齢別にみると、20～29歳で「積極的に関わりたい」（10.9%）が、30～39歳で「機会があれば関わりたい」（31.0%）がそれぞれ全体よりやや多くなっている半面、「あまり関わりたいと思わない」も、30～39歳（28.0%）、20～29歳（27.3%）でそれぞれやや多くなっています。

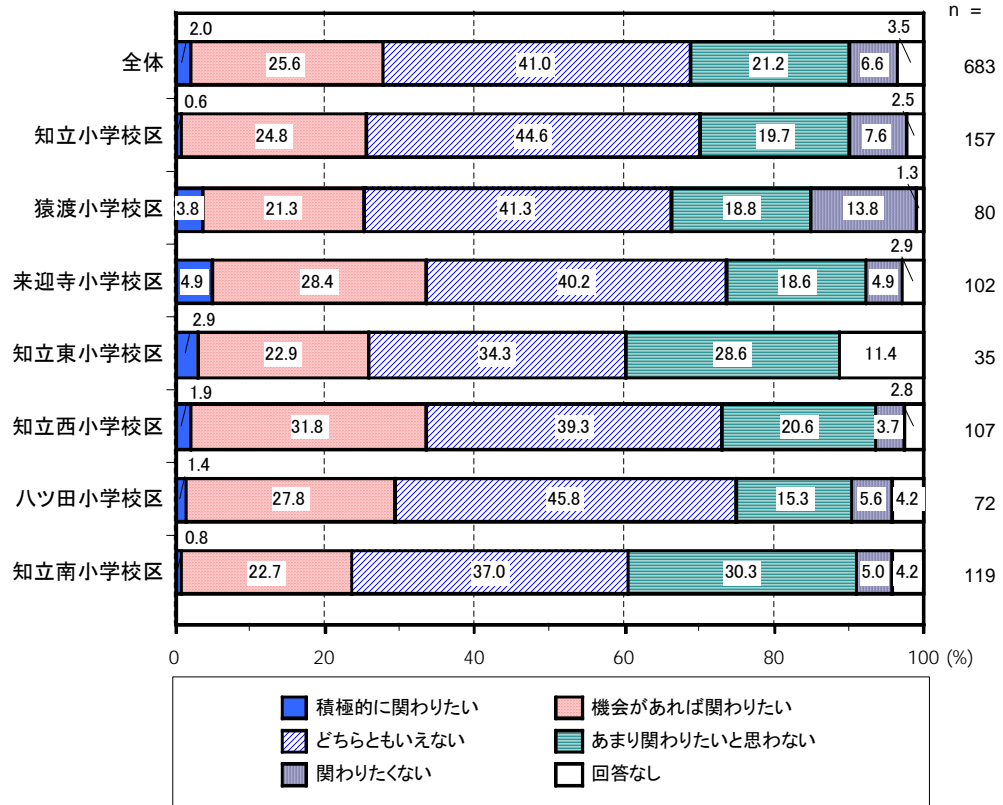
○居住小学校区別にみると、「積極的に関わりたい」と「機会があれば関わりたい」の合計は知立西小学校区（計33.7%）や来迎寺小学校区（計33.3%）で全体よりやや多くなっています（図表5-1-2）。

○前回調査と比較すると、大きな変化は見られません（図表5-1-3）。

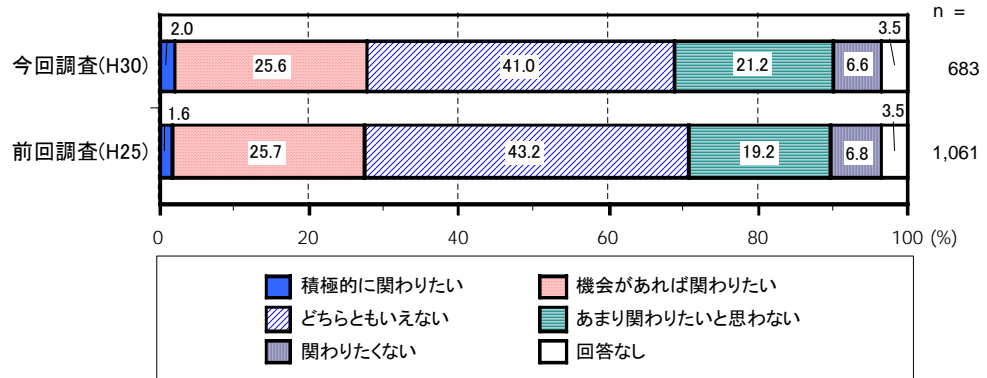
図表 5-1-1 協働のまちづくりへの参画意向(年齢別)



図表 5-1-2 協働のまちづくりへの参画意向(小学校区別)



図表 5-1-3 協働のまちづくりへの参画意向(前回調査との比較)



## (2) 参画したい協働のまちづくりの分野

### 【問20で1.または2.と回答した方】

問20-1 「協働のまちづくり」に関わる場合どのような分野で関わりたいと思いますか。

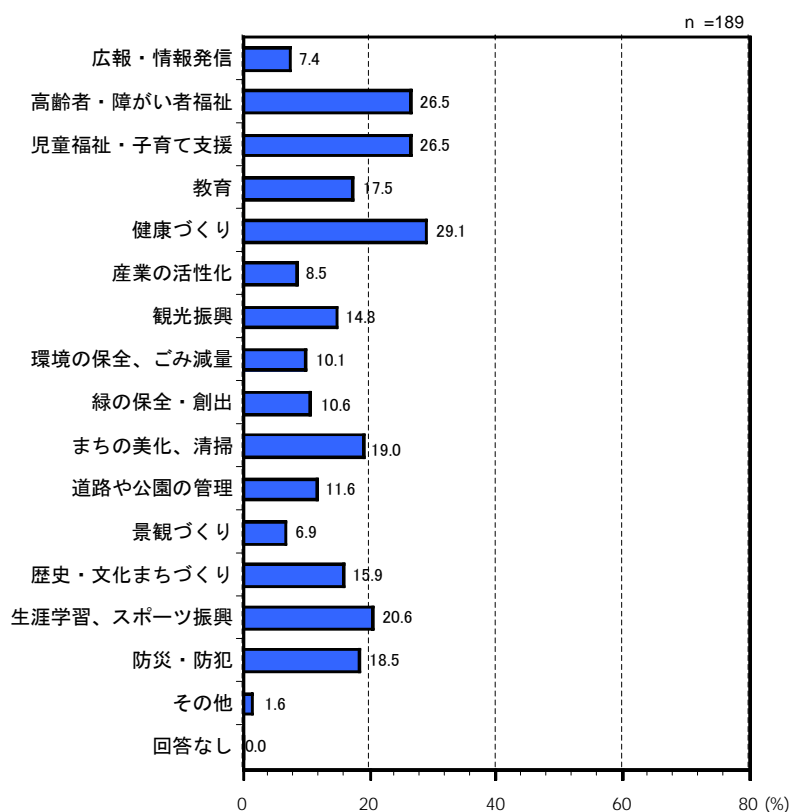
協働のまちづくりに関わる場合、どの分野に関心があるかについてたずねたところ、「健康づくり」、「高齢者・障がい者福祉」、「児童福祉・子育て支援」が多い。

年齢別には、若い世代は「児童福祉・子育て支援」や「教育」に、中高年の世代は「健康づくり」、「高齢者・障がい者福祉」に、それぞれ関心を示している。

小学校区別では、それぞれの地域の状況や課題に応じて関心のある分野に特徴がみられる。

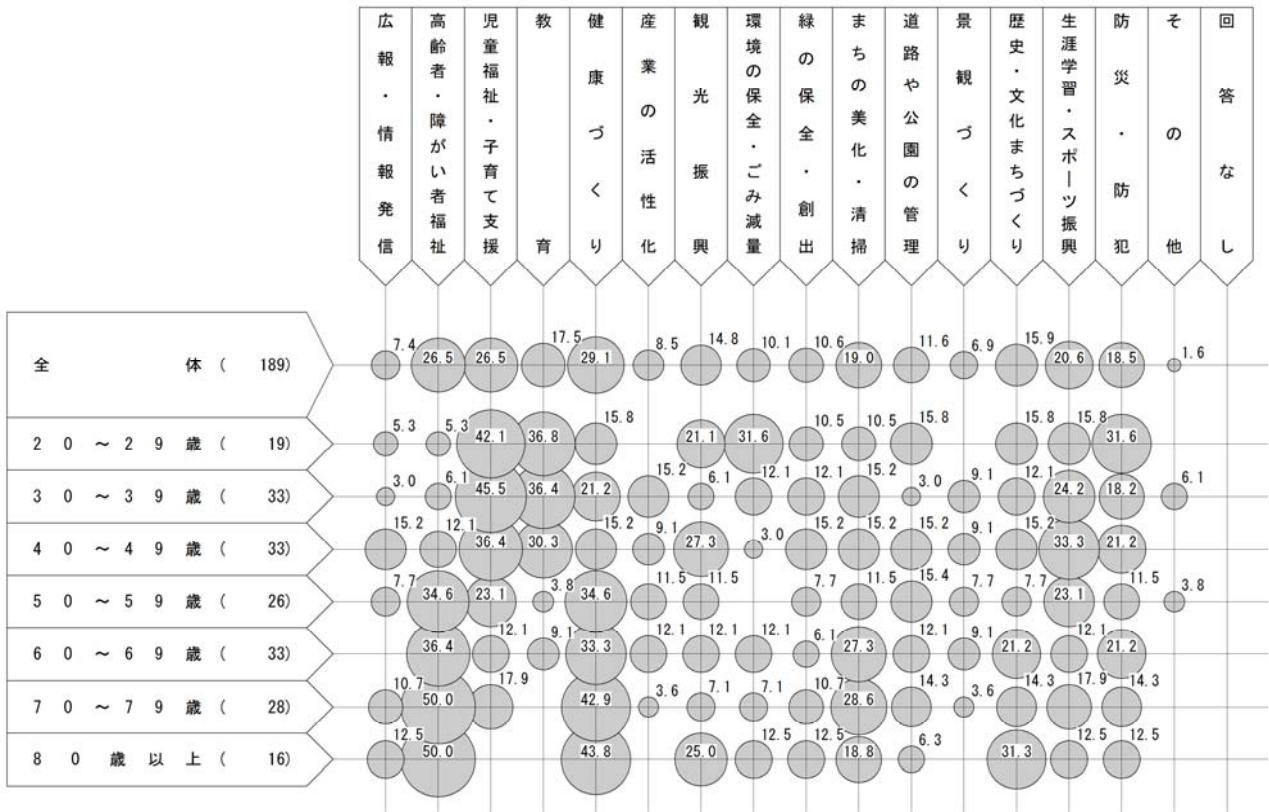
- 協働のまちづくりに関わる場合の分野について、「健康づくり」(29.1%)が最も多く、次いで「高齢者・障がい者福祉」と「児童福祉・子育て支援」(いずれも26.5%)、「生涯学習、スポーツ振興」(20.6%)と続いています(図表5-2-1)。
- 年齢別にみると、20～49歳では、「児童福祉・子育て支援」や「教育」が全体に比べて多く、50歳以上では、「健康づくり」や「高齢者・障がい者福祉」が多くなっています。そのほか、20～29歳では「環境の保全・ごみ減量」や「防災・防犯」(いずれも31.6%)、40～49歳では「観光振興」(27.3%)や「生涯学習、スポーツ振興」(33.3%)、80歳以上では「観光振興」(25.0%)や「歴史・文化まちづくり」(31.3%)が相対的に多くなっています(図表5-2-2)。
- 小学校区別でみると、知立小学校区では「防災・防犯」、猿渡小学校区では「健康づくり」、来迎寺小学校区では「児童福祉・子育て支援」、知立東小学校区では「歴史・文化まちづくり」や「観光振興」など、八ツ田小学校区では「産業の活性化」、知立南小学校区では「健康づくり」や「まちの美化・清掃」などが全体と比べてそれぞれ多くなっています((図表5-2-3))。

図表 5-2-1 参画したい協働のまちづくりの分野

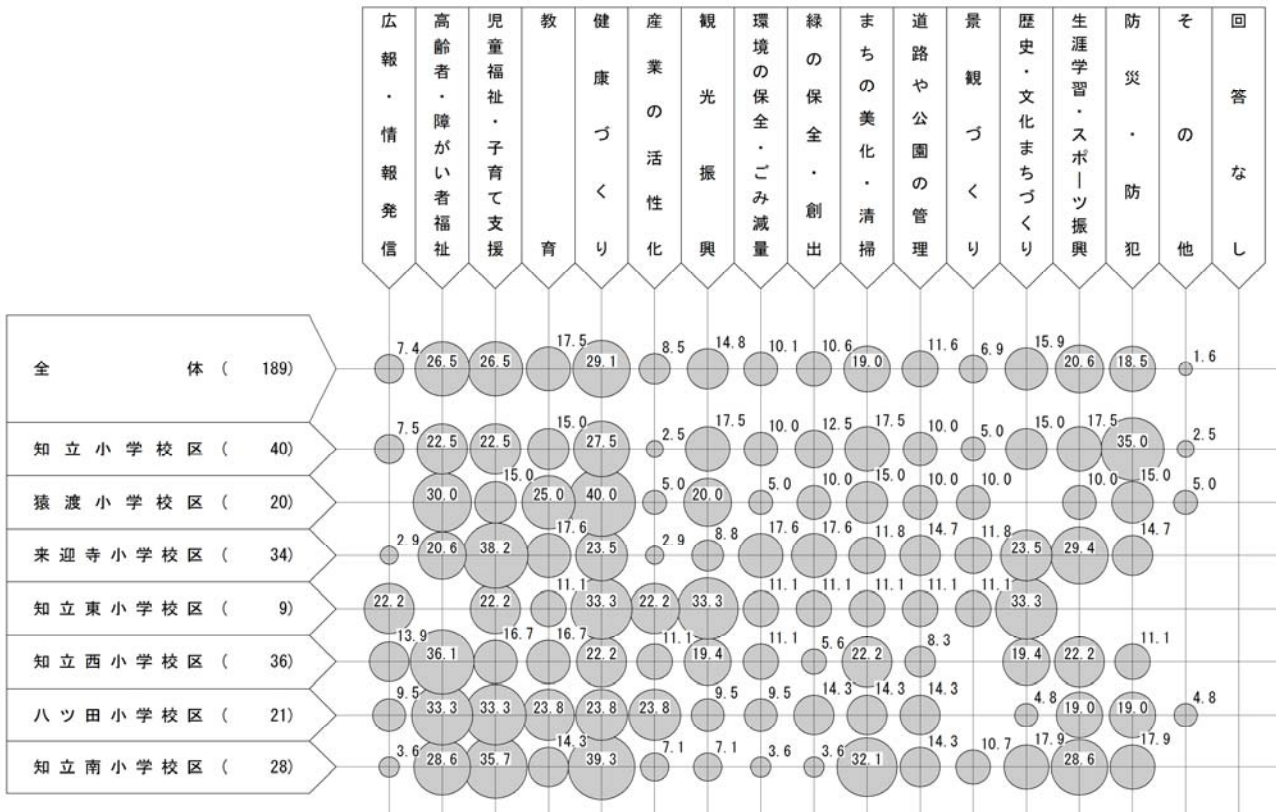




図表 5-2-2 参画したい協働のまちづくりの分野(年齢別)



図表 5-2-3 参画したい協働のまちづくりの分野(小学校区別)



### (3) 協働のまちづくりに参画したくない理由

【問 20 で 4. または 5. と回答した方】

問 20-2 「協働のまちづくり」に関わりたくないと思う理由は何ですか。

協働のまちづくりに積極的に関わりたくない回答者にその理由をたずねたところ、「活動する時間がない」が最も多い。

性別では、女性「どのように関わればよいのかがわからない、情報がない」と「活動するきっかけがない」などの理由が多い。

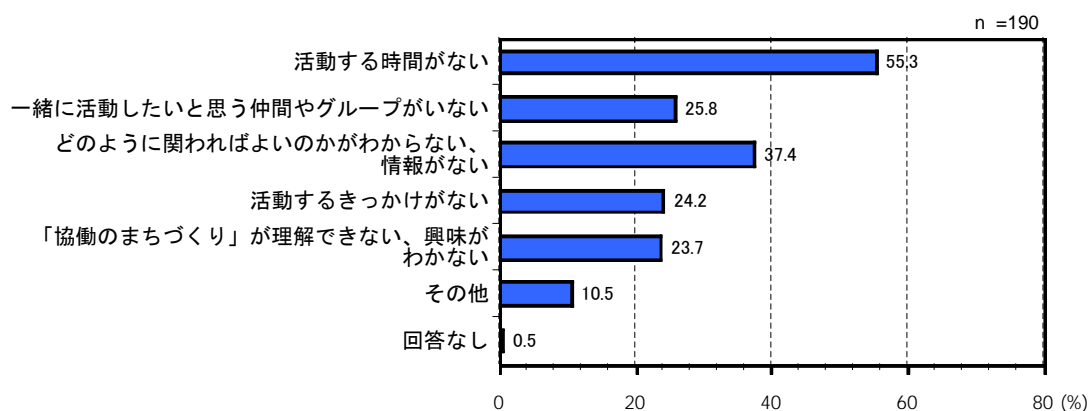
年齢別でみると、働く世代では「活動する時間がない」が最も多い。

○協働のまちづくりに参画したくない理由は、「活動する時間がない」(55.3%)が最も多く、次いで「どのように関わればよいのかがわからない、情報がない」(37.4%)、「一緒に活動したいと思う仲間やグループがない」(25.8%)の順になっています(図表 5-3-1)。

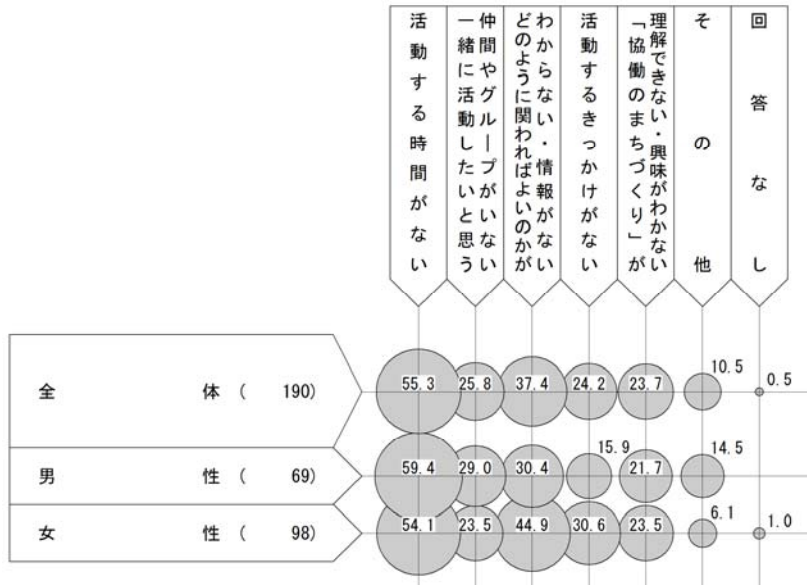
○性別にみると、女性は「どのように関わればよいのかがわからない、情報がない」(44.9%)と「活動するきっかけがない」(30.6%)で全体より多くなっています(図表 5-3-2)。

○年齢別にみると、20~59 歳までの働く世代では、総じて「活動する時間がない」という理由が目立ちます。それ以外に 30~39 歳では「一緒に活動したいと思う仲間やグループがない」(47.1%)や「どのように関わればよいのかがわからない、情報がない」(55.9%)が相対的に多くなっています(図表 5-3-3)。

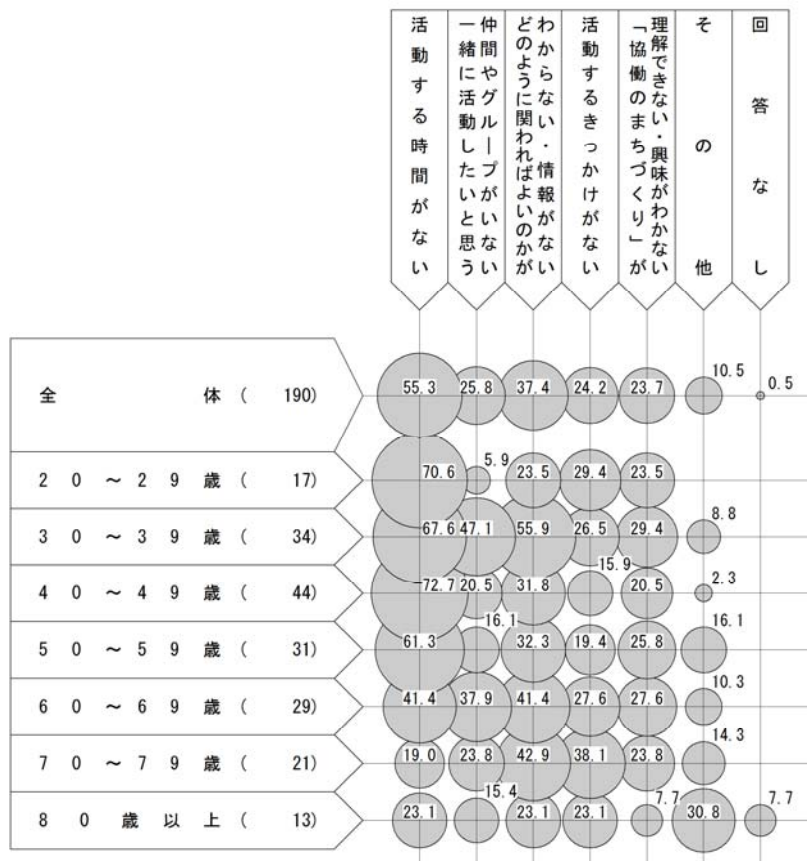
図表 5-3-1 協働のまちづくりに参画したくない理由



図表 5-3-2 協働のまちづくりに参画したくない理由(性別)



図表 5-3-3 協働のまちづくりに参画したくない理由(年齢別)



## 6. 知立市総合計画

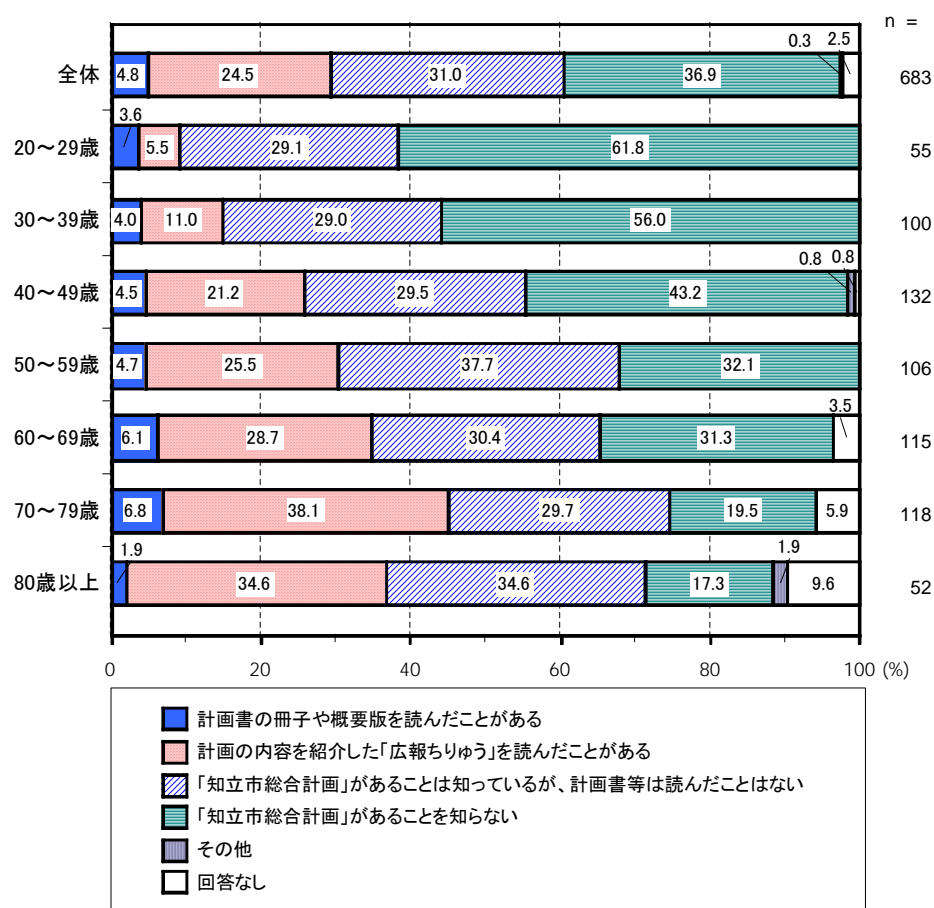
### (1) 知立市総合計画の認知度

問21 あなたは、「知立市総合計画」を知っていますか。

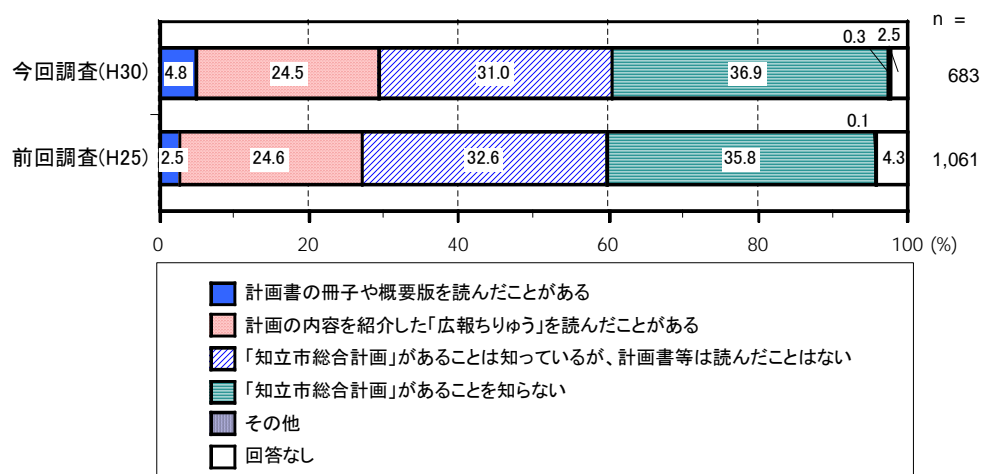
知立市総合計画について、「計画書の冊子や概要版を読んだことがある」、「計画の内容を紹介した『広報ちりゅう』を読んだことがある」、「『知立市総合計画』があることは知っているが、計画書等は読んだことはない」を合わせた約6割が総合計画を認知している。

- 知立市総合計画の認知度について、「『知立市総合計画』があることを知らない」は36.9%となっており、何らかの形で総合計画の事を知っている回答者は計60.3%に上ります（図表6-1-1）。
- しかしながら、「計画書の冊子や概要版を読んだことがある」は4.8%とごくわずかで、「計画の内容を紹介した『広報ちりゅう』を読んだことがある」が24.5%を合わせても約3割にとどまっています。
- 前回調査比較したところ、大きな変化は見られません（図表6-1-1）。

図表 6-1-1 知立市総合計画の認知度(年齢別)



図表 6-1-2 知立市総合計画の認知度(前回調査との比較)



## (2) 知立市総合計画の内容の理解度

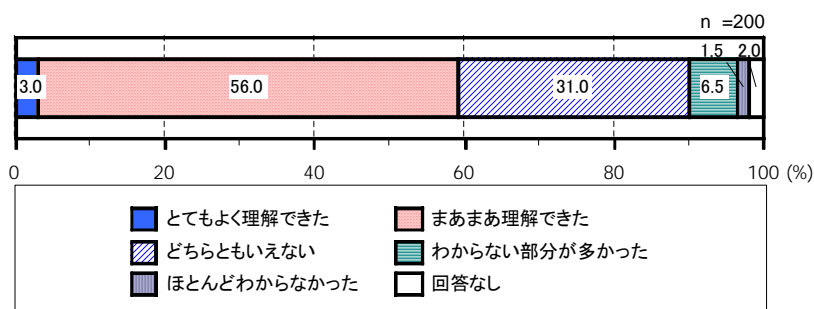
【問21で1.、2.のいずれかに回答した方】

問21-1 「知立市総合計画」の内容は理解できましたか。

知立市総合計画を読んだ人のうち、内容について「とてもよく理解できた」と「まあまあ理解できた」を合わせると、6割近くが内容を理解できている。

○知立市総合計画の理解度について、「とてもよく理解できた」(3.0%)、「まあまあ理解できた」(56.0%)を合わせて計59.0%が“理解できた”と回答しています。一方で「どちらともいえない」(31.0%)や「わからない部分が多かった」(6.5%)も相当数ありました(図表6-2-1)。

図表 6-2-1 知立市総合計画の内容の理解度



### (3) 現在の知立市の将来像の評価

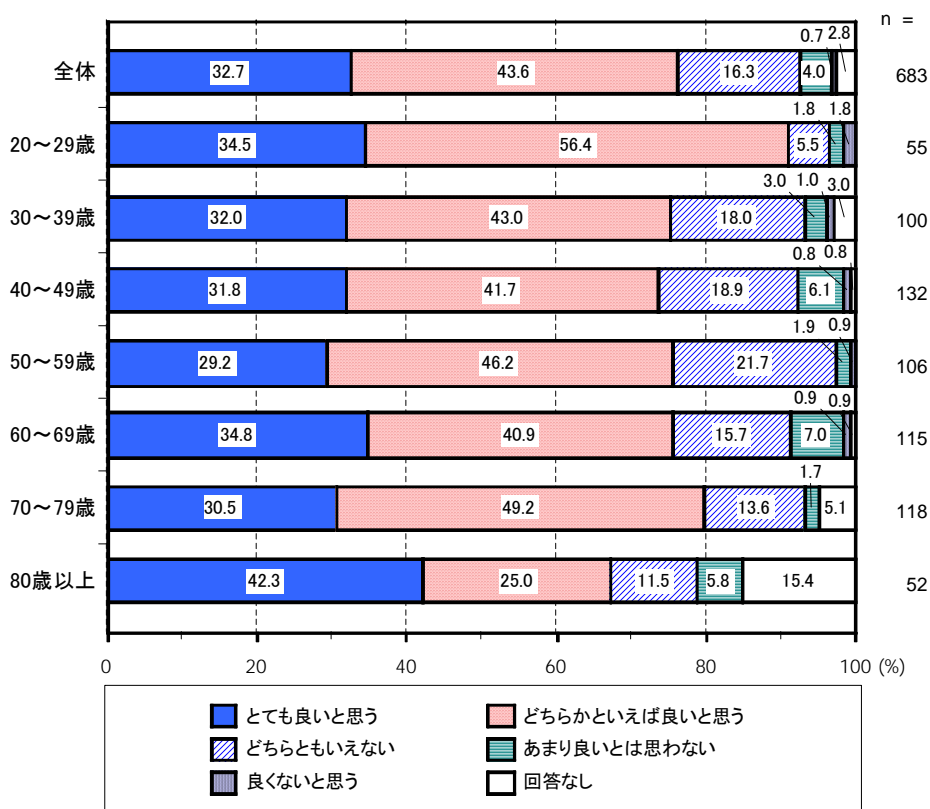
問22 現在の知立市総合計画における都市の将来像は『輝くまち みんなの知立』となっています。この将来像についてどう思いますか。

現在の知立市の将来像について、「とても良いと思う」と「どちらかといえば良いと思う」を合わせると、約4分の3が“良い”と評価している。

○現在の知立市の将来像について、「とてもよいと思う」は 32.7%、「どちらかといえば良いと思う」は 43.6%で、合わせて計 76.3%が“良い”と評価しています（図表 6-3-1）。

○年齢別にみると、「とてもよいと思う」が 80 歳以上（42.3%）でやや多いほか、「どちらかといえば良いと思う」が 20～29 歳（56.4%）で全体より 10 ポイント以上多くなっています。

図表 6-3-1 現在の知立市の将来像の評価(年齢別)



## 7. 自由意見

分類内容		件数
<b>1. 人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり</b>		<b>52 件</b>
1	安心して暮らせるまちづくり	29
2	人にやさしいまちづくり	5
3	健康で暮らせるまちづくり	12
4	環境にやさしいまちづくり	6
<b>2. 人々が集う交流のまちづくり</b>		<b>95 件</b>
1	住みたくなるまちづくり	50
2	訪れたくなるまちづくり	45
<b>3. 次代を担う子どもを豊かに育むまちづくり</b>		<b>20 件</b>
1	子どもの健康づくり	0
2	子ども・子育て支援	5
3	子どもの学びの環境・学校教育	15
<b>4. 互いの人権を尊重し、思いやりの心を育むまちづくり</b>		<b>4 件</b>
1	多文化共生	3
2	男女共同参画	0
3	人権	0
	その他	1
<b>5. 芸術や文化を大切にするまちづくり</b>		<b>7 件</b>
1	生涯学習	0
2	スポーツ	2
3	芸術・文化	3
4	歴史・文化財	2
<b>6. 知立が輝くための仕組みづくり</b>		<b>78 件</b>
1	市民が取り組む仕組みづくり	7
2	地域経営力のある行政づくり	71
<b>7. アンケートへの意見</b>		<b>2 件</b>
<b>8. その他</b>		<b>13 件</b>
<b>合 計</b>		<b>271 件</b>

## 知立市の総合計画のための市民アンケート調査 ～あなたの声をお聞かせください～

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

知立市では、平成27年に「第6次知立市総合計画」を策定し、この計画にもとづき、市政を運営しております。

「第6次知立市総合計画」については、中間年に施策評価を行うこととなっていることから、そのための基礎資料とするために、市民の皆さんのご意見をお聞きするアンケート調査を行います。

本調査は、6月1日現在の住民基本台帳から20歳以上の市民2,000人を無作為に抽出し、記入をお願いしています。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月

知立市長 林 郁 夫

### <回答にあたってのお願い>

1. あて名のご本人がお答えください。自分で記入することが難しい方は、ご家族等が代筆して頂いても結構ですが、あて名のご本人の考えをお書きください。
2. 回答は、あてはまる選択肢を○で囲むもの、文字を記入するものがあります。それぞれの質問の説明に従ってください。
3. この調査票にあなたの住所や名前を記入する必要はありません。このアンケートの集計結果は後日公表しますが、個人の回答状況を公表することはありませんので、率直なご意見等をお聞かせください。
4. 記入した調査票（この用紙）は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**7月17日(火)までに**ポストに投函してください。

### <外国語標記の調査票について>

[日] 英語・中国語・ポルトガル語の調査票が欲しい人は [kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp](mailto:kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp) までメールしてください。

[英] If you need the English version of the questionnaire form, please contact us by e-mail to [kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp](mailto:kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp)

[ポ] Se você precisar de uma versão em português do questionário, entre em contato conosco por e-mail para [kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp](mailto:kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp)

[中] 如果您需要问卷的中文版本，请通过电子邮件联系我们 [kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp](mailto:kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp)

### <お問い合わせ先>

知立市役所 企画部 企画政策課

電話 0566-95-0114 FAX 0566-83-1141



問1 あなたについて教えてください。 ※(1)から(6)の項目ごとに1つだけに○をつける

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	※自認する性別でお答えください
(2) 年齢	1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
	4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70～79歳
	7. 80歳以上	※平成30年6月1日現在の年齢でお答えください	
(3) お住まいの小学校区	1. 知立小学校区	2. 猿渡小学校区	3. 来迎寺小学校区
	4. 知立東小学校区	5. 知立西小学校区	6. ハツ田小学校区
	7. 知立南小学校区		
	8. わからない(町名をお書きください_____)		
(4) 職業	1. 自営業・事業主	2. 会社・団体の役員	
	3. 会社員・団体の職員	4. 教員・公務員	5. パート・アルバイト
	6. 専業主婦・専業主夫	7. 学生	8. 無職
	9. その他(具体的にお書きください_____)		
(5) 主な通勤・通学先	1. 市内に通勤・通学している	2. 市外に通勤・通学している	
	3. 通勤・通学していない(自宅も含む)		
(6) 知立市での居住年数 (6月1日現在の通算年数)	1. 5年未満	2. 5～10年未満	3. 10～20年未満
	4. 20～30年未満	5. 30～40年未満	6. 40～50年未満
	7. 50～60年未満	8. 60年以上	

問2 引越しの必要性等に関わらず、あなたは知立市にできれば「住み続けたい」と思いますか。

※1つだけに○をつける

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. 住み続けたい           | 2. どちらかといえば住み続けたい |
| 3. どちらともいえない        |                   |
| 4. どちらかといえば住み続けたくない | 5. 住み続けたくない       |

問3 問2のように答えられた理由は以下のどれですか。

※3つまでに○をつける

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 自然や環境の状況         | 2. 住環境の整備           |
| 3. 上下水道などの生活環境施設の整備 | 4. 道路事情や交通の便        |
| 5. 消防、防災、防犯体制       | 6. スポーツ・レジャー施設や文化施設 |
| 7. 市内の職場の状況         | 8. 日常の買い物状況         |
| 9. 保健・医療分野のサービスや施設  | 10. 福祉分野のサービスや施設    |
| 11. 子どもの保育・教育の状況    | 12. 地域の行事や近所づきあい    |
| 13. その他(_____)      |                     |

問4 現在の知立市の「印象」について、どのように感じますか。

※(1)～(6)の項目ごとに1つだけに○をつける

	感じている	どちらかといえば 感じている	どちらともいえない	どちらかといえば 感じていない	感じていない
(1) 人や環境にやさしいまち	1.	2.	3.	4.	5.
(2) 暮らし続ける住環境が整っているまち	1.	2.	3.	4.	5.
(3) 災害や事故、犯罪などの危険が少ない安全なまち	1.	2.	3.	4.	5.
(4) いくつになっても安心して暮らせるまち	1.	2.	3.	4.	5.
(5) 活動的にぎわいのあるまち	1.	2.	3.	4.	5.
(6) 市政に市民の意見が反映されている	1.	2.	3.	4.	5.

問5 知立市を他の都市と比べた時、「強み・長所」及び「弱み・短所」は、どこに感じますか。

※思いつく言葉や文があれば、いくつでもお書きください

強み・長所	
弱み・短所	

問6 あなたは、以下の知立市の取り組みについて、現在「満足」していますか。

また、今後の取り組みは「重要」だと思いますか。

※(1)～(30)の項目ごとに、「満足度」「重要度」のそれぞれ1つずつに○をつける

	現在の「満足度」※1つに○					今後の「重要度」※1つに○				
	満足している	どちらか 満足している は	どちらとも いえない	どちらか 不満である は	不満である	重要である	どちらか 重要である は	どちらとも いえない	どちらか 重要ではない は	重要ではない
記入例) ○○○○○○について ⇒	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
<b>市街地や道路について</b>										
(1) 知立駅周辺の整備・改善	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(2) 住宅や宅地の整備・改善	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(3) 幹線道路の整備・改善	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(4) 身近な生活道路の整備・改善	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(5) 公共交通の利便性向上	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.

※(1)～(30)の項目ごとに、  
「満足度」「重要度」の  
それぞれ1つずつに○をつける

	現在の「満足度」※1つに○					今後の「重要度」※1つに○				
	満足している	どちらかといえは満足している	どちらともいえない	どちらかといえは不満である	不満である	重要である	どちらかといえは重要である	どちらともいえない	どちらかといえは重要ではない	重要ではない
<b>産業について</b>										
(6) 農業の振興	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(7) 工業の振興や企業誘致	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(8) 商業・サービス業の振興	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
<b>生活環境について</b>										
(9) 大規模災害対策	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(10) 交通安全・防犯対策	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(11) 公害対策	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(12) ごみの減量化、リサイクル	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(13) 下水道の整備	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(14) 安心して安全な水道水	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(15) 公園・緑地の整備・改善	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
<b>健康・医療・福祉について</b>										
(16) 地域福祉活動の促進	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(17) 子育て支援、保育所等の整備	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(18) 高齢者福祉	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(19) 障がい者福祉	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(20) 低所得者等の自立支援	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(21) 保健・医療・福祉の向上	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
<b>教育・文化・市民活動について</b>										
(22) 生涯学習活動の促進	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(23) 図書館・ホールなど施設の充実	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(24) 幼稚園・小中学校などの学校教育環境（教育内容、学校施設等）	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(25) 文化活動の振興や歴史の継承	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(26) スポーツの振興について	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(27) 国際化、外国人との共生	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(28) 男女共同参画の推進	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(29) ボランティアや市民活動支援	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
<b>市役所について</b>										
(30) 知立市の広報・広聴活動（広報紙・ホームページなど）	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.
(31) 市役所の職員の対応	1.	2.	3.	4.	5.	1.	2.	3.	4.	5.

問7 あなたは、災害時の避難路・避難場所を知っていますか。 ※1つだけに○をつける

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1. 詳しく知っている | 2. だいたい知っている |
| 3. ほとんど知らない | 4. まったく知らない  |

問8 あなたの家では、大地震が起こった場合に備えて「家具や家電」を固定して、転倒・落下・移動を防止していますか。 ※1つだけに○をつける

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. ほぼ全ての家具や家電の固定は済んでいる                |
| 2. 重量のある家電や家具（タンスや大型テレビなど）の固定はほぼ済んでいる |
| 3. 重量のある家具や家電の半分くらいの固定は済んでいる          |
| 4. 重量のある家具や家電の一部の固定は済んでいる             |
| 5. 特に固定はしていない                         |

問9 あなたは、災害に備えて家族（世帯）分の食べ物や飲み水を備蓄していますか。 ※1つだけに○をつける

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を1週間分以上備蓄している |
| 2. 家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を3日分ぐらい備蓄している |
| 3. 家族（世帯）全員分の食べ物や飲み水を1日分ぐらい備蓄している |
| 4. 家族（世帯）の一部だけ備蓄している              |
| 5. 特に備蓄していない                      |

問10 知立市では、次のような防災に対する取組みをしています。それぞれ知っていますか。 ※(1)～(5)の項目ごとに1つだけに○をつける

(1) 知立市総合防災訓練 毎年9月ごろに実施している市や地域での訓練	1. 知っている	2. 知らない
(2) 知立市すぐメール 防災や火災情報などのメール登録	1. 知っている	2. 知らない
(3) 知立市防災ラジオ 有償で防災無線を聞くことができるラジオを配布	1. 知っている	2. 知らない
(4) 家具転倒防止金具の配布 自宅にある家具を壁に固定する金具を無償配布 (数に制限あり)	1. 知っている	2. 知らない
(5) 知立市防災ガイドブック 平成28年度に市内全戸に配布	1. 知っている	2. 知らない

問11 あなたは「広報ちりゅう」を読んでいますか。 ※1つだけに○をつける

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 読んでいる     | 2. 時々読んでいる    |
| 3. あまり読んでいない | 4. まったく読んでいない |

問12 あなたは、市内の信号の設置や交差点の改善など、交通事故からの安全確保について満足していますか。 ※1つだけに○をつける

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 満足している        | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらかといえば不満である | 4. 不満である          |

問13 あなたは、自然保護や省資源・省エネルギーなど、環境に配慮した生活をしていますか。 ※1つだけに○をつける

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 積極的にしている      | 2. どちらかといえばしている |
| 3. どちらかといえばしていない | 4. まったくしていない    |

問14 あなたは、日頃、生涯学習活動（外国語、歴史などを学ぶ取組み）をしていますか。 ※1つだけに○をつける

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 積極的にしている      | 2. どちらかといえばしている |
| 3. どちらかといえばしていない | 4. まったくしていない    |

問15 あなたは、日頃、芸術・文化活動に参加していますか。 ※1つだけに○をつける

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. 時々参加している    |
| 3. あまり参加していない | 4. まったく参加していない |

問16 あなたは、地域・職場での人権教育・啓発活動などに参加していますか。 ※1つだけに○をつける

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. 時々参加している    |
| 3. あまり参加していない | 4. まったく参加していない |

問17 あなたは、この1年間、差別やいじめなど、人権を侵害されたと感じたことがありますか。 ※1つだけに○をつける

- |                |               |
|----------------|---------------|
| 1. 多くの場面で感じている | 2. 時々感じている    |
| 3. あまり感じていない   | 4. まったく感じていない |

問18 あなたは、日頃、地域のコミュニティ活動（自治会の活動など）に参加していますか。 ※1つだけに○をつける

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1. 積極的に参加している | 2. 時々参加している    |
| 3. あまり参加していない | 4. まったく参加していない |

問19 あなたは、市役所が市民サービスの向上に努力していると思いますか。 ※1つだけに○をつける

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. かなり努力していると思う  | 2. ある程度は努力していると思う |
| 3. あまり努力していないと思う | 4. まったく努力していないと思う |

《「知立市まちづくり基本条例」と「協働」》

知立市では、市民・市議会・市（行政）がお互いに基本理念を共有し、参画と協働を通してまちづくりを進めていくために必要な考え方や仕組みを定める条例として、平成17年に『知立市まちづくり基本条例』を定めています。

この条例の中で、『協働』について、「地域の課題の解決を図るため、それぞれの役割と責任のもとで、ともに考え、協力し、行動すること」と定義しています。

問 20 あなたは市民・市議会・市（行政）による「協働のまちづくり」に関わりたいと思いますか。

※1つだけに○をつける

1. 積極的に関わりたい
2. 機会があれば関わりたい
3. どちらともいえない
4. あまり関わりたいと思わない
5. 関わりたくない

4.または5.と回答した方

1.または2.と回答した方

【問 20 で 1.または 2.と回答した方】

問 20-1 「協働のまちづくり」に関わる場合どのような分野で関わりたいと思いますか。 ※3つまでに○をつける

1. 広報・情報発信
2. 高齢者・障がい者福祉
3. 児童福祉・子育て支援
4. 教育
5. 健康づくり
6. 産業の活性化
7. 観光振興
8. 環境の保全、ごみ減量
9. 緑の保全・創出
10. まちの美化、清掃
11. 道路や公園の管理
12. 景観づくり
13. 歴史・文化まちづくり
14. 生涯学習、スポーツ振興
15. 防災・防犯
16. その他  
(具体的にお書きください\_\_\_\_\_)

【問 20 で 4.または 5.と回答した方】

問 20-2 「協働のまちづくり」に関わりたくないと思う理由は何ですか。

※3つまでに○をつける

1. 活動する時間がない
2. 一緒に活動したいと思う仲間やグループがない
3. どのように関わればよいのかがわからない、情報がない
4. 活動するきっかけがない
5. 「協働のまちづくり」が理解できない、興味がわからない
6. その他 (具体的にお書きください\_\_\_\_\_)

問 21 あなたは、「知立市総合計画」を知っていますか。 ※1 つだけに○をつける

1. 計画書の冊子や概要版を読んだことがある
2. 計画の内容を紹介した「広報ちりゅう」を読んだことがある
3. 「知立市総合計画」があることは知っているが、計画書等は読んだことはない
4. 「知立市総合計画」があることを知らない
5. その他（具体的に\_\_\_\_\_）

【問21で1.、2.のいずれかに回答した方】

→ 問21-1 「知立市総合計画」の内容は理解できましたか。 ※1 つだけに○をつける

1. とてもよく理解できた
2. まあまあ理解できた
3. どちらともいえない
4. わからない部分が多かった
5. ほとんどわからなかった

問22 現在の知立市総合計画における都市の将来像は『輝くまち みんなの知立』となっています。

この将来像は、

☆市民が「生活の場としての安らぎ」と「産業が栄え、いきいきと活動している人の力が  
生み出すまちのにぎわい」を実感できる、住みよいまち

☆『輝くまち』に愛着を持ち、主体的にまちづくりに関わる市民の姿

を表しています。

この将来像についてどう思いますか。 ※1 つだけに○をつける

1. とても良いと思う
2. どちらかといえば良いと思う
3. どちらともいえない
4. あまり良いとは思わない
5. 良くないと思う

問 23 知立市総合計画や市政運営に関するご意見やご提案がありましたら、下記にお書きください。

-----
-----
-----
-----
-----

質問はこれで終わりです。ご協力ありがとうございました。

知立市の総合計画のための市民アンケート調査報告書

平成30年8月 発行

発 行：知立市役所 企画部 企画政策課

住 所：〒472-8666 愛知県知立市広見三丁目1番地

電話番号：(0566) 95-0114(直通) F A X 番号：(0566) 83-1141

E-mail：kikaku-seisaku@city.chiryu.lg.jp